

KL-T50

取扱説明書 保証書付

別紙の「はじめにお読みください」をお読みになった後、こちらをお読みください。

ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

準備編

電源との接続、テープカートリッジの装着などを説明しています。

おためし印刷編

簡単なデータを作って印刷するまでの流れを説明しています。

ラベル作成編

工夫したデータの作り方を説明しています。

デザインロゴ編

デザインロゴの印刷やインストールの方法を説明しています。

入力・編集編

文字の入力・修正や書体の変更などを説明しています。

設定編

画面の輝度、印刷の濃度、入力音の設定などを説明しています。

付録

使い方が分からなくなったときの対処などを説明しています。

ご 注意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。

「eneloop_®」は、三洋電機株式会社の登録商標です。

EVOLTA は、パナソニック株式会社の登録商標です。

Microsoft, Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他本書に記載されている各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

© 2009 CASIO COMPUTER CO., LTD. All rights reserved.

ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収 / 分解し、再資源化しております。
使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書は KL-T50 について説明しています。
付属のソフトウェアについては、「CD-ROM 収録の PDF ファイル取扱説明書」をご覧ください。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。
- 本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

- ⊗ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。
- 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 危険

電池について

- !
電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。
1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
 2. ただちに医師の治療を受ける。
- そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

- !
煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
1. 電源スイッチを切る。
 2. USB ケーブルをはずす。
 3. AC アダプターのプラグをコンセントから抜く。
 4. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

AC アダプターについて

- AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
- 次のことは必ずお守りください。
- !
• 必ず指定品を使用する
• 電源は、AC100V(50/60Hz) のコンセントを使用する
!
• 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

⚠ 警告

AC アダプター／USB ケーブルについて

電源コード／USB ケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

- 🚫 • 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する

AC アダプター／USB ケーブルについて

- 🚫 • 濡れた手で電源コード／USB ケーブルやプラグに触れないでください。
感電の原因となります。
- AC アダプター／USB ケーブルは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- AC アダプター／USB ケーブルの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

電池について

- 🚫 本機内で電池が液もれしたまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに本機の使用をやめてお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡してください。

⚠ 警告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 🚫 • 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- アルカリ乾電池を充電しない
- 極性 (+とーの向き) に注意して正しく入れる

落とさない、ぶつけない

🚫 本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USB ケーブルをはずす。
3. ACアダプターのプラグをコンセントから抜く。
4. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

分解・改造しない

🚫 本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。

内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

⚠ 警告

水、異物はさける

🚫 水、液体、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USB ケーブルをはずす。
3. AC アダプターのプラグをコンセントから抜く。
4. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

火中に投入しない

🚫 本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

袋をかぶらない、飲み込まない

🚫 本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない

🚫 電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火や火傷の原因となります。
また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

⚠ 注意

AC アダプター／USB ケーブルについて

AC アダプター／USB ケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 🚫 • ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コード／USB ケーブルを引っ張らない（必ず AC アダプター本体／USB ケーブルのプラグを持って抜く）
- ❗ • AC アダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- USB ケーブルのプラグはコネクターの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときは AC アダプター／USB ケーブルのプラグをコンセント／コネクターから抜く
- ご使用後は電源スイッチを切り、AC アダプター／USB ケーブルのプラグをコンセント／コネクターから抜く
- 電源コードのプラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にはこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
- 電源コード（特にプラグ部分）、AC アダプター（特にプラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使用しない

⚠ 注意

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 🚫 • 本機で指定されている電池以外は使用しない
- ❗ • 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておく
- ❗ • 充電池を使う場合は、三洋電機株式会社製の単3形 eneloop[®]（エネループ）または、パナソニック株式会社製の単3形充電式 EVOLTA（エボルタ）を使用する。
- eneloop[®] または充電式 EVOLTA を充電する場合は、必ず専用の充電器をご使用ください。
- eneloop[®] または充電式 EVOLTA を使用する場合は、eneloop[®] または充電式 EVOLTA や専用充電器の取扱説明書、注意書きをお読みいただき、条件を守ってご使用ください。

コネクター部への接続

- 🚫 コネクター部には、指定されたもの以外は接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

大切なデータは控えをとる

- ❗ 本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障や修理などにより、記憶内容が消えることがあります。

⚠ 注意

重いものを置かない

🚫 本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

置き場所について

- 🚫 本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
 - 湿気やほこりの多い場所
 - 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
 - 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

不安定な場所に置かない

🚫 ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

電池のセットおよび電池交換時の注意

🚫 本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「電池をセットするとき」や「電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切る恐れがあります。

高温注意

🚫 プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどする恐れがあります。

⚠ 注意

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。
皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

オートテープカッターに注意する

- 電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れないでください。
オートテープカッターが動くことがあります、けがをする恐れがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近くして使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。
使用温度範囲は、10°C～35°Cです。
- 10°C未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲(10°C～35°C)の環境に戻してからご使用ください。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法(113ページ)をご覧になり、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。
- 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用した場合、本機内部にある光センサーが誤動作を起こしエラーメッセージを表示することがあります。強い光が当たらない場所でお使いください。
- 手書きパネルに強い力を加えたり、ボールペンなど尖ったもので突いたり入力したりしないでください。手書きパネルの一部はガラスでできていますので、傷ついたり、割れることがあります。

目次

準備編	9
各部の名前とはたらき	9
タッチペンを取り出す・しまう	10
タッチペン使用上のご注意	10
本機の操作の流れ	11
電源について	11
ACアダプターで使う	11
はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！	12
電源を入れる・切る	13
オートパワーオフ（節電）機能について	13
印刷する文章の作り方について	14
テープカートリッジを取り付ける／取り外す	15
テープカートリッジを取り付ける	15
テープカートリッジを取り外す	16
キー／アイコンのはたらき	17
キーの表記について	19
画面について	19
おためし印刷編	20
まずは作ってみましょう	20
ラベルを印刷する	20
ラベルを貼る	22
テープを空送りする	22
テープの余白を「送り無」にしたときは	22
終了する	23
文字の入力について	23
印刷時の注意事項	24
印刷とカットモード	24
カットモードについて（オートカッター）	24
カットのしかたと余白について	27

ラベル作成編	28
ラベル作成の流れ	28
フォーマットを選んで作る（用途別ラベル）	28
フォーマットを選ぶ	29
通し番号のついたラベルを作る（ナンバリング）	31
ナンバリングの種類	31
インデックスラベルを作る	33
インデックスラベルの種類	33
自由に入力して作る（ユーザー作成）	33
定型句を使って作る	35
大きなラベルを作る（拡大印刷）	38
自由に入力して作る（フリーラベル）	39
2行以上のラベルを作る	40
文章をブロックに分ける	41
ラベルの書式を決める	42
ブロックごとに書式を決める	42
文章全体の書式を決める	43
ラベルの長さを自由に決める	46
ブロックの長さを設定する（ブロック長固定）	46
ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）	47
CD／DVDのケース・ファイル用のラベルなどを簡単に設定する（テープ長さダイレクト設定キー）	48
文章のバランスを整える（割付）	49
ブロック内で文字のバランスを整える	49
ラベル内のブロックのバランスを整える	50
文字の大きさを決める	51
文字単位で大きさを決める	51
行単位で大きさを決める（フォーマット選択）	53
フレームを付ける	56
縦書きのラベルを作る	57
バーコードラベルを作る	58
バーコードのタイプ	58
バーコードの仕様	60

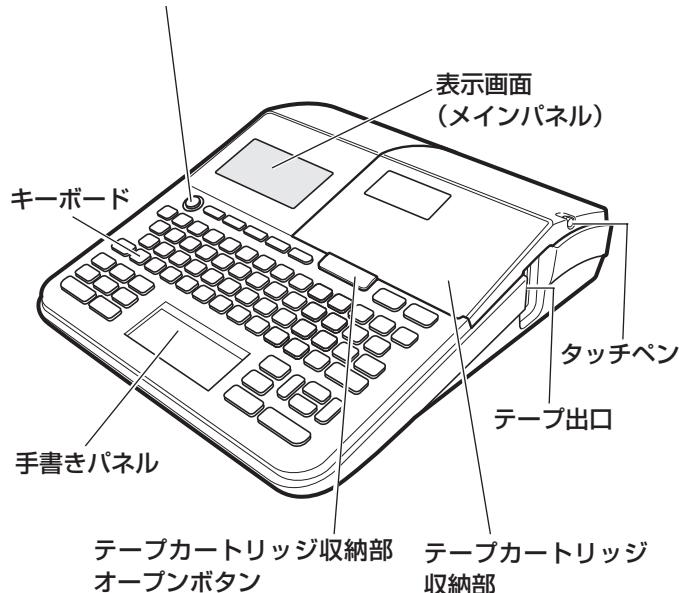
QR コードラベルを作る	61	絵文字の入力	83
印刷できる QR コードのタイプ	61	手書きパネルを使って文字を入力する	84
手書きラベルを作る	64	ペン入力の基本	85
手書きパネルに文字やイラストを書く	64	間違って認識された文字を訂正する	86
手書きのイメージの登録	65	手書き入力のワンポイント	87
手書きラベルの印刷	66	文字を修正・削除するときは	88
作成したデータを登録する・呼び出す	69	文字を1文字ずつ消す	88
データを登録する	69	すべての文字を消す（文削除）	88
登録したデータを呼び出す	69	間違った文字を直す	89
登録したデータを削除する	70	書体（フォント）を変える	90
デザインロゴ編	71	入力済みの文字の書体を変える	91
ロゴ入りのラベルを印刷する（デザインロゴ）	71	電源を入れたときの書体を決める	92
パソコンにデザインロゴをダウンロードする	71	文字を上付・下付にする	94
ダウンロードしたデザインロゴを本機に転送する	72	文字を目立たせる	95
デザインロゴを印刷する	74	文字に飾りを付ける	96
本機内蔵のデザインロゴにおける印刷時の大さ	75	文字修飾を指定する	96
入力・編集編	76	文字修飾を取り消す	97
カーソルのはたらきと動かし方	76	よく使う語句を登録する／呼び出す	
ローマ字入力？それともかな入力？	76	（プリセットタイトル）	98
ローマ字入力とかな入力を切り替える	76	プリセットタイトルを呼び出す	98
ひらがな・カタカナの入力	77	新しくプリセットタイトルを作成	98
ひらがなの入力	77	プリセットタイトルを修正する	99
カタカナの入力	77	プリセットタイトルを削除する	99
いろいろな文字の入力方法	78	日付や時刻をデータに挿入する	100
漢字の入力	79	現在の日付や時刻をデータに挿入する	
文章を入力してから変換する	79	（タイムスタンプ）	100
漢字1文字ずつ変換する（単漢字変換）	80	指定期間が経過後の日付や時刻をデータに挿入する	
アルファベット・数字・記号・絵文字の入力	81	（タイムスパン）	100
アルファベットの入力	81	入力した文字をコピーする・貼り付ける	
数字の入力	82	（コピー・ペースト）	101
記号（キーに印刷されているもの）の入力	82	文字をコピーする	101
記号（その他の記号）の入力	82	コピーした文字を貼り付ける（ペースト）	102

はじめから自分で作る（新規作成）	102	用途別ラベルフォーマット一覧	127
本機にある文字を利用して作る（参照作成）	103	ナンバリングフォーマット一覧	130
すでに作ってある外字を修正する	104	手書きラベルフォーマット一覧	130
外字を使う	104	テープ幅と行数・倍率一覧	131
登録した外字を削除する	104	各機能における使用可能テープ幅一覧	131
よく使う語句を辞書に登録する（ユーザー辞書）	105	拡大印刷時のテープ幅と文字の大きさ	131
語句を登録する	105	デザインロゴ内蔵データ一覧	132
登録した語句を修正する	105	仕様	134
登録した語句を削除する	106	別売品について	136
設定編	107	索引	136
設定を変える	107	保証・アフターサービスについて	138
設定できる項目	107		
ブザー音を消したい	107		
手書きで入力した文字の認識方法を変えたい	108		
画面（メインパネル）のコントラストを変えたい	108		
手書きパネルのコントラストを変えたい	108		
手書きパネルの位置を調整したい	109		
印刷の濃さを変えたい	109		
日付、時刻を設定する	109		
電池の設定をする	110		
サンプルデータを印刷する（デモ印刷）	110		
付録	111		
電源について	111		
電池で使う	111		
お手入れの方法	113		
綿棒できれいにする	113		
クリーニングテープを使う	113		
こんなときは（トラブルシューティング）	114		
エラーメッセージ一覧	117		
ローマ字入力一覧	122		
記号・絵文字一覧	123		
フレーム一覧	126		

各部の名前とはたらき



電源を入れるとき、切るときに押します。

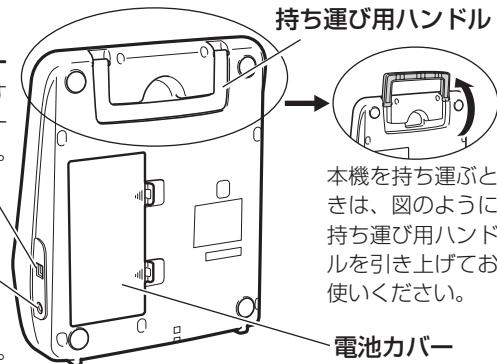


USB コネクター

パソコンと接続するときに、USB ケーブルを接続します。

AC アダプター 接続用端子

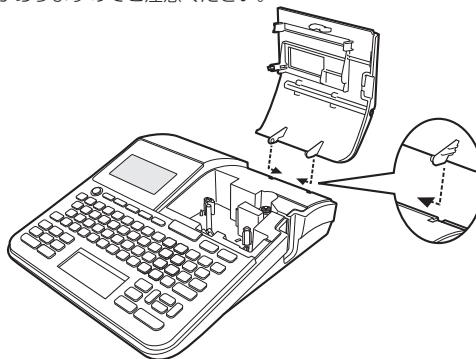
指定の AC アダプターを接続します。



本機を持ち運ぶときは、図のように持ち運び用ハンドルを引き上げてお使いください。

■テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったら

テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったときは、図のようにセットしてください。カバーを無理な方向に曲げたりねじったりすると、突起や穴が破損する恐れがありますのでご注意ください。



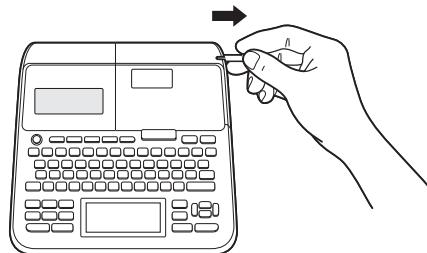
タッチペンを取り出す・しまう

本機では、タッチペンを使って「手書きパネル」に文字を書いたり、タッチして操作を進めたりすることができます。

- 手書きパネルを使って入力する（84 ページ）

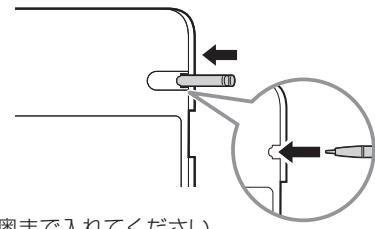
■タッチペンを取り出す

タッチペンはテープカートリッジ収納部のカバーに収納されています。タッチペンの先端に指をかけ、まっすぐ引き出します。

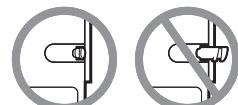


■タッチペンをしまう

タッチペンの先端をまっすぐ押し込むようにします。



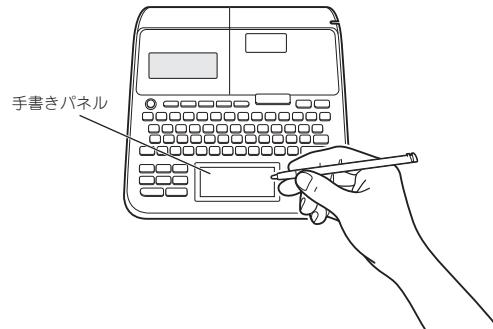
- 落ちないように、しっかりと奥まで入れてください。



- タッチペンをなくさないように注意してください。

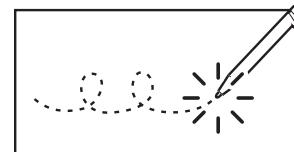
タッチペン使用上のご注意

- 手書きパネルにタッチするときは、力を入れる必要はありません。
- 手書きパネルの表面を強く押したり、力を込めて入力したりしないでください。手書きパネルにひびが入ったり、割れたりすることがあります。

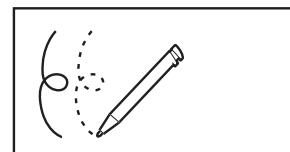


- タッチした文字やアイコンが正しく認識されない（反応しない）ときや、タッチペンでタッチする位置と表示される手書きで入力した文字が微妙にずれているときは、手書きパネル位置調整を行ってください（109 ページ）。

例)



反応しない



手書きで入力した文字がずれる

重要 手書きパネルに市販の保護フィルムを貼り付けると正しく動作しない場合があります。その場合は、保護フィルムをはがして正常に動作するか確認してください。

本機の操作の流れ

AC アダプターの接続

または電池のセット

11 ページ
111 ページ

- 購入後、はじめて使うときはメモリーの初期化、日時の設定をしてください。
(12 ページ)
- メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要なときはメモリーの初期化はしないでください。



テープカートリッジの取り付け

15 ページ

自由に入力して作る

フリーラベル 20、39 ページ
フリーラベルの編集機能
40 ページ

用途に応じて作る

用途別ラベル
バーコードラベル、手書きラベル、デザインロゴなど
28、58、64、71 ページ



印刷する

21 ページ

電源について

本機を使うときは、電源として指定の AC アダプターまたは市販のアルカリ乾電池、推奨の充電式ニッケル水素電池を使います。

- ご使用前に、「安全上の注意」(1 ~ 5 ページ) を必ずご覧ください。
- 電池のセットについては、111 ページをご覧ください。
- アルカリ乾電池または推奨の充電式ニッケル水素電池を使う場合は、必ず電池の設定を確認してください (110 ページ)。

AC アダプターで使う

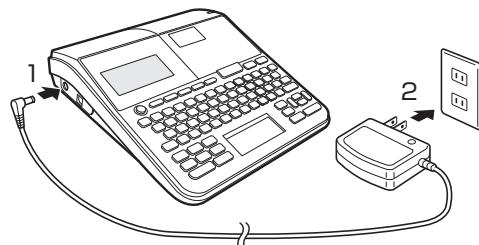
■取り付ける



- 指定の AC アダプター以外は使用しないでください。
- パソコンと接続する場合は、ソフトをインストールした後、USB ケーブルと AC アダプターを接続してください。詳しくは、別紙「はじめにお読みください」の「ソフトとプリンタードライバーをインストールする」「パソコンと接続する」をご覧ください。

1 AC アダプターのプラグを、本機の AC アダプター接続用端子に差し込みます。

2 AC アダプターをご家庭のコンセント < AC100V > に差し込みます。



■取り外す



- 印刷中に AC アダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、AC アダプターや電池を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、外字、手書きイメージ、コピーした文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 「電池をセットした状態」で、AC アダプターを抜き差しするときは、必ず、一度電源を切ってください。電源が入っているときに抜き差しをすると、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。
- USB ケーブルを接続している場合は、AC アダプターを取り外す前にパソコンと本機から USB ケーブルを抜き取ってください。
- 本機に登録したデータ（文字や文章など）は、ノートやパソコンなどに控えを取っておいてください。

1 コンセントから AC アダプターのプラグを抜きます。

2 本機の AC アダプター接続用端子から AC アダプターのプラグを抜きます。



- 電源コードの両端部分は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ずメモリーの初期化という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

重要 メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしましますので、はじめて使うとき以外はメモリーの初期化をしないでください。

1 電源が切れていることを確認します。
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、を押します。

2 と をいっしょに押しながら、を押します。
「メモリー初期化？ 実行／取消し」が表示されるまで、そのまま押し続けます。

3 を押します。

4 を押して、現在の日付や時刻の設定をします。
 で設定したい項目を選択することができます。

- を押すと数字が減り、 を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。

2010/1/1 (金)
0:00

5 設定が終了したら**実行**を押します。

日付、時刻の設定は、後から変更することもできます。
日付、時刻の設定については、109ページの「日付、時刻を設定する」をご覧ください。

重要 メモリーの初期化をした後は、必ず電池の設定を確認してください（110ページ）。

- メモリーとは
 - 本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。
- 「メモリーの初期化」とは
 - 本機が正常な動作をするために、電気的な設定をすることです。「メモリーの初期化」をすると、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。
 - また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。
 - ただし、本機にインストールされたデザインロゴのデータはメモリーの初期化をしても消えません。

電源を入れる・切る

一度「メモリーの初期化」をしたら、次からは**電源**を押すだけで本機を使うことができます。

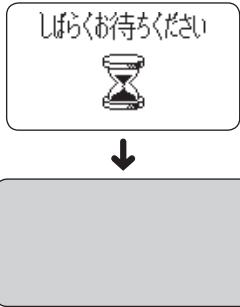
電源を入れるには…

電源を押します。



電源を切るには…

電源を押します。



- 画面の明るさを調整するときは、108ページをご覧ください。

オートパワーオフ（節電）機能について

何も操作をしないで、約6分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これを**オートパワーオフ機能**といいます。

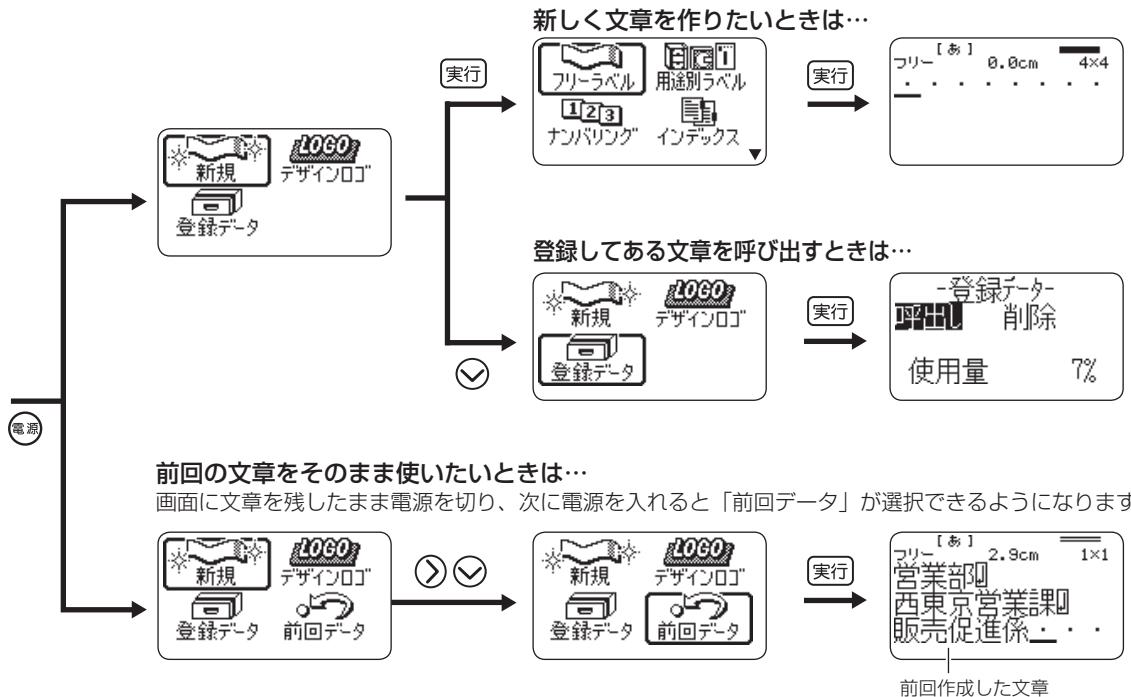
再び本機を使うときは、**電源**を押してください。

- ACアダプターを使用して、外字を作成しているとき、手書きラベル機能で手書きのイメージを編集しているときは、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- ACアダプターを使用して、パソコンと接続しているときには、オートパワーオフ機能ははたらきません。

印刷する文章の作り方について

本機では、文章の作り方について、次の3つがあります。

- 新しく文章を作る
- 登録してある文章を呼び出して作る
- 電源を切る前に入力していた文章（前回の文章）を呼び出して作る



- 電源を入れた直後の画面で「前回データ」以外を選択したときや、デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータは、登録してから上記の操作をしてください。（データの登録→69ページ）

テープカートリッジを取り付ける / 取り外す

ラベルを印刷するときには、テープカートリッジが必要です。

付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。

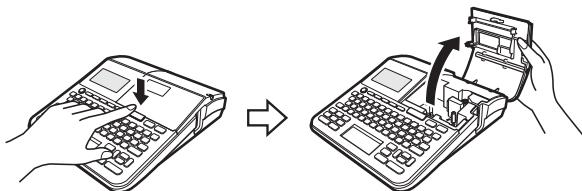
- ・テープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。

テープカートリッジを取り付ける

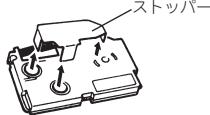
1 電源が切れていることを確認します。

画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、を押します。

2 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

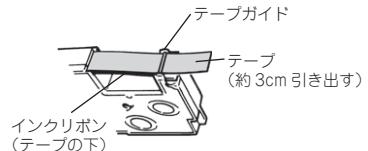


3 テープカートリッジについているストッパーを取り外します。



4 テープとインクリボンの状態を確認します。

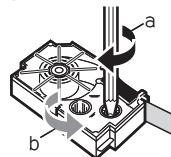
- ・テープの先が曲がっていない（曲がっていたらハサミで曲がった部分をカットする）
- ・テープの先がテープガイドを通っている
- ・インクリボンがたるんでいない



- ・一度引き出したテープを戻すことはできません。
- ・無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。
- ・インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

インクリボンがたるんでいたら、たるみを取ります

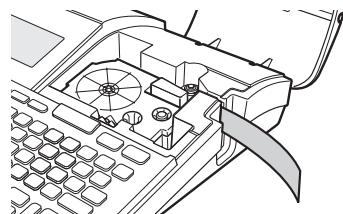
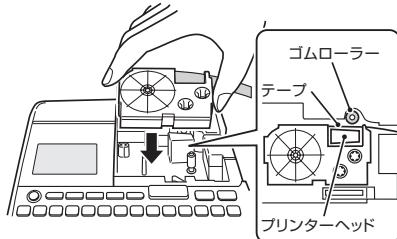
- インクリボンがたるんでいたら、a のように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。b の方向に左下の軸が回り始めるまで右上の軸を回してください。
- このとき、テープはいっしょに動きません。



5 テープカートリッジをセットします。

インクリボンが引っかかるないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます（下図）。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

重要 正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。



6 テープカートリッジ収納部のカバーを閉めます。



- ・カバーは、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
- ・テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

テープカートリッジを取り外す

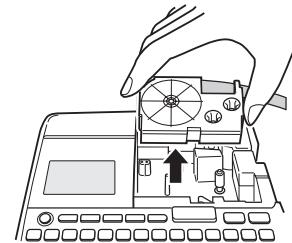
1 電源が切れていることを確認します。

画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、を押します。

2 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

3 テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。

・印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてからテープカートリッジを取り出してください。

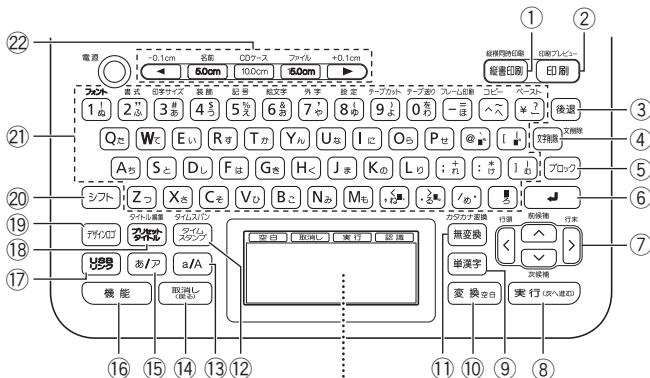


- 重要**
- ・当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収／分解し、再資源化しております。使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

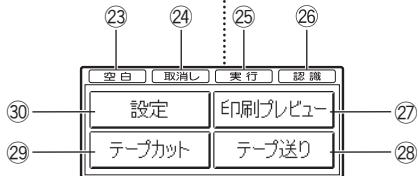
キー／アイコンのはたらき

ここではキー／アイコンの主な使い方について説明します。

■キーボード（キー）



■手書きパネル（アイコン）



- 電源を入れたときやキー操作を間違ったとき、手書きパネルにタッチしたときに鳴るブザー音を消したいときは、107ページをご覧ください。

①		縦書き印刷をするときに押す。 ・縦横同時印刷をするときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。 ・フリーラベル以外では使用できません。
②		印刷するときに押す。 ・印刷結果を画面で見るととき（印刷プレビュー）は、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
③		カーソルの前の文字を消すときに押す。
④		カーソルの上の文字を消すときに押す。 ・入力中の項目の文章をすべて消すときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑤		文章をブロックに分けるときに押す。（41ページ）
⑥		改行するときに押す。
⑦		・文字が入る位置を示した（カーソル）や、文字編集などのときに範囲を指定する■を動かすときに押す。 ・項目や変換候補などを選択するときに押す。
⑧		操作を進めるときに押す。
⑨		1文字ずつ漢字に変換するときに押す。
⑩		ひらがなを漢字などに変換するときに押す。 ・空白を入力したいときは、未確定の文字がないときにこのキーを押す。
⑪		漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときに押す。 ・入力中のひらがなをカタカナに変換するときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑫		・日付、時刻を入力中の文章に挿入するときに押す。 ・保存期間、有効期限などの将来の日付、時刻を入力中の文章に挿入するときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑬		アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す。（81ページ）

(14)		操作を戻したり、中止したりするときに押す。
(15)		ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す。(77ページ)
(16)		キーの上または横に 機能 と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
(17)		パソコンで作成したデータを本機で印刷するときに押す。
(18)		<ul style="list-style-type: none"> よく使う登録した単語や文章を呼び出して使うときに押す。 よく使う単語や文章を登録、編集するときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
(19)		デザインロゴを印刷するとき、パソコンからデザインロゴデータをインストールするときに押す。 「ラベル作成」をしているときに押すと、「デザインロゴ」モードに切り替わる。
(20)		<ul style="list-style-type: none"> かな入力のとき、「っ」や「ょ」などの促音・拗音を入れる場合に押す。(78ページ) アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字(または小文字)を入れる場合に押す。(81ページ)
(21)	(文字キー)	文字を入れるときに押す。
(22)	(テープ長さ ダイレクト 設定キー)	フリーラベルで長さを設定するときに押す。 <ul style="list-style-type: none"> フリーラベル以外では使用できません。
(23)	【空白】	「空白」を入れるときにタッチする。
(24)	【取消し】	操作を戻したり、中止したりするときにタッチする。
(25)	【実行】	操作を進めるときにタッチする。
(26)	【認識】	手書きで入力した文字を一文字ずつ確かめるときや、最後の文字を入力したときにタッチする。
(27)	【印刷プレ ビュー】	印刷結果を画面で見るときにタッチする。
(28)	【テープ 送り】	テープを白紙で送るときにタッチする。(22ページ)
(29)	【テープ カット】	テープをカットするときにタッチする。(22ページ)

(30)	【設定】	設定を変更するときにタッチする。(107ページ)
		・本書では、キーボードと手書きパネルのどちらを使っても操作できる機能は、主にキーボードの操作を例に説明しています。



- 機能**と**シフト**の操作には、以下の2つの方法があります。
1. **機能**（**シフト**）を押し、指を離してから目的のキーを押す。
 2. **機能**（**シフト**）を押しながら目的のキーを押す。
- ・本書の操作説明は、「**機能**（**シフト**）を押し、指を離してから目的のキーを押す」で記載しています。

キーの表記について

●本文中では、操作手順の中で使うキー（ボタン）を**1! も**や**実行**などのように表記しています。

例 **1!**を押したあとに続けて**実行**を押すときの表記

↓
1!**実行**と押します。

●本機のキーの上または横に**機能**と同じ色で書かれている機能（「設定」や「カタカナ変換」など）を使うには、**機能**を押し、指を離してから**機能**と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

例 「設定」機能を使うときの表記

↓
機能を押し、指を離してから**8!**を押します。

●操作手順の中で、「**ⒶⒷⒸⒹ**を押して…」「**ⒶⒷ**を押して…」「**ⒶⒹ**を押して…」と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4つまたは2つのキーすべてを押す必要はありません。

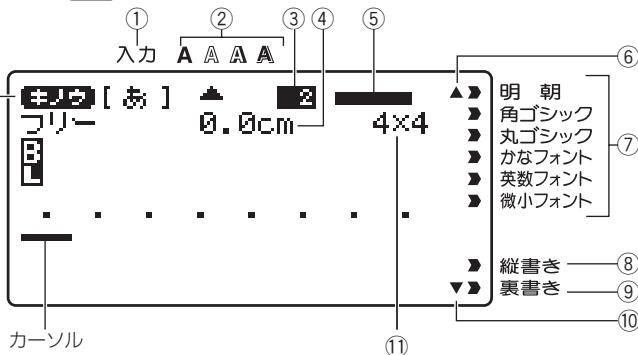
- 1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは**取消し**を押します。
- **取消し**を何回押しても希望の画面に戻らないときは、**電源**を押して一度電源を切れます。再び**電源**を押して電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

画面について

本機の画面（メインパネル）には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

・画面の明るさを変えるときは、108ページをご覧ください。

キノウ **機能**を押したとき表示 / **シフト** **シフト**を押したとき表示



①	入力できる文字の種類を示す。(77、81、85ページ)
②	文字体が何になっているか示す。(95ページ)
③	カーソルがあるブロックは何個目かを示す。(41ページ)
④	いま作っているラベルの長さを示す。(46ページ)
⑤	フリーラベルを選択したときのレイアウトを示す。(40ページ)
⑥	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す。
⑦	書体（フォント）が何になっているかを示す。(90ページ)
⑧	縦書きになっていることを示す。(42ページ)
⑨	裏書きになっていることを示す。(43ページ)
⑩	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す。
⑪	文字のサイズを示す。(51ページ)

まずは作ってみましょう

準備ができたら、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。

ラベルを印刷する

[印刷例]

営業レポート

1 電源を押して、電源を入れます。

- 右の画面の代わりに「前回データ」を含む画面が表示されることがあります。(14 ページ)

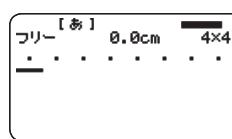


2 □▽□▽を押して「新規」を選び、[実行]を押します。



3 □▽□▽を押して作りたいラベルの種類を選び、[実行]を押します。

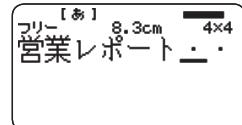
ここでは「フリーラベル」を選択します。



4 文字を入力します。

ここでは「営業レポート」と入力します。

- 文字の入力方法については、23 ページをご覧ください。



■印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。テープカートリッジをセットしていないと、印刷結果を画面で確認することはできません。

1 [機能]を押し、指を離してから[印刷]を押します。

どのように印刷されるのか、そのイメージが画面に流れます



2 じっくりと見たい部分が流れてきたら、[実行]を押します。

その部分が止まります



[実行]を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- プレビュー表示を中止するときは[取消し]を押します。
- 細い線のある文字や字画の多い漢字は正しくプレビュー表示されないことがあります。

■印刷する

作成したラベルは簡単に印刷できます。複数枚を連続して印刷することもできます。また、テープをカットする方法も選ぶことができます。

- ・ご使用前に、「安全上の注意」の「オートテープカッターに注意する」(5 ページ) を必ずご覧ください。
- ・ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用的環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さと完全には一致しません。

重要 印刷する前に、以下の点にご注意ください。

- ・印刷時の注意事項 (24 ページ) を必ずご覧ください。
- ・「テープカートリッジがセットされていること」、「テープ出口 (9 ページ) が物でふさがっていないこと」を確認してください。

1 文字を入力したら、**実行**を押します。



2 **印刷**が選ばれていることを確認して、**実行**を押します。



3 **①②**を押して、印刷する枚数を指定します。
ここでは「1 枚」にします。

- ・**①**を押すと数字が減り、**②**を押すと数字が増えます。
- ・数字を直接入力することもできます。一度に、100 枚まで指定できます（連続印刷）。

4 **①**を押します。

5 **①②**を押して、カットモードを指定します。

- ・ラベル間の台紙を切らずに印刷するときは、「通常」を指定します。
- ・ラベルごとに切り離すときは、「切り離す」を指定します。
- ・自己粘着テープ・布転写テープ・インスタントレタリングテープをセットしているときは、「特殊テープ」を指定します。
- ・反射テープ・マグネットテープ・アイロン布テープをセットしているときは、「カットしない」を指定します。

ここでは「通常」にします。

カットモードについて詳しくは、24 ページをご覧ください。

6 **実行**を押します。
印刷が始まります。

- ・印刷を途中でやめるときは、**取消し**を押します。

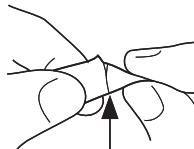
ラベルを貼る

1 必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・形にします。

2 ラベルの裏をはがして、貼ります。

●ハーフカット部分からはがすとき

ハーフカット部分をゆっく
りとひねるようにして、テー
プを台紙からはがします。



●フルカットされたラベルをはがすとき

ラベルの角を折り曲げると、はがしやすくなります。



- 一度貼ったラベルをはがすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。



- 次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。
- 直射日光や雨が当たるもの
- 人や動物の体
- 他人の家の塀や電柱など
- 公園・駅など、公共の場所
- 電子レンジで加熱に使う容器

ラベルが貼りにくいものは

- 表面がざらざらしているところ
- 表面に水や油、ホコリなどが付いているところ
- 特殊なプラスチック材料（シリコン系・PP材など）

テープを空送りする

印刷する前や印刷した後に、テープを白紙で送ることができます（テー
ブ送り）。

1 テープ送り
[機能]を押し、指を離してから[0番]を押します。

テープが約 21mm 送られます。

テープの余白を「送り無」にしたときは

テープの余白を「送り無」と設定したときは（45 ページ）、印刷が終わっ
ても自動的にテープはカットされません。次の手順に従って、テープ
をカットしてください。

1 テープカット
[機能]を押し、指を離してから[9番]を押して、テープをカット
します。

重要 テープをカットするときは、本機を傾けないでください。

また、テープを引っ張ったり、カバーを開けたりしないでください。

終了する



- 1 上の画面が表示されているときに $\leftarrow\rightarrow$ を押して「終了」を選び、[実行]を2回押します。

以下の画面に戻ります。



- 「登録」については、69ページをご覧ください。

文字の入力について

■「営業」を入力します。

ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。

ここでは、ローマ字入力を選びます。(76ページ)

- [あ/A]を何回か押して、画面左上に「あ」を表示させます。
- [機能]を押し、指を離してから[8/ゆ]を押します。
- [↖ ↘]を押して[日本語入力]を選び、[実行]を押します。
- [↖ ↘]を押して[ローマ字入力]を選び、[実行]を押します。
- [E/い][I/は][G/き][Y/ん][O/お][U/う]
- [変換]を何回か押して、「営業」が画面に表示されたら[実行]を押します。

■「レポート」を入力します。

- [あ/A]を何回か押して、画面左上に「ア」を表示させます。

- [R/す][E/い][P/せ][O/ら][¥/?][T/か][O/ら]

- 誤った文字を入力したときは、[文字削除] (88ページ) や[後退] (88ページ) を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。

- 本機では、キーボードから文字を入力する他に、手書きパネルを使って文字を入力することもできます。文字入力方法について、詳しくは「入力・編集編」(76ページ)をご覧ください。

印刷時の注意事項

印刷するときには以下の点に注意してください。



- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、テープカートリッジ収納部のカバーを絶対に開けないでください。(9 ページ)
- 印刷中で出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」まで触らないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、キーボードの〔取消〕を押して印刷を中止してください。
- テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。
- 1度に印刷されるラベルの長さが極端に長い場合は、印刷できません。ラベルの長さを短くする、または、印刷枚数を減らして、印刷し直してください。

印刷とカットモード

カットモードについて（オートカッター）

複数枚のラベルを印刷するときは、ラベルとラベルの間を自動的に切り離すか切り離さないか選ぶことができます。また、テープによっては、本機のカッターでカットするとカッターパークが摩耗し、故障の原因となることがありますので、注意してください。

- 下記のテープは特殊なテープです。必ず下表を確認し、「特殊テープ」または「カットしない」に設定して使用してください。

・自己粘着テープ ・布転写テープ ・インスタントレタリングテープ	特殊テープ
・マグネットテープ ・反射テープ ・アイロン布テープ	カットしない

■カットのしかたについて

カットのしかたには 2 つあります。

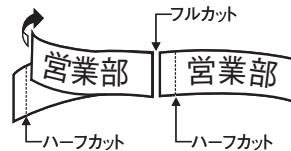
●ハーフカット

台紙はカットしないで、シール部分だけをカットします。はがすときは、ハーフカットした部分からはがしてください。

- 「テープ幅の細い 3.5mm や 6mm テープ」や「薄いメンディングテープ」は、ハーフカットできないことがあります。

●フルカット

台紙もシールもカットします。



■ 4つのカットモード

カットモードは4つあります。

- ・カットモードは、「印刷する」の手順5(21ページ)で設定します。
- ・余白の設定によって、カットのしかたと余白部分の長さは異なります。詳しくは「カットのしかたと余白について」(27ページ)をご覧ください。
- ・書式で「余白 送り無」に設定したときは、どのカットモードを選択しても、フルカットとハーフカットはされません。(22ページ)
- ・テープの長さが下記のときは、テープカットされないことがあります。印刷終了後、ハサミなどで切ってください。

余白小	余白中	余白大
約 28mm 以下	約 35mm 以下	約 44mm 以下

●通常

- ・ラベル間はハーフカットされます。台紙がつながっているので、ラベルがバラバラになることがありません。
- ・先頭には余白が付き、はがしやすいうようにハーフカットされます。
- ・すべての印刷が終了すると、フルカットされます。

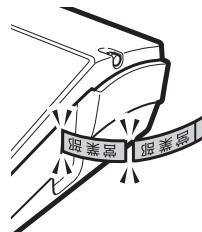


●切り離す

- ・ラベルごとにフルカットします。

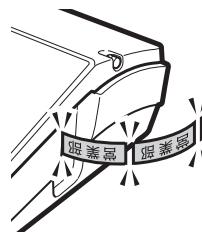
2枚以上印刷するときは、カットされたラベルがテープ出口をふさがないようにご注意ください。テープ出口をふさいでしまうと、テープ詰まりや故障の原因となります。

- ・各ラベルの先頭には余白が付き、はがしやすいうようにハーフカットされています。



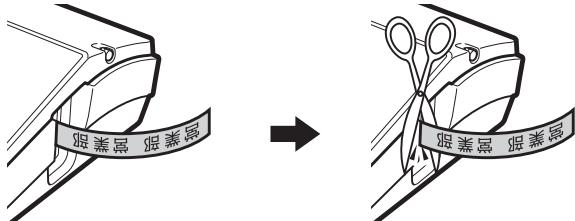
●特殊テープ

- ・自己粘着テープ・布転写テープ・インスタントレタリングテープに印刷するときに設定します。
- ・各ラベルごとにフルカットされます。
- ・「余白 小」「余白 中」を設定してあるときは、印刷中に、余分なテープが自動的にフルカットされます。



●カットしない

- ・ラベル間はカットしません。
- ・マグネットテープ・反射テープ・アイロン布テープに印刷するときは、必ず「カットしない」に設定してください。テープ送り
- ・印刷終了後、**機能**を押し、指を離してから**0**秒を押してテープ送りをしたあと、ハサミなどでラベルをカットしてください。



反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープについて
反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープは特殊な処理
をしてあるテープです。

カットするときは、フルカット／ハーフカットはしないで、下記の手順に従ってハサミなどを使いください(アイロン布テープは、必ず、布などを切る裁ちばさみをお使いください)。

なお、本機のフルカット／ハーフカットで反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープをカットすると、カッター部分の寿命が短くなり、ハーフカッター部分が破損することがあります。ご注意ください。

- 1 書式の全文書式で、余白を「送り無」にする(45ページ)
またはカットモードで「カットしない」にする
- 2 印刷する
- 3 **機能**を押し、指を離してから**0**秒を押して、テープ送りをする
- 4 反射テープ、マグネットテープまたはアイロン布テープを取り出し、ハサミなどを使ってカットする
・ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

カットのしかたと余白について

カットモードと余白の設定によって、カットのしかた（フルカット／ハーフカット）と余白の長さは異なります。

カットモード		通常			切り離す			特殊テープ			カットしない		
カットのタイミング 余白		部分先頭の余分なカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット	部分先頭の余分なカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット	部分先頭の余分な部	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット	部分先頭の余分なカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット
余白小	カット	ハーフカット	ハーフカット	フルカット	ハーフカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	16mm	3mm	3mm	16mm ^{*1} 5mm ^{*2}	3mm	3mm	21mm	3mm	3mm	21mm	3mm	3mm
余白中	カット	ハーフカット	ハーフカット	フルカット	ハーフカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	9mm	10mm	10mm	9mm ^{*1} 5mm ^{*2}	10mm	10mm	21mm	10mm	10mm	21mm	10mm	10mm
余白大	カット	ハーフカット	ハーフカット	フルカット	ハーフカット	フルカット	フルカット	無し	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	5mm	19mm	19mm	5mm ^{*1} 5mm ^{*2}	19mm	19mm	—	19mm	19mm	—	19mm	19mm
送り無	カット	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し
	余白	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1:1枚目の印刷のとき

※2:2枚目以降の印刷のとき

ラベル作成編

ラベル作成の流れ

ラベルを印刷するときは、以下の手順で操作してください。

ラベル作成編

1 ラベルの種類を選ぶ

フリーラベル	39 ページ
用途別ラベル	28 ページ
ナンバリング	31 ページ
インテックスラベル	33 ページ
バーコード	58 ページ
QR コード	61 ページ
拡大印刷	38 ページ
手書きラベル	64 ページ

登録してある
データを呼び出
して使うときは
(69 ページ)

前回作成した
データを使う
ときは
(14 ページ)

2 文字を入力する (76 ページ)

3 文字を修飾する

書体 (フォント) を変える (90 ページ)、文字を目立たせる (文
字体) (95 ページ)

ラベルを印刷 (21 ページ)・登録 (69 ページ)・終了する

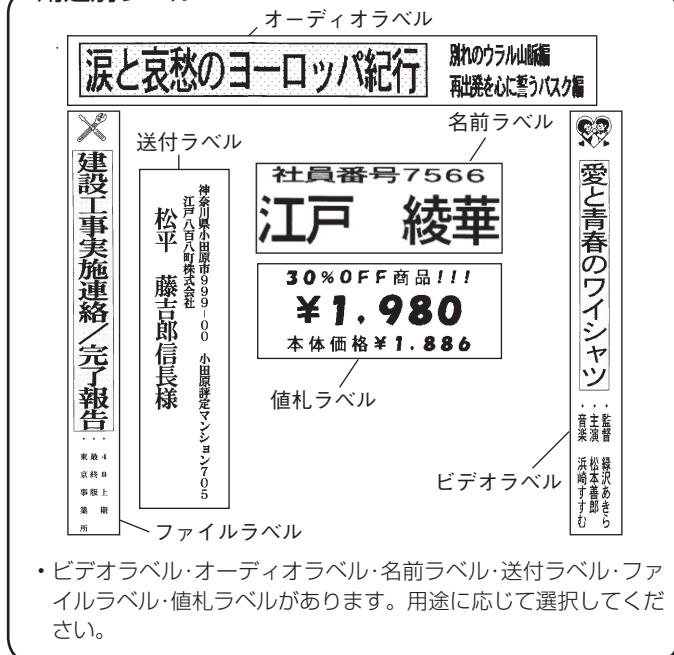
用途に応じて作る

フォーマットを選んで作る (用途別ラベル)

本機には、豊富なラベルのフォーマットが内蔵されており、用途に応じたラベルが簡単に作れます。

- ここで紹介するラベルは、本機で作成できるラベルの一例です。

用途別ラベル



[印刷例]

ぶんるい タイトル

コメント1 コメント2 コメント3



(18mm 幅テープ / ファイル / ファイル背 / 大3)

127 ページをご覧になりフォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。

フォーマットを選ぶ

1 を押して、電源を入れます。

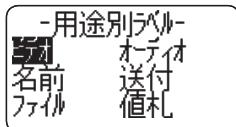
- ご使用の状況によっては、右の画面の代わりに「前回データ」を含む画面が表示されます（14 ページ）。



2 を押して「新規」を選び、を押します。



3 を押して「用途別ラベル」を選び、を押します。



4 を押して作成するラベルの種類を選び、を押します。

ここでは「ファイル」を選びます。

フォーマット選択画面が表示されます。



フォーマット選択画面について

ここでは、例として、「ファイル背」の画面を説明します。

ラベルの種類を示します。



ラベルを貼る位置を示します。

対応するテープ幅を示します。

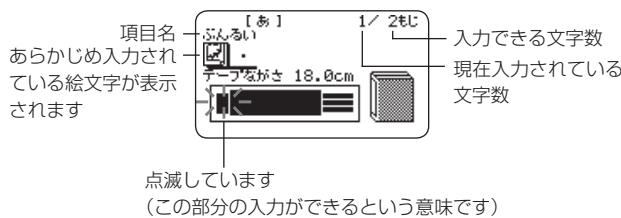
- 9 18 …… 使用できるテープ幅は、実線または点線で囲まれます。
18 …… 最も適したテープ幅は、実線で囲まれます。
6 …… 使用できないテープ幅は、囲まれません。

5 を押して、「ファイル」ラベルの種類を選び、を押します。

ここでは「ファイル背」を選びます。

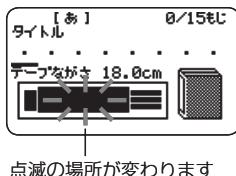


- 6** を押してフォーマットを選び、**実行**を押します。
詳しくは「用途別ラベルフォーマット一覧」(127ページ)をご覧ください。
ここでは「大3」を選びます。
文字入力画面が表示されます。



- 7** 画面の絵文字を必要に応じて変更し、**実行**を押します。

- 選んだフォーマットの種類や項目によって、絵文字が入力されていたり、入力されていなかったりします。
- 他の絵文字に変えるときは、83ページをご覧ください。



- 8** 文字を入力し、**実行**を押します。
ここでは「タイトル」「コメント1」「コメント2」「コメント3」に入力します。

- 枠が付けられるフォーマットの場合は、**機能**を押し指を離してから**4**を押して「装飾」の「文字修飾」に入って、枠付「あり／なし」のどちらかを選ぶことができます。

これでラベルデータが完成しました。



- ラベルデータを印刷するときは→ 21ページ
- ラベルデータを登録するときは→ 69ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に**機能**を押し、指を離してから**2**を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

通し番号のついたラベルを作る（ナンバリング）

ページ番号や通し番号がついたラベルを作る（連番印刷）ことができます。

重要 3.5mm 幅のテープカートリッジは使用できません。


ナンバリングの種類

・フォーマット1



・フォーマット2



・フォーマット3



・フォーマット4



コメント 1 (99 文字まで) ナンバー

・フォーマット5



ナンバー コメント (99 文字まで)

コメント 2 (99 文字まで)



・印刷するたびに、「ナンバー」が一つずつ繰り上がっていきます。

[印刷例]

備品No.15(総務管理)

備品No.16(総務管理)

備品No.17(総務管理)

「備品 No.15 (総務管理)」～「備品 No.17 (総務管理)」のラベルを印刷します。

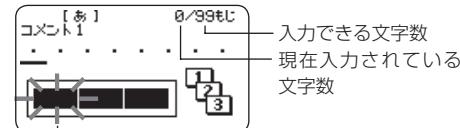
重要 ナンバリング印刷では、指定枚数分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、キーボードの[取消し]を押して印刷を中止してください。

1 電源を押して、電源を入れます。

2 ⇧⇨⇨⇨を押して「新規」を選び、[実行]を押します。

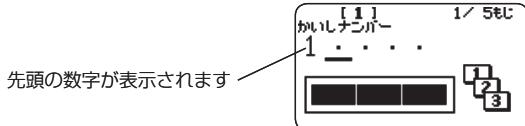
3 ⇧⇨⇨⇨を押して「ナンバリング」を選び、[実行]を押し
ます。

4 ⇧⇨⇨⇨を押してフォーマットを選び、[実行]を押します。
ここでは「4」を選びます。



点滅しています
(この部分の入力ができるという意味です)

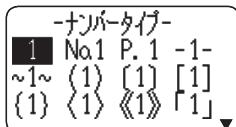
5 「コメント1」の文字を入力し、**[実行]**を押します。
ここでは「備品」と入力します。



6 ナンバリングの先頭になる数字に変更し、**[実行]**を押します。
ここでは、「No.15」～「No.17」のラベルを作るので、「15」を入力します。

- 先頭になる数字を変更するときは、数字を削除して入力し直してください。5桁まで入力できます。

7 「コメント2」の文字を入力し、**[実行]**を押します。
ここでは「(総務管理)」と入力します。



8 **↖ ↘ ↗ ↘**を押してナンバリングの形を選び、**[実行]**を押します。
ここでは「No.1」を選びます。

9 **↖ ↗**で**印刷**を選び、**[実行]**を押します。



10 **↖ ↗**を押して連番として印刷する枚数を設定し、連番の開始と終了の番号を確認してから**[実行]**を押します。

ここでは、15、16、17番を印刷するので、「3」を設定します。

- 1～100までを入力できます。
- 直接数字を入力することもできます。



11 **↖ ↗**を押してカットモードを設定し、**[実行]**を押します。

- カットモードについて詳しくは、24ページをご覧ください。

印刷が開始されます。終了すると、右の画面が表示されます。

- ナンバー「99999」の次は、「00000」が印刷されます。
- 「長さオーバー 印刷できません」「長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか?」と表示されたときは、119ページをご覧ください。



表示される番号は、作成するラベルによって異なります。

- 重要**
- テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。
 - ラベルデータを登録するときは→ 69ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する
- 「余白」の設定をする

上記の設定をするには、文字入力中に**[機能]**を押し、指を離してから**[書式]**を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

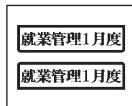
インデックスラベルを作る

ファイルを整理するのに便利なインデックスラベルを作ることができます。本機にあらかじめ内蔵されている定型句を使って作成することもできます。

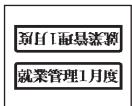
インデックスラベルの種類

インデックスラベルは、ファイリングの仕方に合わせて、方向別に以下の4種類を作ることができます。

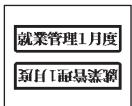
・横1



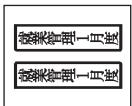
・横2



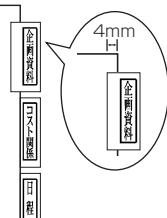
・横3



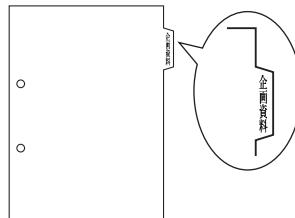
・縦



- 書類に貼り付けた例
(印刷方向：縦)



- 仕切りカードの見出し山に貼り付けた例
(印刷方向：縦)



- インデックスラベルが作成できるのは、24mm幅テープのみです。必ず24mm幅のテープカートリッジをセットしてください。
- 書類に直接貼る場合には、ご使用中に抜け落ちないように書類に対して4mm程度の貼り付けをおすすめします。
- 仕切りカードの見出し山に貼る場合には、24mm幅透明テープで、枠を付けないで印刷することをおすすめします。
- インデックスラベルの表面と裏面は、同じ内容が印刷されます。

重要 インデックスラベルの印刷では、指定項目分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、キーボードの[取消し]を押して印刷を中止してください。

自由に入力して作る（ユーザー作成）

文字を自由に入力して作成します。一度に最大で6項目まで作成・印刷することができます。

[印刷例] 3項目 (印刷方向：縦)



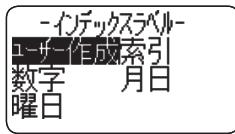
1 電源を押して、電源を入れます。

2 を押して「新規」を選び、[実行]を押します。

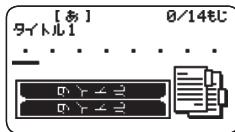
3 を押して「インデックス」**横1 横2 横3 縦**を選び、[実行]を押します。



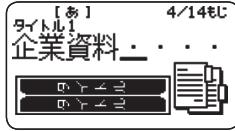
4 を押して印刷方向を選び、
[実行]を押します。
ここでは、「縦」を選びます。
作成方法の選択画面が表示されます。



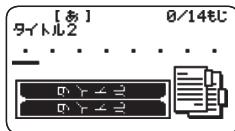
5 を押してユーザー作成
を選び、[実行]を押します。
最初の項目の入力画面が表示されます。



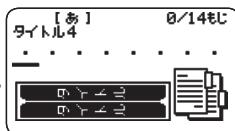
6 文字を入力します。
ここでは「企画資料」と入力します。



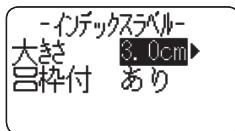
7 [実行]を押します。
次の項目の入力画面が表示されます。



8 手順6～7を繰り返して3項目まで入
力し、[実行]を押します。
4番目の項目の入力画面が表示され
ます。



9 [実行]を3回押します。
印刷の大きさ(3.0cm/4.5cm)と、枠
の「あり／なし」の設定画面が表示され
ます。

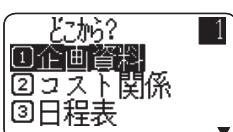


10 を押して、印刷の大きさを選びます。
ファイルの仕切りカードの見出し山に貼るときなど、枠を付
けないで印刷したい場合には、を押して、 で「枠付
なし」を選びます。
ここでは、このままの設定とします。

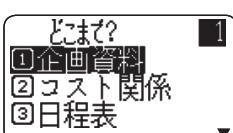
11 [実行]を押します。



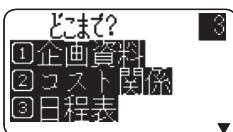
12 を押して印刷を選び、[実行]を
押します。
印刷範囲の選択画面が表示されます。



13 を押して印刷する最初の項目
を選び、[実行]を押します。
ここでは、「企画資料」を選びます。
・数字キーで番号を入力して選択するこ
ともできます。



14 を押して印刷する最後の項目
を選びます。
ここでは、「日程表」を選びます。



15 [実行]を押します。

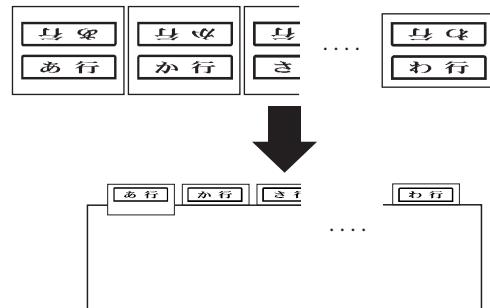
16 ①②を押してカットモードを設定し、**[実行]**を押します。
・カットモードについて詳しくは24ページをご覧ください。
印刷が開始されます。

- 重要** テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。
- ラベルデータを登録するときは→69ページ

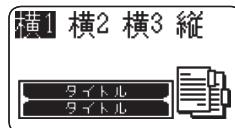
定型句を使って作る

本機にあらかじめ内蔵されている定型句を使って作成します。定型句は、「索引」「数字」「月日」「曜日」の4つの分類から選ぶことができます。定型句の詳細や最大印刷枚数などについては、37ページをご覧ください。

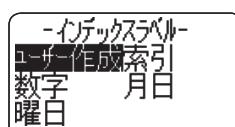
[印刷例] 「あ行」～「わ行」(10項目／印刷方向：横2)



1 33ページの手順**1～3**と同様な操作で「インデックス」を選び、**[実行]**を押します。



2 ①②を押して印刷方向を選び、**[実行]**を押します。
ここでは、「横2」を選びます。
作成方法の選択画面が表示されます。



3 を押して定型句の分類を選択し、**実行**を押します。

ここでは、「索引」を選びます。

印刷パターンの選択画面が表示されます。



4 を押して印刷パターンを選択し、**実行**を押します。

ここでは、「あ行 … わ行」を選びます。

印刷の大きさ(3.0cm/4.5cm)と、枠の「あり／なし」の設定画面が表示されます。



5 を押して、印刷の大きさを選びます。

- ファイルの仕切りカードの見出し山に貼るときなど、枠を付けないで印刷したい場合には、を押して、 で「枠付なし」を選びます。

ここでは、このままの設定とします。

6 **実行**を押します。



7 これ以降の操作は、34ページの手順12～16と同様です。

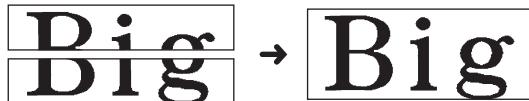
- 定型句は、初期フォントで設定されている書体で印刷されます。初期フォントの設定については、92ページの「電源を入れたときの書体を決める」をご覧ください。

インデックスラベル「定型句」一覧

分類	表示	最大 印刷枚数	1 枚目	2 枚目	3 枚目	4 枚目	5 枚目	6 枚目	7 枚目	8 枚目	9 枚目	10 枚目	11 枚目	12 枚目	…	26 枚目	…	31 枚目	…	46 枚目	…	99 枚目
索引	あ行…わ行	10 枚	あ行	か行	さ行	た行	な行	は行	ま行	や行	ら行	わ行	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ア行…ワ行	10 枚	ア行	カ行	サ行	タ行	ナ行	ハ行	マ行	ヤ行	ラ行	ワ行	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	あ…ん	46 枚	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	…	は	…	ま	…	ん	—	—
	ア…ン	46 枚	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	…	ハ	…	マ	…	ン	—	—
	A…Z	26 枚	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	…	Z	—	—	—	—	—	—
	a…z	26 枚	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	…	z	—	—	—	—	—	—
数字	1…99	99 枚	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	…	26	…	31	…	46	…	99
	No.1…No.99	99 枚	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	…	No.26	…	No.31	…	No.46	…	No.99
	1～…90～	10 枚	1～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	No.1～…No.90～	10 枚	No.1～	No.10～	No.20～	No.30～	No.40～	No.50～	No.60～	No.70～	No.80～	No.90～	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
月日	1月…12月	12 枚	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	—	—	—	—	—	—	—	—
	Jan.～Dec.	12 枚	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May	June	July	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.	—	—	—	—	—	—	—	—
	1月度…12月度	12 枚	1月度	2月度	3月度	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	10月度	11月度	12月度	—	—	—	—	—	—	—	—
	1日…31日	31 枚	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	…	26日	…	31日	—	—	—	—
曜日	日曜日…土曜日	7 枚	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Sun.～Sat.	7 枚	Sun.	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

大きなラベルを作る（拡大印刷）

本機では、24mm 幅のテープまで使用できますが、それよりも大きなラベルも作ることができます。文字を何枚かのテープに分けて印刷し、それを並べて貼って、1 枚のラベルにします。



文字を 2 枚のテープ
に分けて印刷

2 枚を並べて貼ると、
1 枚のラベルが完成

重要 12mm 幅以上のテープカートリッジをセットしてください。

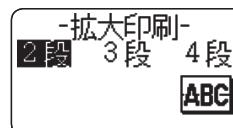
【印刷例】 Big (12mm 幅テープ / 2 段)

1 を押して、電源を入れます。

2 を押して「新規」を選び、 を押します。

3 を押して「拡大印刷」を選び、 を押します。

4 文字を入力し、 を押します。



5 を押して拡大する文字の大きさを設定し、 を押します。

2 段とは、「2 枚のテープに分けて印刷する」という意味です。

ここでは「2 段」を選びます。

テープ幅	文字の大きさ		
	2 段	3 段	4 段
12mm	24mm	36mm	48mm
18mm	30mm	45mm	60mm
24mm	30mm	45mm	60mm

6 を押して印刷を選び、 を押します。



7 を押して何段目を印刷するかを設定し、 を押します。
ここでは「全部」を選びます。

8 を押してカットモードを設定し、 を押します。
印刷が始まります。

- カットモードについて (24 ページ)
- 文字数の多い大きなラベルを印刷する場合、1 本のテープすべての段を印刷できない場合があります。テープの残量を確認しながら 1 段ずつ印刷することをおすすめします。印刷の途中でテープが終了した場合は、キーボードの [取消し] を押して印刷を終了し、テープを交換した後、再度、印刷操作をしてください。
- 黒い部分の多い文字を印刷したり、連続して印刷すると、プリンターが熱くなり過ぎるのを防止するため“印刷準備中”的表示になって、印刷を一時停止することがあります。

プリンターが正常な温度に戻ると自動的に印刷を再開しますので、そのまましばらくお待ちください。

- ・“印刷準備中”の表示になり、頻繁に印刷が停止する場合は印刷濃度を低く設定してください。

2段目の印刷が終わったら、この画面になります。



テープを2段並べて貼ります

- ・18mm 幅テープ、24mm 幅テープに印刷すると、テープの上下に余白ができます。余白部分をカットしてから並べて貼ってください。18mm 幅テープ、24mm 幅テープに印刷するときは、余白部分を重ねて貼ることができる「透明テープ」をお使いになることをおすすめします。

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、好みで印刷の書式を設定することができます。

- ・印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- ・「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に **機能** を押し、指を離してから **[2番]** を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

フリーラベル

自由に入力して作る（フリーラベル）

ここでは自由に入力してラベルを作る（フリーラベル）方法について説明します。

操作を簡単に説明しますと、以下のようになります。

1 **電源**を押して、電源を入れます。

2 **ⒶⒷⒸⒹ**を押して「新規」を選び、**実行**を押します。

3 **ⒶⒷⒸⒹ**を押して「フリーラベル」を選び、**実行**を押します。

4 自由に文字を入力します。

- ・フリーラベルの作り方について詳しくは 20 ページをご覧ください。

フリーラベルの編集機能

2行以上のラベルを作る

2行以上の文章を含むラベルを作ることができます。

作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

重要  3.5mm 幅テープでは、2行以上のラベルは作れません。

テapeの幅	最大行数
3.5mm	1 行
6mm	2 行
9mm	3 行

テapeの幅	最大行数
12mm	5 行
18mm	8 行
24mm	8 行

- ・テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。
(ジャストフィット印刷)
- ・文字の大きさを自由に決めた場合(51ページ)も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

[印刷例] 顧客リスト 最新版

1 1行目を入力します。
ここでは「顧客リスト」と入力します。

2  を押します。

3 2行目を入力します。
ここでは「最新版」と入力します。

文字の大きさが行数に合わせて自動的に変わります。



作っているラベルのレイアウト(イメージ表示)
線の数は行数を表し、線の太さは文字の大きさをイメージで表します。

改行マークが入ります
(画面だけの印なので
印刷されません)

- ・文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、を押します。
- ・改行を取り消すときは、を押してマークを削除します。
を押しても「[]」マークを削除することはできません。
- ・イメージ表示は、微小フォントでの印刷のときは「5/8」というような表示になります。これは、「行数は8行で、カーソルが合っているのは5行目」という意味です。
微小フォントでの印刷について→55ページ。
- ・セットされているテープ幅に合わない行数にすると、「行数オーバー印刷できません」と表示され、印刷することはできません。そのときは行数を減らしてください。
- ・ラベルデータを印刷するときは→21ページ
- ・ラベルデータを登録するときは→69ページ

こんなラベルを作るには?

ジャストフィット印刷(51ページ)

顧客リスト
最新版
営業部

顧客リスト最新版
営業部

ブロックマークを入れます
(41ページ)

文字の大きさを行ごとに決めます
(53ページ)

文章をブロックに分ける

下の印刷例の「営業計画書」「国内営業部 営業第三課」は、それぞれ独立した文字のかたまりです。この文字のかたまりをブロックといいます。ブロックごとに書式や行数を設定することができますので、いろいろなラベルを自由に作ることができます。

【印刷例】



1つのブロック

1つのブロック (18mm 幅テープ)

- ・2行 (40 ページ)
- ・縦書き (42 ページ)

【印刷例】 「営業計画書」「国内営業部 営業第三課」を別々のブロックに分ける

1 最初のブロックの文字を入力します。
ここでは「営業計画書」と入力します。

2 [ブロック]を押します。
「営業計画書」が1つのブロックになります。



ブロックマーク
(画面だけの印なので印刷されません)

3 次のブロックの文字を入力します。
ここでは「国内営業部」と入力します。

カーソルの位置が何ブロック目にあるかを表します



- ・ブロックマークを消すときは、「**B**」の位置にカーソルを合わせ、**[文字削除]**を押します。
- ・**[後退]**を押しても**B**マークを削除することはできません。
- ・ブロックに分けることができるのは、16個までです。

4 続けて文字を入力します。

ここでは**[J]**「営業第三課」と入力します。

- ・2行のラベルについては40ページをご覧ください。
- ・縦書きの設定については42ページをご覧ください。

文章を完成させたあとでブロックに分けるには
文字を入力したあとで、ブロックに分けることもできます。分けたい位置にカーソルを移動させ、**[ブロック]**を押します。

ラベルの書式を決める

ラベルの長さ・文字間隔・文字のバランスなど、ラベルをどのようなルール（書式）で作るのかを決めます。
ラベルごとの書式を決めることもラベル全体の書式を決めることもできます。

ラベルごとに書式を決める

ラベル（41ページ）ごとに、印刷方向や文字のバランスなどを設定します。

■設定できる内容

ラベル書式では、次のような設定ができます。

方向	文字の向きを横書きにするか、縦書きにするかを決めます。	方向	カタ
文字割付	ラベル中の文字のバランスを決めます。→49ページ参照		
文字間隔	文字と文字のピッチ（間隔）を決めます。		
ラベル長	ラベルの長さを決めます。	→46ページ参照	

■設定する

1 文章を入力し、ラベルに分けます。

2 書式を決めるラベルにカーソルを合わせます。
そのラベル内であれば、カーソルの位置はどこでも構いません。

3 機能を押し、指を離してから**2.3**を押します。
ラベルが1つだけの場合には手順**6**に進んでください。このときは、ラベル書式と全文書式が続けて設定できます。

4 **④⑤**を押して**ラベル書式**を選び、**実行**を押します。

5 **④⑤**を押して**このラベルのみ**を選び、**実行**を押します。
すべてのラベルを共通の書式にするときは**④⑤**を押して**全ラベル**にします。

6 各項目を設定します。

- **⑥⑦**を押して設定項目を選びます。
- **④⑤**を押して希望の項目を表示させます。

設定項目	内 容
方向	文字を縦書きにするか横書きにするかを選択
文字割付	ラベルの中での文字のバランス（左寄せ／均等／中寄せ／右寄せ）を設定する→49ページ参照
文字間隔	文字と文字の間隔（0.0～31.9mm）を指定する (④⑤ を押すと間隔が変わり、それに合わせてテープ長さの数値も変わる) <ul style="list-style-type: none"> 「文字割付」を「均等」、「ラベル長」を「固定」とした場合は、文字間隔の指定はできません。

-ラベル書式1/4-
方向 

テープ長さ
3.1cm 

↓ 

-ラベル書式2/4-
文字割付 

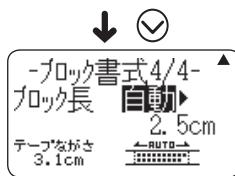
テープ長さ
3.1cm 

↓ 

-ラベル書式3/4-
文字間隔 1.0mm 

テープ長さ
3.1cm 

設定項目	内 容
ブロック長	<ul style="list-style-type: none"> ・自動：文字数に合わせて自動的にブロックの長さを調整する ・ブロックの長さを任意に設定するときは①②を押して「固定」を選ぶ →46ページ参照



7 各項目を設定したら、**実行**を押します。

こんなラベルを作るには…

[印刷例]



記号の「12」（グループ=数字） 記号の「24」（グループ=数字）

記号の入力について詳しくは、82ページをご覧ください。

① 「12月24日」のブロックにカーソルを合わせる。

書式

② **機能**を押し、指を離してから**2**を押して、「ブロック書式」→「このブロックのみ」→「縦書き」とする。

↓
印刷する

文章全体の書式を決める

文章全体の書式を決めます。

ブロックで区切られた文章であっても、ブロックには関係なく文章全体が対象になります。

■設定できる内容

文章全体の書式では、次のような設定ができます。

裏書き

き 書 裏

- ・布転写テープカートリッジ（別売）を使用してハンカチやTシャツなどにアイロンプリントするときに設定します。
- ・アイロン布テープ（別売）を使用してアイロンプリントするときには、裏書きの設定は必要ありません。
- ・テープ色が透明なテープカートリッジ（別売）を使用してガラスなど透明なものに裏から貼るときに設定します。

斜め

文字を斜めに印刷するときに選びます。

しない

斜め

する

斜め

プロポーショナル

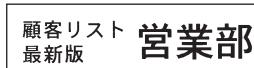
プロポーショナルとはアルファベット・数字に適した文字間隔のことです。アルファベット・数字が入った文章のときは「する」にすると、より美しく仕上ります。

する

CASIO

しない

C AS IO

スムージング	印字の不自然なギザギザを美しく滑らかにするかしないかを選びます。 する  しない 
ブロック間隔	ブロックとブロックの間隔を選びます。 密着  普通  広い 
余白	ラベルの前後に付くスペースの長さを選びます。 → 45 ページ参照
テープ長	ラベル全体の長さを自由に決めます。 → 47 ページ参照
ブロック割付	ラベル全体におけるブロックのバランスを決めます。 → 50 ページ参照

■設定する

1 文字を入力します。

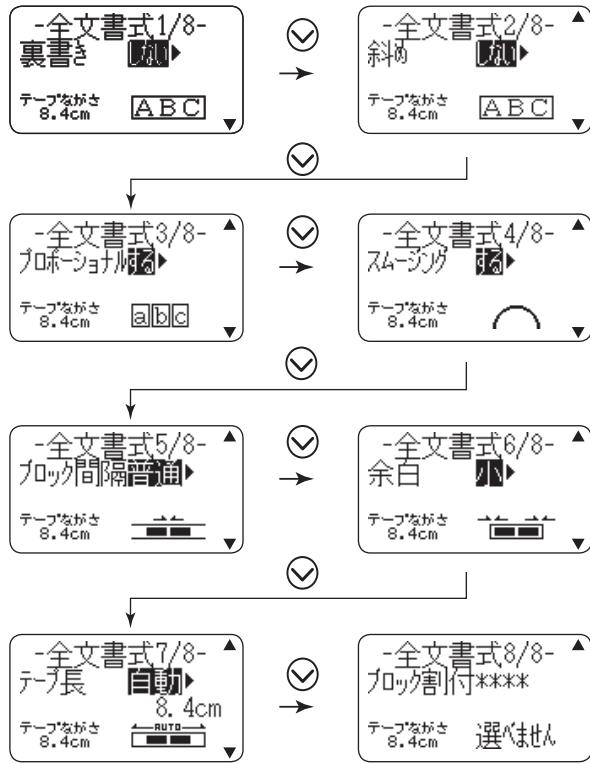
2 書式 機能を押し、指を離してから [2] を押します。
ブロックが 1 つだけの場合には手順 4 に進んでください。ブロック書式と全文書式が統けて設定できます。

3 ◎◎を押して全文書式を選び、[実行]を押します。

4 各項目を設定します。

- ↑↓を押して設定項目を選びます。
- ◎◎を押して希望の項目を表示させます。

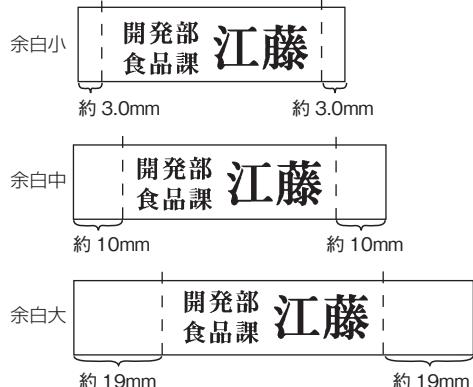
設定項目	内 容
裏書き	文字を裏書きで印刷するかしないかを選ぶ。裏書きにしないときは「しない」を選ぶ
斜め	文字を斜めに印刷するときは「する」を、斜めに印刷しないときは「しない」を選ぶ
プロポーショナル	する：アルファベット・数字に適した文字ピッチに調整する しない：アルファベット・数字の文字ピッチが、かな・漢字まじりの文章に適した文字ピッチになる
スムージング	文字のラインを滑らかにするか、しないかを選ぶ
ブロック間隔	ブロックとブロックの間隔を選ぶ
余白	ラベルの前後に付くスペースの長さを選ぶ→ 45 ページ
テープ長	<ul style="list-style-type: none"> 自動：文字数に合わせて自動的にラベルの長さを調節する ラベル全体の長さを任意に設定するときは、◎◎を押して「固定」を選ぶ→ 47 ページ
ブロック割付	<ul style="list-style-type: none"> ラベル全体に対するブロックの位置を選ぶ→ 50 ページ テープ長さを「固定」にしたときのみ有効 (左寄せ / 均等 / 中寄せ / 右寄せ)



5 各項目を設定したら、**実行**を押します。

余白について

ラベルの前後に付くスペースを余白といいます。
次の3種類の余白を選べます。



重要 テープの長さが短い（余白小のとき：約 28mm 以下、余白中のとき：約 35mm 以下、余白大のとき：44mm 以下）場合には、余白カットをしないことがあります。印刷が終わった後で、ハサミなどで余白をカットしてください。



- 「送り無」と設定し、連続して印刷すると、ラベルとラベルを密着させて印刷することができます。
- 「送り無」と設定したときは、テープは自動的にはカットされません。テープをカットするときは、**機能**を押し、指を離してから**⑨**を押してください。先頭のラベル余白は、ハサミなどでカットしてください。

ラベルの長さを自由に決める

ラベルは文字の大きさや文字数に合わせて最適な長さで印刷されます。ここではラベルの長さを自由に設定する方法を説明します。

ラベルの長さを決める方法には、次の3つがあります。

- ブロックごとの長さを決めて、ラベルの長さを設定する（ブロック長固定）。
- ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）。
- CD/DVDのケース・ファイル用のラベルなど、よく作るラベルの長さを設定する（テープ長ダイレクト設定キー）。
- ・ ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さと完全には一致しません。

ブロックの長さを設定する（ブロック長固定）

ブロック（41ページ）の長さを決めることにより、ラベル全体の長さを決めることができます。

1 文字を入力し、ブロックに分けます。

- ・ ブロックの分け方（41ページ）

2 長さを決めるブロックにカーソルを移動します。

そのブロック内であればカーソルの位置はどこでも構いません。

3 [機能] を押し、指を離してから [2番] を押します。

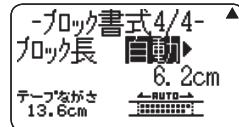
ブロックが1つだけの場合には、手順6に進んでください。

4 ⑤⑥を押してブロック書式を選び、[実行]を押します。

5 ⑤⑥を押してこのブロックのみを選び、[実行]を押します。

- ・ すべてのブロックを共通の書式にするときは⑤⑥を押して全ブロックを選びます。

6 ⑤⑥を押して、「ブロック長」を画面に表示させます。



7 ⑤⑥を押して、「ブロック長 固定」を選びます。

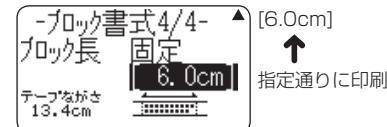
8 ⑦を押します。



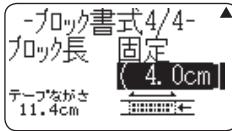
数値が反転します

9 数値キー、または⑤（減）・⑥（増）を押して、ブロックの長さを設定します。

- ・ 直接数字を入力することもできます。
- ・ ブロックの長さと入力されている文字により、次のようにになります。



営業部



(4.0cm)
↑
文字を横方向に
縮めて指定通り
に印刷

営業部



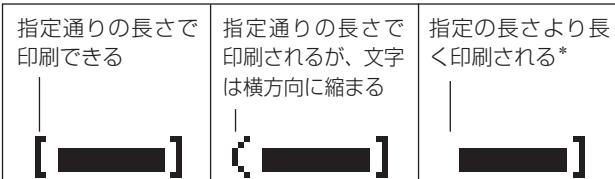
2.0cm]
↑
指定した長さよ
り長く印刷

営業部

10 [実行]を押します。

イメージヤー表示について

「ブロック長固定」を選ぶと、画面右上のイメージヤー表示は次のようにになります。



* 文字が印刷方向に 50% 縮小されて印刷されます。また、印
刷されたテープは指定より長くなります。

ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）

1 文字を入力します。

2 [機能]を押し、指を離してから [2] を押します。
ブロックが 1 つだけの場合には、手順 4 に進んでください。

3 ④⑦を押して 全文書式 を選び、[実行]を押します。

4 ⑥⑦を押して、「テープ長」を画面に表示させます。

5 ④⑦を押して、「テープ長 固定」を選び、⑦を押します。



6 数値キーまたは④(減)・⑦(増)を押して、ラベルの長さ
を設定し、[実行]を押します。

- 直接数字を入力することもできます。
- 入力されている文字に合わない長さにすると、「長さエラー」となり、次のような表示になります。

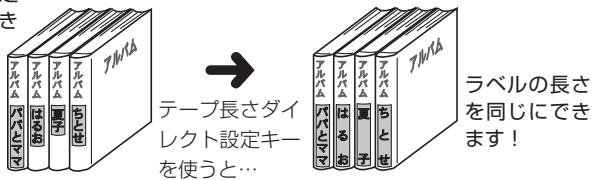
[10.5cm]
↑
指定通りに印刷

10.4cm]
↑
指定したテープ長より長くなって印刷

CD/DVDのケース・ファイル用のラベルなどを簡単に設定する(テープ長さダイレクト設定キー)

テープ長さダイレクト設定キーを使えば、CDやDVDのケース、ファイル用のラベルなど、よく作成するラベルの長さを簡単に設定できます。また、同じ長さを簡単に設定できるので、長さのそろった複数のラベルも簡単に作成できます。

長さを設定しないとき

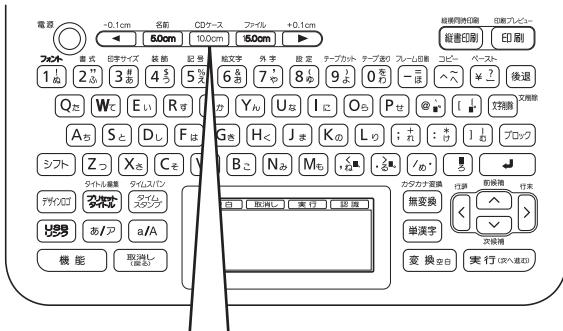


- ブロックを使っているときは、ラベルの長さの設定は、書式の「テープ長」「ブロック長」でしてください。
テープ長さダイレクト設定キーで設定すると、設定した値よりも長くなることがあります。
- テープ長さダイレクト設定キーで設定した長さは、テープ長固定と連動します。また、テープ長さダイレクト設定キーで設定すると、「ブロック長：固定」「文字割付：均等」「ブロック割付：均等」に設定されます（ブロック長が固定されるのは、ブロックが1つのときだけです）。
- フリーラベル以外では、テープ長さダイレクト設定キーは無効となります。

設定できる長さ

テープ長さ ダイレクト設定キー	適したもの
15.0cm	ペーパーファイル・バインダーなど
10.0cm	CD・DVDケースなど
5.0cm	名前シールなど

• 1mm単位で長さを調整することもできます。



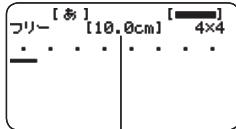
設定する

[例] CD・DVD ケース用のラベルの長さを設定する

1 **(10.0cm)**を押します。

を押すと長くなり、を押すと短くなります。

- 文字入力はラベルの長さを設定する前でも設定したあとでも構いません。



長さが 10.0cm に変わります。

文章のバランスを整える（割付）

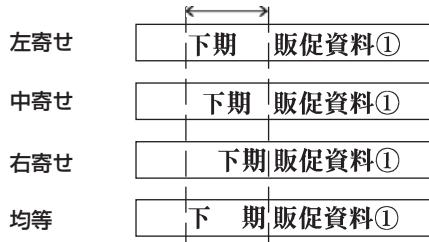
文字や文章のバランスを整えることができます。

ブロック内で文字のバランスを整える

ブロック内の文字のバランスを選ぶことができます。

[例] 「下期」のバランスを整えます。

ブロック長を固定します



1 文字を入力し、ブロックに分けます。

- ブロックの分け方 (41 ページ)

2 割付の対象になるブロックにカーソルを合わせ、**機能**を押し、指を離してから**2**を押します。

ここでは「下期」にカーソルを合わせます。

ブロックが 1 つだけの場合には、手順 5 に進んでください。

3 **⑦⑧**を押して**ブロック書式**を選び、**実行**を押します。

4 **⑦⑧**を押して**このブロックのみ**を選び、**実行**を押します。

5 を押して「文字割付」の設定画面にします。

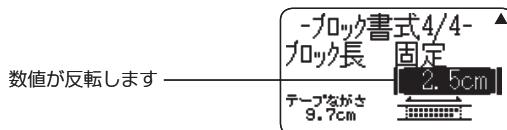


6 を押して、割付の種類を表示させます。

を押すたびに、**均等** **中寄せ** **右寄せ** **左寄せ** と割付の種類が変わります。

7 を押して、「ブロック長」を画面に表示させます。

8 を押して「ブロック長 固定」を選び、 を押します。



9 数値キー、または (減)・ (増) を押して、元のブロック長より長い数値にし、**実行**を押します。

2 行以上の文章のときは、「ブロック長 自動」を選んでも、割り付けすることができます。そのときは次のように文字数の少ない方が割付の対象になります。

左寄せ	中寄せ	右寄せ	均等
下期 販促資料①	下期 販促資料①	下期 販促資料①	下期 販促資料①

ラベル内のブロックのバランスを整える

ラベル全体に対しての、ブロックのバランスを選びます。

左寄せ 開発部 江藤まこと

均等 開発部 江藤まこと

中寄せ 開発部 江藤まこと

右寄せ 開発部 江藤まこと

重要 ブロックの割付は、「テープ長 固定」と設定されているときのみ有効です。

1 文字を入力し、ブロックに分けます。

- ・ブロックの分け方 (41 ページ)

2 を押し、指を離してから を押します。
ブロックが 1 つだけの場合には、手順 4 に進みます。

3 を押して**全文書式**を選び、**実行**を押します。

4 を押して、「テープ長」を画面に表示させます。

5 ◎◎を押して、「テープ長 固定」を選び、▽を押します。



6 数値キー、または◎(減)・◎(増)を押して、希望の数字(ラベルの長さ)にします。
元の長さより長い数値にします。

7 ▽を押して、「ブロック割付」の設定画面にします。



8 ◎◎を押して、希望の割付の種類を表示させ、[実行]を押します。
◎◎を押すたびに、均等 中寄せ 右寄せ 左寄せと割付の種類が変わります。

文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、セットされているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです（ジャストフィット印刷）。

ここではジャストフィット印刷ではなく、自由に文字の大きさを決める方法を説明します。

●文字の大きさは、次の2つの方法で決めることができます。

- 文字単位で大きさを決める
- 行単位で大きさを決める

文字単位で大きさを決める

文字単位で「1×1」～「5×8」倍まで自由に文字サイズを選択できます。テープの幅によって、印刷できる文字サイズの最大値（縦方向）は異なります（テープ幅と行数・倍率一覧 131ページ）。

1×1

禁煙

2×3

禁煙

4×4

禁煙

5×6

禁煙

- 縦書きと横書きとでは、印刷結果が異なる場合があります。例えば、1×2と指定すると、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されます（上の印刷例はすべて横書きで作成しています）。

1×2（横書き）

終日禁煙

1×2（縦書き）

終日禁煙

【例】 「終日禁煙」の「終日」を 1×3 にする

1 文字を入力します。

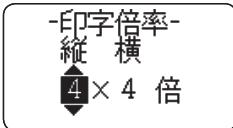
2 [機能] を押し、指を離してから [3#] を押します。



3 ⌈⑦⌋ を押して [印字倍率] を選び、[実行] を押します。

4 ⌈⑦⌋ を押して [文字単位] を選び、[実行] を押します。

5 縦の倍率の数値が反転表示されていることを確認します。



6 ⌈⑧⌋ を押して、「縦」の倍率を設定します。

ここでは縦倍率を「1」にします。

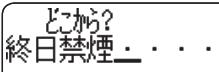
- 直接数字を入力することもできます。
- 不適当な倍率を入力しようとすると、「ピッ」とブザーがなり、入力できません。

7 ⌈⑧⌋ を押して、「横」の倍率数値を反転させます。

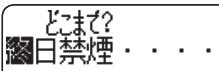
- 数字を入力したときは、自動的に「横」の倍率数値が反転します。



8 ⌈⑧⌋ を押して「横」の倍率を設定し、[実行] を押します。
ここでは横倍率を「3」にします。



9 ⌈⑧⌋ を押して大きさを変える最初の文字にカーソルを合わせ、[実行] を押します。
ここでは「終」を指定します。



10 ◎◎を押して大きさを変える最後の文字を選び、[実行]を押します。

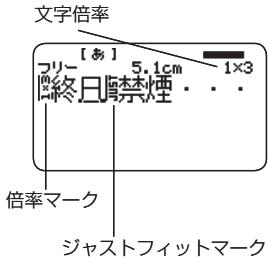
ここでは [終日] にします。

文字倍率：カーソルが合っている文字の大きさを表します。

倍率マーク：印刷される文字の大きさを表します。

ジャストフィットマーク：

自動的に付きます。このマークより後の文字はジャストフィット印刷に従った大きさで印刷されます。



- 倍率マークやジャストフィットマークは画面には表示されますが、印刷されません。
- 文字サイズの指定を取り消すときは、倍率マークを [文字削除] で削除します。
- 倍率マークを削除した場合、文字サイズはテープ幅や入力文字の行数に合わせて自動設定されます。
ただし、削除した倍率マークよりも左側に倍率の指定があるときは、その倍率になります。
- ブロックを超えて、倍率の範囲指定をすることはできません。

文字の大きさ 1×3 ジャストフィット印刷



行単位で大きさを決める（フォーマット選択）

行単位で文字サイズを設定するときは、下のフォーマットから選びます。

- 文章の行数とセットされているテープカートリッジの幅によっては、異なるフォーマットを選んでも印刷結果が同じになることがあります。

行数	フォーマット	24/18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅
1 行	A	1×1 倍	1×1 倍	1×1 倍
	B	2×2 倍	2×2 倍	2×2 倍*
	C	3×3 倍	3×3 倍*	—
	D	4×4 倍	—	—
	E	5×5 倍*	—	—
2 行	A	1×1 倍 1×1 倍	—	—
	B	1×1 倍 2×2 倍	—	—
	C	2×2 倍 1×1 倍	—	—
	D	2×2 倍* 2×2 倍*	—	—
	E	1×1 倍 3×3 倍*	—	—
	F	3×3 倍* 1×1 倍	—	—

行数	フォーマット	24/18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅
3 行	A	1×1 倍 1×1 倍 1×1 倍	—	—
	B	1×1 倍 1×1 倍 2×2 倍*	—	—
	C	1×1 倍 2×2 倍* 1×1 倍	—	—
	D	2×2 倍* 1×1 倍 1×1 倍	—	—

*フレーム印刷時は、小さくなります。



- 6mm 幅、3.5mm 幅のテープは行単位で大きさを決める
ことはできません。
- 4 行以上の場合は、行単位で大きさを決められません。
- 文字単位で印字サイズを設定した後では、行単位で設定で
きません。

【例】

営業2課
西東京地区

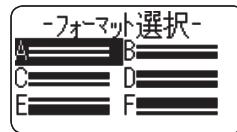
1 行目：1×1 倍 (2 行・フォーマット E)
2 行目：3×3 倍 (18mm 幅テープ)

1 文字を入力します。

2 [機能] を押し、指を離してから [3#あ] を押します。

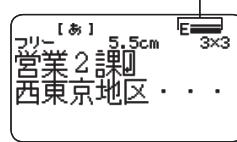
3 ⑥⑦を押して印字倍率を選び、[実行] を押します。

4 ⑥⑦を押して行単位を選び、[実行] を押します。



5 ⑥⑦⑧⑨を押してフォーマットを選び、[実行] を押します。

選んだフォーマット



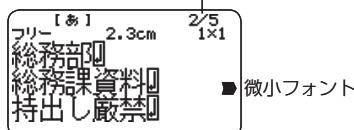
この場合、行単位の文字サイズの設定は解除されます。

- 行数を変更したとき
- 文字単位で文字の大きさを指定したとき (51 ページ)

微小フォントについて

- 行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）と、テープ幅によって、「微小フォント」となります。
- このとき、画面右の「■ 微小フォント」が点灯します。
- フリーラベルでは、分数でイメージヤー表示されます。

イメージヤー表示



- イメージヤー表示については、「2行以上のラベルを作る」の手順③(40ページ)をご覧ください。
- 微小フォントでは、次のような特徴があります。
 - ・フォントの設定は、無効です（すべて同じフォントで印刷されます）。
 - ・プロポーショナルの設定は、無効です（「しない」になります）。
 - ・文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
 - ・絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

フレームを付ける

フリーラベルの文章にいろいろなフレームを付けることができます。
フレームの一覧は 126 ページをご覧ください。

重要 3.5mm 幅テープにフレームを付けることはできません。



[印刷例]



1 文字を入力します。

2 を押し、指を離してから を押します。

3 を押して使うフレームを選び、 を押します。
ここでは を選びます。

4 で **印刷** を選び、 を押します。

重要 印刷するときは、24 ページの注意事項をご覧ください。



5 数字キー（または ）を押して印刷枚数を設定し を押します。

1 ~ 100 枚まで設定できます。

6

を押してカットモードを設定し を押します。

印刷が開始されます。

- ・カットモードについて (24 ページ)

- ・書式で「斜め する」と設定してあっても、フレーム付き印刷では標準で印刷されます。

- ・「文字修飾」の「枠付」の指定は無効になります。

フレーム印刷できる行数

テープ幅によって、フレーム印刷できる行数は異なります。

	24/18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅	6mm 幅
フレーム印刷できる行数	6 行以内	3 行以内	2 行以内	1 行

縦書きのラベルを作る

フリーラベルの入力中、または入力後の確認画面（21ページ「印刷する」の手順1の画面）表示中に[縦書き印刷]を押すだけで、簡単に縦書きのラベルを印刷することができます。また、縦書きと横書きのラベルを一度に印刷することもできます。

縦書き印刷



縦横同時印刷



縦書き（1枚目）、横書き（2枚目）がセットで印刷されます。

- フリーラベル以外では、[縦書き印刷]や[機能]の[縦書き印刷]は無効となります。フリーラベル以外で縦書きのラベルを作成するときは、書式設定画面（42ページ）で「縦書き」を設定してください。

1 文字を入力します。

2 [縦書き印刷]を押します。

- 縦書きと横書きのラベルを一度に印刷するときは、[機能]を押し、指を離してから[縦書き印刷]を押します。

 印刷するときは、24ページの注意事項をご覧ください。

3 数字キー（または①②）を押して印刷枚数を設定し、[実行]を押します。

1～100枚まで設定できます。

- ブロック書式（42ページ）で、縦書きと横書きを混在した文章を作成した場合は[縦書き印刷]で印刷すると、すべて縦書きになります。

4 ①②を押してカットモードを設定し、[実行]を押します。

- カットモードについて（24ページ）

■ 「平成 22 年 9 月」、「'10 年 9 月」などのラベルの作り方

[印刷例]



- 「22」や「'10」などは、記号一覧（123ページ）の記号を使用すると、上の例のようなラベルを作ることができます。記号の入力方法については、82ページをご覧ください。

- 現在の日付や時刻を入力するタイムスタンプ機能や、有効期限などの将来の日付や時刻を入力するタイムスパン機能を使用した場合には、そのまま縦書きで印刷するだけで上の例のようなラベルを簡単に作ることができます。

- タイムスタンプ（100ページ）
- タイムスパン（100ページ）

バーコードラベルを作る

バーコードラベルを作る

バーコードラベルを作ることができます。

バーコードのタイプ

(1) EAN 系

- JAN-13 (日本) /EAN-13 (ヨーロッパ)
- JAN-8 (日本) /EAN-8 (ヨーロッパ)
- UPC-A (アメリカ)
- UPC-E (アメリカ)

(2) ITF

(3) CODE39

(4) CODABAR(NW-7)



- 12mm 幅以上のテープカートリッジを使用してください。
- バーコードの上部にコメントを付けることができます (60 文字まで)。
- 印刷したバーコードは、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。正確に読み取れないときは、以下の調節をしてください。
 - 印刷濃度を薄くする (109 ページ)
 - 大きく印刷する (59 ページの操作 7 で設定)
 - カットモードを「特殊テープ」または「カットしない」にする (24 ページ)
- バーコードラベルに適したテープは、次のとおりです。
 - 白テープに黒文字 (WE)
 - 白テープに青文字 (WEB)
 - 黄色テープに黒文字 (YW)
 - () 内はテープの型番です。

[印刷例]

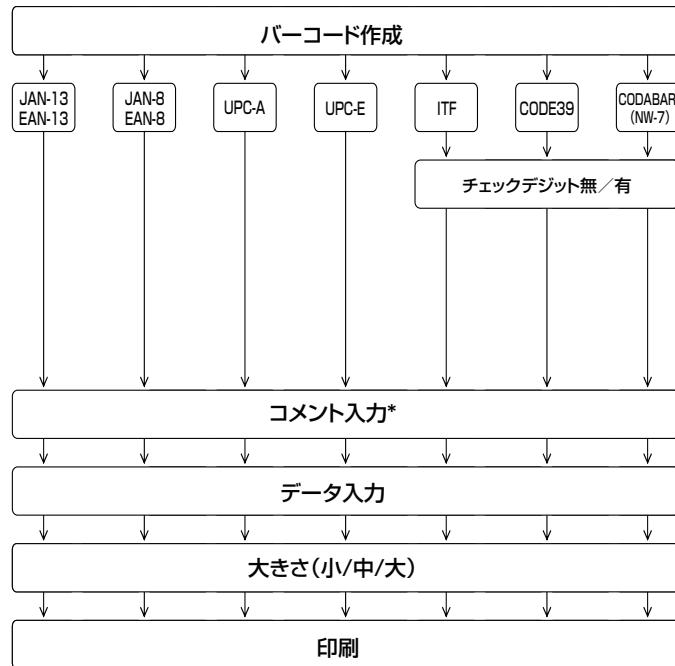
XR-18WE



4971850123194

(18mm 幅のテープカートリッジを使用)

■バーコードラベル作成の流れ

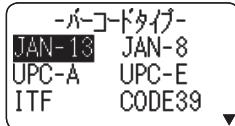


*コメントを入力しないときは、そのまま [実行] を押して次に進んでください。

1 電源を押して、電源を入れます。

2 を押して「新規」を選び、を押します。

3 ⑧⑨⑩⑪を押して「バーコード」を選び、**実行**を押します。



4 ⑧⑨⑩⑪を押してバーコードのタイプを選び、[実行]を押します。

ここでは「JAN-13」を選びます。

- ・バーコードタイプをITF、CODE39、CODABARとしたときは、この後にチェックデジットの有無を選び、**実行**を押します。

5 コメント(0~60文字)を入力し、**実行**を押します。
ここでは「XR-18WE」と入力します。

ここでは「XR-18WE」と入力します。

- コメントを入力しない場合は、そのまま実行を押します。

6 データ（12桁の数字）を入力し、**実行**を押します。
ここでは「497185012319」と入 -大きめ

ここでは「497185012319」と入力します。

- データ入力画面ではキーボードからのみの入力になります。



7 ①②を押してバーコードラベルの大きさを選び、**実行**を押します。

ここでは「中」を選びます。

- ・大きくするほどテープの長さは長くなります。

8 ◎(印)を押して印刷を選び、[実行]を押します。



9 数字キー（または $\leftarrow\rightarrow$ ）を押して印刷枚数を設定し、 \checkmark を押します。

1 ~ 100 枚まで設定できます。

10 ⑨⑩を押してカットモードを設定し、[実行]を押します。
印刷が開始されます

- ・カットモードについて (24 ページ)

- ・ラベルデータを登録するときは (69 ページ)
 - ・「長さオーバー 印刷できません」と表示されたときは (119 ページ)

バーコードの仕様

バーコード	チェックデジット ※ 1	印刷される 桁数 ※ 3	入力する 桁数 ※ 4	自動的に付く桁数	入力文字種	
					チェックデジット※ 1	※ 8
JAN-13	有	13 桁	12 桁	—	1 桁	数字 0 ~ 9
EAN-13						
JAN-8	有	8 桁	7 桁	—	1 桁	数字 0 ~ 9
EAN-8						
UPC-A	有	12 桁	11 桁	—	1 桁	数字 0 ~ 9
UPC-E	(有)※ 2	6 桁	6 桁	—	—	数字 0 ~ 9
ITF	無	4 ~ 22 桁 偶数のみ ※ 5	4 ~ 22 桁 偶数のみ ※ 5	—	—	数字 0 ~ 9
	有	4 ~ 22 桁 奇数のみ ※ 6	3 ~ 21 桁 奇数のみ ※ 6	—	1 桁	
CODE39	無	4 ~ 22 桁	2 ~ 20 桁	2 桁※ 7	—	数字 0 ~ 9 アルファベット A ~ Z
	有	4 ~ 22 桁	1 ~ 19 桁	2 桁※ 7	1 桁	記号 「-」「.」「空白」 「\$」「/」「+」「%」
CODABAR (NW-7)	無	4 ~ 22 桁	4 ~ 22 桁	—	—	数字 0 ~ 9 記号 「-」「\$」「:」「/」「.」「+」
	有	4 ~ 22 桁	3 ~ 21 桁	—	1 桁	アルファベット (先頭、末尾のみ)※ 9 A ~ D

※ 1 「チェックデジット」とは読み取り確認コードのことです。入力データより自動的に計算されます。JAN/EAN-13・JAN/EAN-8・UPC-A・ITF の “有”においては、印刷される桁数の末尾に付きます。また、CODE39 の “有”・CODABAR の “有”においては、印刷される桁数の末尾の 1 桁前に付きます。

※ 2 UPC-E のチェックデジットの表示はされますが、バーコード下に数字として印刷されることはありません。

- ※ 3 バーコード下に印刷される桁数は「入力する文字数 + 自動的に付く文字数」となります。
- ※ 4 この桁数に満たないときは、エラーメッセージが表示され、印刷ができません。また、この桁数以上の桁数を入力することもできません。
- ※ 5~6 ITF は印刷される桁数が偶数でなければならないので、以下のようにになります。
※ 5 ITF のチェックデジット “無” で、入力する桁数が奇数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。先頭に “0” を付けて、もういちど入力し直してください。
- ※ 6 ITF のチェックデジット “有” で、入力する桁数が偶数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。先頭に “0” を付けて、もういちど入力し直してください。
- ※ 7 CODE39 では、スタートコード（先頭）“*”・ストップコード（末尾）“*”が固定されます。
- ※ 8 この文字種以外の文字が含まれて入力されているときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。
- ※ 9 CODABAR では、スタートコード（先頭）・ストップコード（末尾）は、“A・B・C・D”的いずれかを使用します。また、先頭もしくは末尾に “A・B・C・D” 以外の文字が入力されているときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。

QR コードラベルを作る

QR コードラベルを作る

QR コードラベルを作ることができます。

QR コードとは、2 次元コードの 1 種です。携帯電話に名前、電話番号、URLなどを読み取らせるなどの使い方があります。本機では株式会社 NTT ドコモの携帯電話（QR コードに対応した機種）で読み取りや登録ができる形式でラベルに印刷されます。QR コードの読み取りや登録については、お使いの携帯電話の取扱説明書などをご覧ください。

印刷できる QR コードのタイプ

1 電話帳（NTT ドコモ電話帳登録）

2 ブックマーク（NTT ドコモブックマーク登録）

3 フリーテキスト



- 18mm、24mm 幅のテープカートリッジを使用してください。
- 本機で印刷する QR コードはモデル 2 に対応しています。モデル 1 には対応しておりません。
- 本機で印刷する QR コードは誤り訂正レベルが M (15%) となります。
- 本機で印刷する QR コードのバージョンは 5 のみで、その他のバージョンには対応しておりません。
- 印刷した QR コードは、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。正確に読み取れないときは、以下の調節をしてください。

印刷濃度を薄くする（109 ページ）

- QR コードラベルに適したテープは、次のとおりです。
 - 白テープに黒文字 (WE)
 - 白テープに青文字 (WEB)
 - () 内はテープの型番です。
- QR コードを大量に連続印刷すると、正確に読み取れない場合があります。

- ラベルを縦書きにしても、QR コードは回転しません。
- 電話帳のフリガナ項目でカタカナの濁音文字、半濁音文字は、QR コード印刷時に清音と濁点、半濁点の 2 文字に変換されます。変換後の 4 文字までが QR コードに印刷されます。

例：「バ」 → 「ハ」「゛」

「バ」 → 「ハ」「゜」

- 電話帳のフリガナ項目で「ワ、ヰ、ヱ、カ、ケ」は、QR コード印刷時に以下のように変換されます。

「ワ」 → 「ワ」

「ヰ」 → 「イ」

「ヱ」 → 「エ」

「カ」 → 「カ」

「ケ」 → 「ケ」

- 入力する文字列に「¥」「：」「；」「.」がある場合、携帯電話で読み取るときの制御文字の関係で、それぞれ以下のように 2 文字に変換されて QR コードで印刷されます。

● 電話帳の「フリガナ」の項目

「¥」 → 「¥¥」

「：」 → 「¥：」

「；」 → 「¥；」

「.」 → 「¥.」

● 電話帳の「E-mail」の項目

「¥」 → 「¥¥」

「：」 → 「¥：」

「；」 → 「¥；」

● ブックマークの「URL」の項目

「¥」 → 「¥¥」

「：」 → 「¥：」

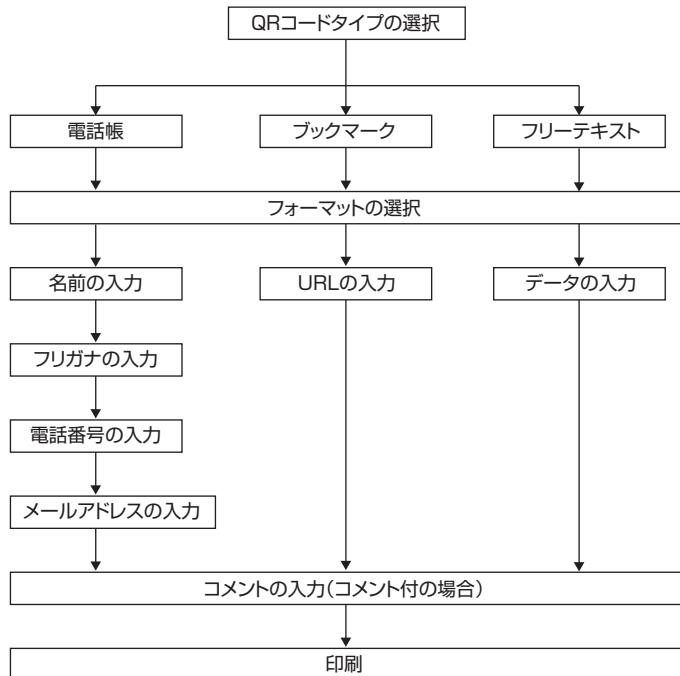
「；」 → 「¥；」

上記の制御文字の関係で「QR コード印刷の詳細仕様」(62 ページ) の入力可能文字数を下回る数の文字を入力しても、すべての文字が QR コードで印刷されないことがあります。QR コードで印刷された文字だけを携帯電話で読み取ることができます。

■ QR コード印刷の詳細仕様

タイプ	フォーマット	文字印刷	入力項目	文字数
電話帳	1.QRのみ	なし	名前	6
			フリガナ	4
			TEL	12
			E-mail	30
	2.データ付	4行	名前	6
			フリガナ	4
			TEL	12
			E-mail	30
	3.コメント付	1行	名前	6
			フリガナ	4
			TEL	12
			E-mail	30
			コメント	32
ブックマーク	1.QRのみ	なし	URL	74
	2.データ付	1行	URL	74
	3.コメント付	1行	URL	74
			コメント	32
フリーtekスト	1.QRのみ	なし	データ	52
	2.データ付	1行	データ	52
	3.コメント付	1行	データ	52
			コメント	32

■ QR コードラベル作成の流れ



- QRコードラベル作成時は、入力項目により、使用できる文字に制限があります。
- 「フリガナ」「TEL」「E-mail」「URL」の各項目では、キーボードから入力できる記号が使用できます。その他の記号、絵文字、外字は使用できません。
- 「名前」および「データ」の項目では、「QRコード専用記号」(124ページ)が使用できます。その他の記号、絵文字、外字は使用できません。
- 「コメント」の項目では、入力できる文字に制限はありません。
- 「QRコード専用記号」は、以下の操作で入力します。
 - 機能**を押し、指を離してから**記号**を押します。
 - ⒶⒷⒸⒹ**を押して入力したい記号を選び、**実行**を押します。

[例]



上記の印刷例に沿って操作を説明します。

1 **電源**を押して、電源を入れます。

2 **ⒶⒷⒸⒹ**を押して「新規」を選び、**実行**を押します。

3 **ⒶⒷⒸⒹ**を押して「QRコード」を選び、**実行**を押します。

4 **ⒶⒷⒸⒹ**を押してQRコードのタイプを選び、**実行**を押します。

ここでは「電話帳」を選びます。

5 **ⒸⒹ**を押してフォーマットを選び、**実行**を押します。

ここでは「3」を選びます。

フォーマットは以下の3種類から選びます。

- 1: QRコードのみ印刷
- 2: QRコードと入力したデータを印刷
- 3: QRコードとコメントを印刷

6 名前を入力し、**実行**を押します。

ここでは「田中大介」を入力します。

7 自動的に入力されたフリガナが正しいかどうか確認し、必要に応じて修正してください。正しくフリガナが入力できたら、**実行**を押します。

ここでは「タナカダ」と表示されます。

8 電話番号を入力し、**実行**を押します。

ここでは「0009998888」を入力します。

9 メールアドレスを入力し、**実行**を押します。

ここでは「d-tnk@casio.co.jp」と入力します。

10 コメントを入力し、**実行**を押します。

ここでは「よろしく」と入力します。

11 (左) (右) を押して [印刷] を選び、[実行] を押します。

12 数字キー（または (左) (右)）を押して印刷枚数を設定し、(下) を押します。
1～100 枚まで設定できます。

13 (左) (右) を押してカットモードを設定し、[実行] を押します。
印刷が開始されます。

- ・カットモードについて（24 ページ）
- ・ラベルデータを登録する（69 ページ）
- ・「長さオーバー 印刷できません」と表示されたときは（119 ページ）

手書きラベルを作る

手書きラベルを作る

本機では、手書きパネルにタッチペンで手書きした内容を、そのままラベルにすることができます。

手書きのイメージだけを印刷するフォーマット（2 種類）と、手書きのイメージと入力した文字を組み合わせて作るフォーマット（12 種類）があります。ここでは、手書きパネルへの文字の書き方、手書きラベルの作り方を説明します。

また、本機では、あらかじめサンプルのイメージが登録されています。

[印刷例]



新入社員歓迎会

重要 • 12mm 幅以上のテープカートリッジを使用してください。

手書きパネルに文字やイラストを書く

■書く

手書きで書くことができるときは、手書きパネルが以下のようにになります。紙に文字を書く感覚で、タッチペンで文字やイラストを書きます。



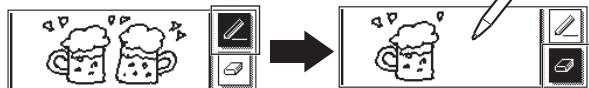
(反転) になっているときに書きます。

- ・反転していないときは、(反転) をタッチして、反転させます。
- ・(反転) をタッチするたびに、ペンの太さが 2 段階で切り替わります（書いた文字やイラストの太さは変わりません）。



■消す

をタッチして反転させ、消したい部分をタッチペンでなぞります。



- ・ (消しゴム小) をタッチするたびに、 (消しゴム大)、 (ゴミ箱) と切り替わります。
- ・イメージをすべて消したいときは、にしてから、イメージをタッチします。

手書きのイメージの登録

手書きラベルを作るには、あらかじめ手書きのイメージを作成し、登録します。

手書きのイメージは 30 件まで登録することができます。

■手書きのイメージを作成する

1 を押して、電源を入れます。

2 を押して「新規」を選び、を押します。

3 を押して「手書きラベル」を選び、を押します。

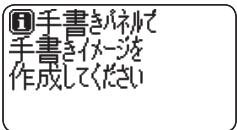


4 を押して「イメージ編集」を選び、を押します。

5 を押して「作成」を選び、を押します。

6 手書きパネルに文字やイラストを書きます。

- ・この画面でを押して、印刷することもできます。



7 を押します。
「どこへ登録？」と表示されます。

8 を押してイメージを登録する場所を選び、**[実行]**を押します。

「よろしいですか？」と表示されます。

- 手書きのイメージは30件まで登録できます。

9 **[実行]**を押します。

手書きのイメージが登録されます。

■手書きのイメージを修正する

1 「手書きのイメージを作成する」(65 ページ) の手順 4 までの操作をします。

2 を押して**修正**を選び、**[実行]**を押します。

「どれを修正？」と表示されます。

- 画面と手書きパネルに、本機に登録されている手書きのイメージが表示されます。



3 を押して修正したい手書きのイメージを選び、**[実行]**を押します。

- 手書きパネルに、選んだ手書きのイメージが表示されます。

4 手書きパネルで手書きのイメージを修正します。

- この画面で**[印刷]**を押して、印刷することもできます。

5 これ以降の操作は「手書きのイメージを作成する」(65 ページ) の手順 7 ~ 9 と同様です。

■手書きのイメージを削除する

1 「手書きのイメージを作成する」(65 ページ) の手順 4 までの操作をします。

2 を押して**削除**を選び、**[実行]**を押します。

3 を押して削除したい手書きのイメージを選び、**[実行]**を押します。

「よろしいですか？」と表示されます。

4 **[実行]**を押します。

選んだ手書きのイメージが削除されます。

手書きラベルの印刷

■手書きのイメージを使ってラベルを作る

手書きパネルにタッチペンで手書きした内容を、そのままラベルにすることができます。

1 「手書きのイメージを作成する」(65 ページ) の手順 3 までの操作をします。

2

⑧⑨を押して手書きラベル印刷を選び、実行を押します。



3

⑩⑪を押してイメージのみを選び、実行を押します。

フォーマットの選択画面が表示されます。



4

⑫⑬を押してフォーマットを選びます。

- フォーマットは、「フォーマット1」と「フォーマット2」があります。
- フォーマット2を選ぶと、手書きのイメージを2つつなげて印刷することができます。

5

実行を押します。

画面と手書きパネルに、登録してある手書きのイメージが表示されます。



6

⑧⑨を押して印刷したい手書きのイメージを選び、実行を押します。

- フォーマット2を選んでいるときは、「イメージ選択(左)」と「イメージ選択(右)」でこの操作を行います。

- 「裏書き」(43ページ)にしたいときは、⑩⑪を押して「する」を選びます。

7

⑭⑮を押して印刷を選び、実行を押します。

- 手書きのイメージをここで登録することはできません。



8

数字キー(または⑩⑪)を押して印刷枚数を設定し、⑬を押します。

- 印刷枚数は、1~100枚まで設定できます。

9

⑭⑮を押してカットモード設定し、実行を押します。

印刷が開始されます。

- カットモードについて(24ページ)



■手書きのイメージと入力した文字を組み合わせてラベルを作る

手書きパネルにタッチペンで手書きした内容と、入力した文字を組み合わせて、ラベルを作ることができます。

1 「手書きのイメージを使ってラベルを作る」(66ページ)の手順2までの操作をします。

2 を押して**文字付**を選び、**実行**を押します。

フォーマットの選択画面が表示されます。

- ・フォーマットは「フォーマット1」から「フォーマット12」まであります。

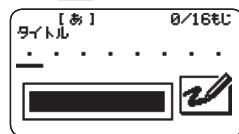


3 を押して**フォーマット**を選びます。
ここでは**フォーマット1**を選択します。

4 **実行**を押します。
画面と手書きパネルに、登録してある手書きのイメージが表示されます。



5 を押して**手書きのイメージ**を選び、**実行**を押します。
文字を入力する画面が表示されます。



6 文字を入力し、**実行**を押します。

7 これ以降の操作は「手書きのイメージを使ってラベルを作る」(67ページ)の手順7～9と同様です。
作成したデータを登録することができます。
・ラベルデータを登録するときは(69ページ)

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定したり、手書きのイメージを変更することができます。

下記の設定をするには、文字入力中に**機能**を押し、指を離してから**書式**を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

- ・印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- ・「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する
- ・手書きのイメージを変更する

作成したデータを登録する・呼び出す

作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。

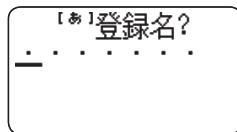
登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。

データを登録する

データに名前を付けて登録します。

文字の入力後、**実行**を押すと右の画面 **印刷** **登録** **終了** が表示されます。

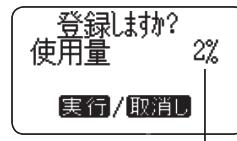
1 **ⒶⒷ**を押して**登録**を選び、**実行**を押します。



2 登録名を入力し、**実行**を押します。

登録名は7文字まで入力できます。

- 登録名はデータを呼び出すときに使います。



すでに登録されているデータがどのくらいあるかを示します

3 **実行**を押します。

「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

登録したデータを呼び出す

登録したデータは、作成方法画面（20ページの1の画面）から呼び出します。

1 **ⒶⒷⒸⒹ**を押して「登録データ」を選び、**実行**を押します。



2 **ⒸⒹ**を押して**呼出し**を選び、**実行**を押します。



3 **ⒶⒷ**を押して呼び出したいデータの登録名を探し、**実行**を押します。

データが呼び出されます。

必要に応じて、修正・印刷してください。

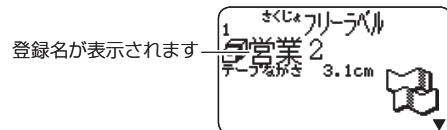
登録したデータを削除する

登録したデータは、作成方法画面（20ページの1の画面）から削除することができます。

- 1 **⑧⑨⑩⑪**を押して「登録データ」を選び、**実行**を押します。



- 2 **⑫⑬**を押して**削除**を選び、**実行**を押します。



- 3 **⑧⑨**を押して削除したいデータの登録名を探し、**実行**を押します。
「よろしいですか？」と表示されます。

- 4 **実行**を押します。

- 他に登録文章があるときは、その登録名が表示されます。
引き続き、削除することができます。
- データ削除の操作をやめるときは**取消し**を押します。

デザインロゴ編

ロゴ入りのラベルを印刷する（デザインロゴ）

オフィスなどの職場、工事や建設などの現場、病院などでよく使う表現を選ぶだけで、イラストや文字の入ったアテンション効果に優れたラベルを作ることができます。

デザインロゴは、インターネットのダウンロードサイトからパソコン経由で本機に転送することもできます。ダウンロードサイトには、使用する場面に合わせたデザインロゴが用意されています。

[印刷例]

・通常印刷



・拡大印刷



デザインロゴの転送から印刷までの手順は以下のようになります。

1 ダウンロードサイトからデザインロゴを
パソコンにダウンロード

2 デザインロゴをパソコンから本機に転送

3 本機で印刷

- 本機にはあらかじめ「職場で使える分別ラベル」「現場で使える注意ラベル」「現場で使える注意ラベル2」「病院で使える案内ラベル」の4種類のデザインロゴが内蔵されています。

内蔵されているデータを使って、本機だけで印刷することができます。

操作については、「デザインロゴを印刷する」(74ページ)をご覧ください。

- 本機内蔵のデザインロゴについては、デザインロゴ内蔵データ一覧(132ページ)をご覧ください。

- デザインロゴを印刷できるのは、12mm、18mm、24mm幅のテープです。

パソコンにデザインロゴをダウンロードする

インターネットに接続して、デザインロゴをダウンロードする操作を説明します。



- お使いのパソコンがインターネットに接続できる環境であることを確認してください。
- インターネットの接続料金、および電話料金は、お客様のご負担となります。

■パソコン側の操作

- 別紙の「はじめにお読みください」をご覧になり、デザインロゴ転送ソフト「デザインロゴチェンジャー」とKL-T50用の「プリンタードライバー」をインストールしてください。

- 事前にインストール済みのときは、上記の操作は必要ありません。

2 Windows® の【スタート】ボタンから「すべてのプログラム(P)」→「CASIO」→「DESIGNLOGO CHANGER」→「DESIGNLOGO CHANGER」とクリックして起動します。
・インストール時の設定によっては上記の操作と異なることがあります。

3  データダウンロードをクリックします。
ブラウザが起動し、ダウンロードサイトにアクセスします。
お使いのパソコンのブラウザの画面上にダウンロードサイト (<http://casio.jp/d-stationery/nameland/designlogo/>) が表示されます。

重要  (オンラインカタログ) をクリックすると、デザインロゴのブラウザが起動し、デザインロゴのデザイン一覧が確認できるカタログサイトが表示されます。こちらからデザインロゴをダウンロードすることもできます。

4 ダウンロードしたいデザインロゴを選び、【ダウンロード】をクリックします。

5 「ファイルのダウンロード」ダイアログが表示されるので【保存(S)】をクリックします。

6 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されるので任意のフォルダに保存します。

重要  • ダウンロードするデザインロゴはグループ単位になります。個別にはダウンロードすることができません。
• ダウンロードしたデザインロゴは、本機でのみ使用可能です。パソコンでは使用できません。

ダウンロードしたデザインロゴを本機に転送する

ダウンロードしたデザインロゴのデータを本機に転送する操作と、本機にインストールされているデザインロゴの名称を確認する操作を説明します。

重要  • デザインロゴは、本機に最大 4 フォルダまでインストールすることができます。

すでにデザインロゴがインストールされているフォルダにインストールすると、デザインロゴデータは上書きされて、古いデータは失われます。

- デザインロゴのデータを本機にあらかじめ内蔵されていたデータに戻すときは、デザインロゴ転送ソフト「デザインロゴチェンジャー」と同じフォルダに用意してある KL-T50 用データをお使いください。

■本機側の操作

1 電源が切れていることを確認します。
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、 を押します。

2 AC アダプター、USB ケーブルを使って、パソコンと本機を接続します。

- 接続について詳しくは、別紙の「はじめにお読みください」をご覧ください。

3  を押して、電源を入れます。

4  を押して「デザインロゴ」を選び、 を押します。

- 上記の操作の代わりに  を押しても同じ画面に進めます。

5 ⌂▽を押してデータインストールを選び、実行を押します。

6 ⌂▷を押して受信を選び、実行を押します。

- 重要 パソコンと本機で通信をするときには、通常は[USBリンク]を押しますが、デザインロゴデータをインストールするときには、[USBリンク]を押してもインストールできません。
必ず、上記の操作をしてください。
- データ受信中には、A CアダプターやU S Bケーブルを絶対に抜かないでください。

■パソコン側の操作

1 Windows® の【スタート】ボタンから「すべてのプログラム(P)」→「CASIO」→「DESIGNLOGO CHANGER」→「DESIGNLOGO CHANGER」とクリックして起動します。
・インストール時の設定によっては、上記の操作と異なることがあります。

2 [本体メモリ確認]をクリックします。
本機にインストールされているデザインロゴの名称が表示されます。



3 デザインロゴの名称を参考に、内容を更新したいフォルダの□(参照)をクリックして、ダウンロードサイトからダウンロードしたデザインロゴのファイルを指定します。

- 誤ったフォルダを指定してしまった場合は、□(キャンセル)をクリックすると、そのフォルダの指定を取り消すことができます。

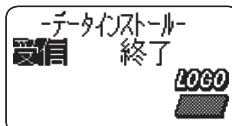
重要 ファイルを指定していないフォルダについては、転送しても本機にインストールされているデザインロゴの内容は変わりません。

4 [転送]をクリックします。

5 確認ダイアログで「はい(Y)」をクリックして本機にデザインロゴを転送します。

■本機側の操作

1 通信が正常に終了した場合には「通信完了」が表示され右の画面に戻ります。



2 ⌂▷を押して終了を選び、実行を2回押します。
・これで、転送したデザインロゴを使用することができます。

デザインロゴを印刷する

デザインロゴの印刷は、すべて本機側の操作です。

1 電源を押して、電源を入れます。

2 を押して「デザインロゴ」を選び、実行を押します。

- 上記の操作の代わりに  を押しても同じ画面に進めます。

3 を押してフォルダを選び、実行を押します。



4 でデータを選びます。

- デザインロゴ内蔵データ一覧（132ページ）や、オンラインカタログ (<http://casio.jp/d-stationery/nameland/designlogo/catalog/01.html>) で番号を確認し、数字キーで番号を入力して選択することもできます。

5 を押し、指を離してから  を押すと、選択しているロゴのデザインを確認することができます。

- このとき表示されるのは「大きさ 1段（中）」で印刷した場合のデザインです。

6 じっくりと見たい部分が流れてきたら、実行を押して画面を停止させます。

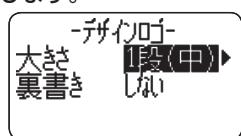
実行を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- 画面が停止しているときに、またはを押すと、コマ送りすることができます。
- プレビュー表示を中止するときは、を押します。

7 を押します。

8 を押して、印刷する大きさを選びます。

- 1枚のテープに印刷する通常印刷と、何枚かのテープに分けて印刷したラベルを貼り合わせ、大きなデザインロゴを作る拡大印刷が選べます。
通常印刷をする場合には「1段」を選びます。
- 「通常印刷」は、横方向の大きさを「小」「中」「大」の3種類から選べます。
- 拡大印刷は「拡大2段」「拡大3段」「拡大4段」から選べます。
2段とは「2枚のテープに分けて印刷する」という意味です。
- 印刷したときのデザインロゴの大きさは75ページのとおりです。
- 「裏書き」にしたいときには、を押して、にするを選びます。



9 実行を押します。

10 ◎を押して印刷を選び、実行を押します。

11    で印刷枚数、カットモードを指定します。
拡大印刷を選んだ場合は印刷枚数の代わりに「全部」「1段目」などから印刷する項目を選びます。

- ・カットモードについて (24 ページ)

12 実行を押します。
• 印刷が開始されます。

本機内蔵のデザインロゴにおける印刷時の大きさ

(サイズはいずれも 縦×横で記載)

		24mm／18mm幅		12mm幅		9mm幅 以下	備考	
		倍率 (%)		倍率 (%)		データの大きさ		
		縦	横	縦	横			
通常1段	小	100	75	16×54mm	62.5	50	10×36mm	(不可)
	中	100	100	16×72mm	62.5	62.5	10×45mm	(不可)
	大	100	150	16×108mm	62.5	75	10×54mm	(不可)
拡大2段		200	200	32×144mm	125	125	20×90mm	(不可)
拡大3段		300	300	48×216mm	187.5	187.5	30×135mm	(不可)
拡大4段		400	400	64×288mm	250	250	40×180mm	(不可)
							通常1段(中)×2倍	
							通常1段(中)×3倍	
							通常1段(中)×4倍	

- 18mm、24mm 幅テープで拡大印刷すると、テープの上下に余白ができます。余白部分をカットしてから並べて貼ってください。
「透明テープ」をお使いになると、余白部分をカットしなくても重ねて貼ることができます。

入力・編集編

文字の入力や編集についての基本的な説明をします。また、装飾の指定や外字の作り方にについても説明しています。

カーソルのはたらきと動かし方

画面上で点滅している_をカーソルといいます。

カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。



〔左〕	左にカーソルが移動する	〔右〕	上にカーソルが移動する
〔右〕	右にカーソルが移動する	〔下〕	下にカーソルが移動する
〔機能〕 指を離してから 〔左〕 を押す	行の先頭（行頭） にカーソルが移動する	〔機能〕 指を離してから 〔右〕 を押す	行の最後（行末） にカーソルが移動する
〔機能〕 指を離してから 〔上〕 を押す	文の先頭（全文頭） にカーソルが移動する※	〔機能〕 指を離してから 〔下〕 を押す	文の最後（全文末） にカーソルが移動する※

* フリーラベルでのみ有効です。

スクロールとは

画面にかくれている文字を見るためには、〔左〕〔右〕を押して、かくれている部分にカーソルを動かします。これをスクロールといいます。(〔左〕〔右〕を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。)

ローマ字入力？それともかな入力？

キーを押したり、手書きパネルに書いて文字を画面に表示させることを、**入力**といいます。

ここでは、キーボードを使って文字を入力する方法を説明します。手書きパネルを使って手書きで文字を入力する方法については、84ページをご覧ください。キーボードを使って文字を入力する方法には、ローマ字入力とかな入力があります。

・ローマ字入力とは…

アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入力する方法です。

・かな入力とは…

直接ひらがななどを入力する方法です。

購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、ローマ字入力の状態になっています。

ローマ字入力とかな入力を切り替える

- 1 機能を押し、指を離してから〔8〕を押します。
- 2 〔左〕〔右〕を押して日本語入力を選び、実行を押します。
- 3 〔左〕〔右〕を押してローマ字入力またはかな入力を選び、実行を押します。

- ・「a」「A」が画面左上に表示されているときは、まず〔a/A〕を押して、「あ」を表示させます。

ひらがな・カタカナの入力

ここではローマ字入力で説明します。

ひらがなの入力

【例】さくら

1 **あ/A**を何回か押して、画面左上に「あ」を表示させます。

【あ】

2 **SとAちKのUなRすAち**と押します。

・かな入力のときは、**XきHくOら**と押します。

ひらがなを入力している最中は、
■が文字に重なっています

3 **無変換**または**実行**を押します。

「さくら」が確定します。

・「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

【あ】
タイトル
さくら

カタカナの入力

【例】サクラ

1 **あ/A**を何回か押して、画面左上に「ア」を表示させます。

【ア】

2 **SとAちKのUなRすAち**と押します。

・かな入力のときは、**XきHくOら**と押します。

【ア】
タイトル
サクラ

カタカナを入力すると、そのまま確定されます。

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する（カタカナ変換）

例 サクラ

- ①ひらがなで「さくら」と入力します。
- ②**さくら**となっているときに、**機能**を押し、指を離してから**無変換**を押します。

さくらが「サクラ」に確定されます。

いろいろな文字の入力方法

	例	ローマ字入力	かな入力
促音	いった	I _イ T _カ T _カ A _チ	E _イ シフト Z _ツ Q _た *
拗音	きょう	K _の Y _ん O _ら U _な	G _き シフト 9 _よ 4 _ヨ *
濁音	ぼく	B _ボ O _ル K _の U _な	一 _ほ @ _■ H _ク
半濁音	ぱぱ	P _セ A _ち P _セ A _ち	F _は [■] F _は [■]
句点	。	♪	シフト ♪
読点	、	♪	シフト ♪
長音	ー	¥ _? ー	¥ _? ー
中点	・	シフト / _ム ・	シフト / _ム ・
を	を	W _エ O _ル	シフト O _を わ
ん	ん	N _ム N _ム	Y _ム
ヴ	ヴ	「ア」表示のときに V _ビ U _ナ	「ア」表示のときに 4 _ヨ @ _■
カ	カ	X _キ K _の A _チ または K _の シフト A _チ	シフト T _カ
ケ	ケ	X _キ K _の E _い または K _の シフト E _い	シフト : _ケ
空 白	空 白	変換空白	変換空白

* シフトを押し、指を離してから文字キーを押すと小文字（促音・拗音）になりますが、「つやゆよあいう」など促音・拗音にすることができる文字に限ります。

- ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」(122 ページ) をご覧ください。

・ (カンマ) . (ピリオド) の入力方法については、81 ページをご覧ください。

・ ひらがなやカタカナは、**機能**を押し、指を離してから**5**を押して「ひらがな」や「カタカナ」の分類から選択して入力することもできます (82 ページ)。

漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します（例：「花」→「はな」）。

ひらがながら漢字に変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、**実行**を押して、他の文字に変わらないように**確定**します。

ひらがながら漢字に変換する方法は、次のとおりです。

- ・文章を入力してから**変換**する

- ・漢字1文字分ずつ**変換**する（当て字や難しい固有名詞などの変換）

文章を入力してから変換する

文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。

よく使う語句を辞書に登録しておくこともできます。（105ページ）まとめて変換できる文字数は、32文字までです。

[例] 今日行きます

1 「きょういきます」をひらがなで入力します。



2 **変換**を押します。

「きょういき」と「ます」という2つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。

- ・前回使った漢字が最初に表示されます（学習機能）



「境域」に下線が付いています

3 **(○)**を2回押します。

「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。

「今日」に変換されます



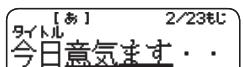
4 **実行**を押します。

「今日」が確定されます。

「いき」と「ます」という2つの言葉が残ったと認識されたため、「いき」が「意気」に変換されます。

5 **(○)**を2回押します。

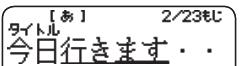
「いき・ます」を「いきます」という言葉にするためです。



6 **変換**を何回か押して、「行きます」にします。

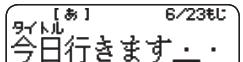
変換を押すたびに、「いきます」に当てはまる言葉（同音異義語）が次々と表示されます。

- ・**(△)**を押すと、1つ前の漢字が表示されます（前候補）。
- ・**(▽)**を押すと、次の漢字が表示されます（次候補）。



7 「行きます」が表示されたら、**実行**を押します。

「行きます」が確定されます。



カーソルと下線の違い

カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して画面に表示されます。ひらがなを漢字に変えるときに付く下線は、「現在、変換することができる部分」を示した印です。

- ・下線がついているときに**取消し**を押すと、「よみ」の状態に戻ります。



「よみ」を入れて**変換**を押しても目的の漢字に変換できないときは、単漢字変換を試してみましょう。（80ページ）

漢字1文字ずつ変換する（单漢字変換）

当て字や難しい固有名詞などを変換するときは、1字ずつ目的の漢字に変換します。

[例] 敦廣（あつひろ）

1 「あつひろ」をひらがなで入力します。

② [変換]を何回か押します。

何回押しても、「敦廣」に変換されません。

3 単漢字を押します。

- もう一度単漢字を押すと、「あ」に当てはまる漢字が表示されます。もう一度単漢字を押すと、「あつ」に当てはまる漢字が表示されます。

4 ▲▼◀▶を押して、敦にします。

【あ】 0/23もじ
タイトル あつひる . . .

あつひろ . . .
集暑熱庄厚篤宏惇
喜氣太翁鬼軒轉鍾靈
豆朝生雲鶴三湊軋
子教來鳳三
算取來詳

「あつ」に合った漢字がいくつ
か表示されます

あつひろ・・・
集暑熱庄厚篤宏惇
淳勲淳会莞幹輯鍾
纂聚諱鳩三湊軋彙

5 実行を押します。

「敦」が確定されます。

【あ】 1/23もじ
タイトル 敦広
「広」に下線が付きます

6 変換を何回か押して、「廣」にします。

- ・**単漢字**を押して「廣」を探すこともできます。

7 「廣」になっていることを確かめて、**実行**を押します。

「廣」が確定されます。

[あ] 2/23もじ
タイトル 敦廣一

思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

次のようなことが考えられます。

- ・「週（しゅう）」を「しゅう」と入力している
 - ・「図（ず）」を「づ」と入力している
 - ・「通り（とおり）」を「とうり」と入力している
 - ・「社食（しゃしょく）」「道交法（どうこうほう）」など、略語の読みを入力している

次の文字の入力には、特に注意してください。

- ・「あ」「い」「う」「え」「お」「や」「ゆ」「よ」の拗音
 - ・「っ」の促音
 - ・「ず」と「づ」
 - ・「じ」と「ぢ」
 - ・「お」と「う」

アルファベット・数字・記号・

絵文字の入力

アルファベット、数字、記号、絵文字の入れ方を説明します。

アルファベットの入力

[例] AKI

1 [a/A]を何回か押して、画面の左上に「a」または「A」を表示させます。

a : 小文字を入力するとき

A : 大文字を入力するとき



2 [A] [K] [I]と押します。

アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。

- 句読点（、）（。）やカンマ（、）ピリオド（.）を入力するには

記号	入力モード	日本語入力		英語入力
		ローマ字入力	かな入力	
読点	、	[Shift] [.]	[Shift] [カタカナ]	—
句点	。	[Shift] [カタカナ]	[Shift] [カタカナ]	—
カンマ	,	—	—	[Shift] [カタカナ]
ピリオド	.	—	—	[Shift] [カタカナ]

・大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには
「A」表示のとき……[Shift]を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります。

例 TAKESHI's

「a」表示のとき……[Shift]を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。

例 English

数字の入力

[例] 123

■かな入力のとき

- 1 [a/A]を押して、画面の左上に「a」または「A」を表示させます。
・ローマ字入力のときは、手順1の操作は不要です。

2 [1[!]ぬ] [2^ふ] [3^{#あ}] と押します。

記号（キーに印刷されているもの）の入力

- ① キーの左に印刷された記号
② キーの右上に印刷された記号
-
- ① [: * け] を押すと → 「 : 」 が入ります。
② [シフト] を押し、指を離してから [: * け] を押すと → 「 * 」 が入ります。

かな入力のときは、[a/A]を押して、画面の左上に「a」または「A」を表示させてから入力します。

記号（その他の記号）の入力



記号は「記述・カッコ」「学術」「単位・略」「一般」「数字」「ギリシア・ロシア」「ひらがな」「カタカナ」「診療科目」の9個のグループに分かれています。123ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。QRコード（61ページ）の一部の入力項目では、「QRコード専用記号」が使用できます。

[例] ☎ （グループ=単位・略）

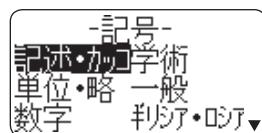
- 1 [機能]を押し、指を離してから [5%] を押します。

記号

機能

5%

記号のグループ名



- 2 ⌈ ⌉ ⌈ ⌉ を押して [単位・略] を選び、[実行] を押します。

- 3 ⌈ ⌉ ⌈ ⌉ を押して [] を選び、[実行] を押します。

■手書きパネルの履歴を使って記号を入力する

手書きパネルに前回使用した記号が表示されます。使いたい記号をタッチして、入力することもできます。

1 **機能**を押し、指を離してから[5%]を押します。

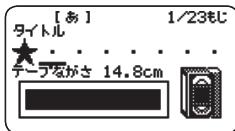
手書きパネルに前回使用した記号が表示されます。



2 手書きパネルの入力したい記号をタッチします。

ここでは「★」をタッチします。

- ・画面に「★」が表示されます。
- ・手書きパネルの「全削除」をタッチすると履歴が削除されます。



絵文字の入力

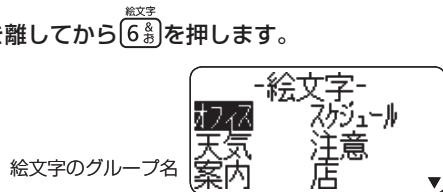
内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は21のグループに分かれています。

124～125ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。

また、文字体の指定は無効です。

[例] (グループ=食べ物)

1 **機能**を押し、指を離してから[6%]を押します。



2 を押して**食べ物**を選び、**実行**を押します。

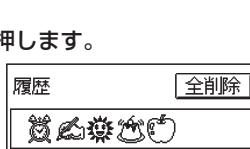
3 を押して**店**を選び、**実行**を押します。

■手書きパネルの履歴を使って絵文字を入力する

手書きパネルに前回使用した絵文字が表示されます。使いたい絵文字をタッチして、入力することもできます。

1 **機能**を押し、指を離してから**6 & あ**を押します。

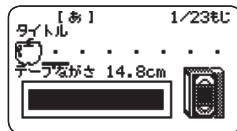
手書きパネルに前回使用した絵文字が表示されます。



2 手書きパネルの入力したい絵文字をタッチします。

ここでは「」をタッチします。

- ・画面に「」が表示されます。
- ・手書きパネルの「全削除」をタッチすると履歴が削除されます。



手書きパネルを使って文字を入力する

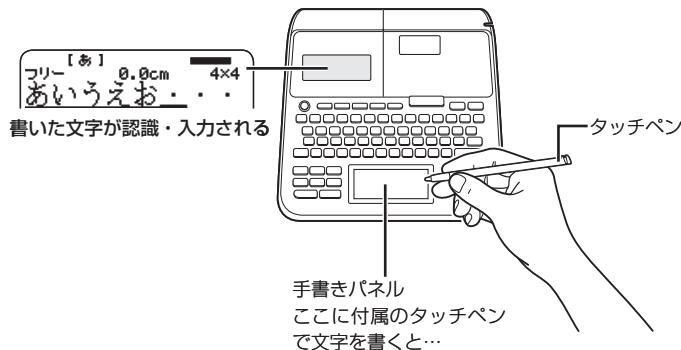
手書きパネルを使って文字を入力することができます。キーボードからは入力できない漢字も直接入力できます。

手書きパネルには、付属のタッチペンを使って文字を書き込みます。

- ・タッチするときは、力を入れる必要はありません。

手書き入力できる文字の種類

- ・漢字
- ・ひらがな、カタカナ
- ・アルファベット（A～Z、a～z）
- ・数字（0～9）
- ・長音
- ・記号の一部（、。、。、？、！、／、＼、～、’、（）、－、￥、%，&、@）



手書き入力ができるとき

手書きパネルに文字を書き入れるマスが表示されます。



お使いの機能や入力モードにより、認識できる文字が異なります。



表示	認識対象							
	漢字	ひらがな	カタカナ	(小文字) アルファベット	(大文字) アルファベット	数字	長音	記号の一部
[あ]	●	●	●	—	—	●	●	●
[ア]	—	—	●	—	—	●	●	●
[あ]	—	—	—	●	—	●	—	●
[ア]	—	—	—	—	●	●	—	●
[1]*	—	—	—	—	—	●	—	—

*一部の機能でのみ有効な入力の状態です。

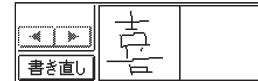
- ・入力モードを切り替える場合は、77、81ページをご覧ください。
- ・QRコードラベル作成時には、「名前」「データ」および「コメント」の入力時を除き、記号の認識はできません。
- ・バーコードのデータ作成時には、手書きパネルからの入力はできません。
- ・ユーザー辞書の「読み」の入力時には、ひらがなと長音以外は認識できません。

ペン入力の基本

手書き入力できる状態になったときは、手書きパネルにマスが表示されます。マスすべてを使って、次々に文字を書いていきます。

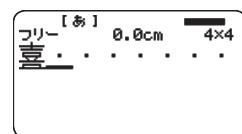
1 手書きパネルの空いているマスに字を書きます。

- ・マスの順番は決まっていません。どのマスに書いても、書いた順に文字を認識します。
- ・【書き直し】をタッチすると書いた文字が消えます。



2 続けて、手書きパネルの空いている別のマスに字を書きます。

- ・字を書き始めると最初に書いた文字が認識、入力されます。



- ・正しく認識されていない字があるときは（86ページ）

3 さらに、空いている別のマスに字を書きます。

- ・2番目に書いた文字が認識、入力されます。

- 4** 空いているマスに順番に字を書く操作を続け、希望のことばを入力し終わったら、手書きパネルの【認識】をタッチします。
- 一文字一文字、正しく認識されたか確認して入力するときは、一文字書くごとに、【認識】をタッチします。
 - 二桁の数字を入力するときは、マス内に一行ずつ手書きしてください。
 - 手書きで字を書くと、何もしなくても約1秒後に自動的に認識されるようにすることもできます。(108ページ)
 - 5文字以上入力すると文字が隠れます。その場合は、手書きパネルの◀や▶をタッチして入力した文字を確認することができます。
 - 手書き中に本機のキーを押すと、認識していない文字は消えてしまいます。

5 認識された文字を確認し、確定させるために【実行】をタッチします。

【実行】をタッチする代わりに、【書き直し】を押しても確定します。

- 確定させないでまとめて入力できる文字数は、32文字までです。「文字数オーバー 文字を確定してください」と表示されたときは一度確定させてから入力してください。

間違って認識された文字を訂正する

「あ」と書いたのに、画面には「お」と表示された、など、正しく認識されなかったときは、以下のように訂正します。

- 一度確定した文字は、認識を訂正することはできません。誤った文字を入力したときは、**文字削除**(88ページ)や**後退**(88ページ)を押して、文字を消してから、正しく文字を入力してください。

【例】 「喜怒哀楽」と書いたのに「喜怒衰楽」と間違って認識された



1 手書きパネルで、間違って認識された字(ここでは「衰」)をタッチします。



- 手書きパネルに、文字の候補(10文字まで)が表示されます。
- 正しい字が見つからない場合は、手書きパネルの【書き直し】をタッチします。画面の、間違って認識された文字が削除されるので、もう一度手書きで書き直してください。

2 正しい字(ここでは「哀」)をタッチします。

- 「衰」が「哀」になります。



3 訂正が終わったら、確定させるために【実行】をタッチします。

- 【実行】をタッチする代わりに、【書き直し】を押しても確定します。

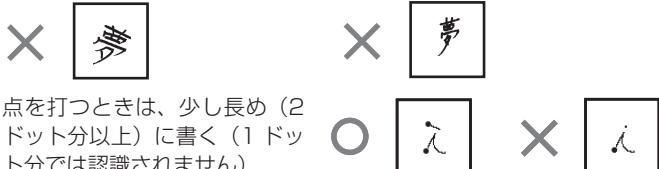
手書き入力のワンポイント

手書きで入力した文字の認識率を上げるためにポイントを紹介します。

- 良い例
- ・継ぎ字にならないように
- ・楷書で丁寧に書く



- ・文字を傾けない
- ・枠からはみ出さない範囲で、できるだけ大きく書く



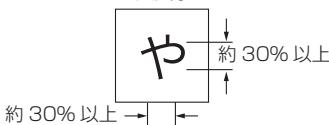
- ・点を打つときは、少し長め（2ドット分以上）に書く（1ドット分では認識されません）

- ・正しい書き順で書く

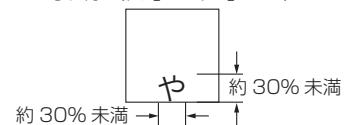
- ・漢字は漢字で書く（かな漢字変換機能はありません）

ひらがな・カタカナを書くときのポイント

大文字



小文字（「ゅ」や「っ」など）



約 30% 以上 → ←

約 30% 未満 → ←

- ・枠に対して縦横とも 30%未満の大きさで書く
- ・枠の下側に書く

よく似た文字の認識について

- ・夕（ゆう）=タ／工（こう）=エ／カ（ちから）=カ／口（くち）
=口など、よく似た漢字とカタカナは、漢字の表示が優先されます。
ただし、画面の一つ前の文字がカタカナのときは、カタカナ表示が優先されます。
- ・へ=ヘ／り=リなど、よく似たひらがなとカタカナは、ひらがなの表示が優先されます。ただし、画面の一つ前の文字がカタカナのときは、カタカナの表示が優先されます。

英数字の書きかた

A	B	C	D	E	F	G	H	I
AA	BB	CC	DD	EE	FF	GG	HH	II
J	K	L	M	N	O	P	Q	R
JJ	KK	LL	MM	NN	O	P	Q	RR
S	T	U	V	W	X	Y	Z	
SS	TT	UU	VV	WW	X	Y	ZZ	

a	b	c	d	e	f	g	h	i
aa	bb	cc	dd	ee	ff	gg	hh	ii
j	k	l	m	n	o	p	q	r
JJ	KK	LL	MM	NN	O	P	QQ	RR
s	t	u	v	w	x	y	z	
ss	tt	uu	VV	ww	X	Y	ZZ	

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	2	3	4	5	6	77	8	9

文字を修正・削除するときは

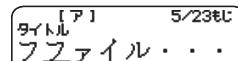
文字を間違えて入力したときの直し方と、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。
フリーラベルでは、範囲を指定して削除することもできます。

文字を1文字ずつ消す

■カーソルの上の文字を消す

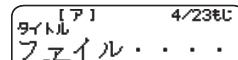
[例] 「フファイル」の「フ」を消して、「ファイル」に直す

1 ◎◎を何回か押して、「フ」にカーソルを合わせます。



2 [文字削除]を押します。

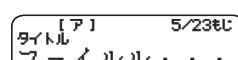
「ファイル」になります。



■カーソルの前の文字を消す

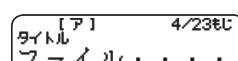
[例] 「ファイルル」の最後の「ル」を消して、「ファイル」に直す

1 消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。



2 [後退]を押します。

「ファイル」になります。



すべての文字を消す（文削除）

入力中の項目の文章をすべて消します。

1 [機能]を押し、指を離してから[文字削除]を押します。

「削除しますか？」と表示されます。

- 文削除をやめるときは、[取消し]を押します。

フリーラベルでは「全文削除」と「部分削除」の選択画面が表示されますので、ここで「全文削除」を選んで[実行]を押します。

2 [実行]を押します。

- 画面にあった文字はすべて消えます

■範囲を決めて消す（フリーラベルのみ）

消したい部分のはじめと終わりを指定して消す方法です。

[例] 「あおきおさむ」を「おさむ」にする

1 [機能]を押し、指を離してから[文字削除]を押します。

2 ◎◎を押して部分削除を選び、[実行]を押します。

操作をやめるときは[取消し]を押します。

どか?
あおきおさむ_

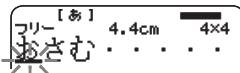
3 ◎◎◎◎を押して消したい部分の最初の文字にカーソルを合わせ、[実行]を押します。

ここでは「あ」にカーソルを合わせます。

どまで?
あおきおさむ_

4 を押して消したい部分の最後の文字を指定し、**実行**を押します。

ここではあおきにします。



間違った文字を直す

間違った文字を直す方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

■ 「上書き」にすると

1 を押し、指を離してから を押します。

2 を押して **挿入 / 上書き** を選び、**実行**を押します。

3 を押して **上書き** を選び、**実行**を押します。

- ・「挿入」を選んで**実行**を押すと、「挿入」状態に戻ります。

<挿 入>



<上書き>

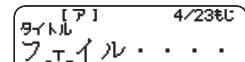
反転します



■間違った文字を消して正しい文字を入力する（「挿入」状態）

[例] 「フェイル」を「ファイル」に直す

1 を押して「エ」にカーソルを合わせます。

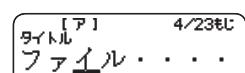


2 を押します。

「エ」が削除され、「イ」が「エ」の位置に移動します。

3 「ア」を入力します。

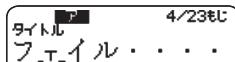
- ・「ア」は を押し、指を離してから を押して入力します。



「ア」が「イ」の前に入力されます

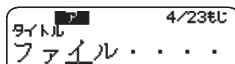
■間違った文字の上に正しい文字を入力する(「上書き」状態)

- 1 ◎◎を押して「エ」にカーソルを合わせます。



- 2 「ア」を入力します。

「エ」が「ア」になります



確定前に文字を直したり消したりするには…

ふえいるなど、文字に [] が重なっているとき(確定前)に文字を消したり直したりするときも確定後の文字と同じ操作で行います。

ただし、[取消し]を押すと、[] が重なっている文字が全部消えます。

確定→79ページ

「上書き」で文字を直すときは

直す文字数に注意してください。直す文字数よりも多く入力してしまうと、必要な文字まで新しい文字に入れ替わってしまいます。

書体(フォント)を変える

入力済みの文字の形(書体)を、和文3書体・かな8書体・英数12書体の中から選ぶことができます。

また、電源を入れたときの書体を決める設定方法についても説明します。

■和文書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
危険	危険	危険

■かな書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
あア	あア	あア
手書き	ポンジュール	メロディ
あア	あア	あア
パレット	プロデュース	
あア	あア	

■英数書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
A2	A2	A2
手書き	ポンジュール	メロディ
A2	A2	A2
パレット	プロデュース	ステンシル
A2	A2	A2
ポップ	ポールドスクリプト	ブラックレター
A2	A2	À2

- メモリーリセット後は、「和文フォント：明朝体」「かな・英数フォント：和文と同じ」に設定されています。

・かな書体は、次の文字が指定の対象になります。

- ・アルファベット (A～Z a～z)
 - ・数字 (1 2 3 4 5 6 7 8 9 0)
 - ・ひらがな (あ～ん)
 - ・カタカナ (ア～ン、ヴ、カ、ケ)
 - ・記号の一部 (、。、？！長音ー～（）￥%スペース)
- ・英数書体は、次の文字が指定の対象になります。

- ・アルファベット (A～Z a～z)
- ・数字 (1 2 3 4 5 6 7 8 9 0)
- ・記号の一部 (、。、？！ー～（）￥%スペース)



かな・英数フォントの指定で、ステンシル／ポップ／ポールドスクリプト／ブラックレターを選んだ場合には、ひらがな、カタカナは和文フォントの指定と同じフォントになります。

入力済みの文字の書体を変える

[例] ヒーリング *MUSIC*集

(「ヒーリング」「集」を角ゴシック体に、「MUSIC」をポールドスクリプトにする)

1 文字を入力します。

2 [機能]を押し、指を離してから[1番]を押します。

-和文フォント-
明朝
角ゴシック
丸ゴシック

3 を押して角ゴシックを選び、[実行]を押します。

(和文の書体の種類を選びます。)



4 を押して A ボールドスクリプトを選び、[実行]を押します。

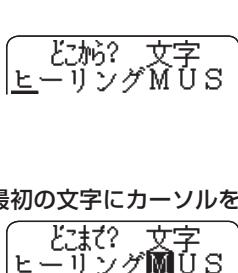
(かな・英数の書体の種類を選びます。)

5 を押して設定の範囲を選び、[実行]を押します。

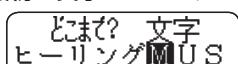
- 全文：フォーマット単位で設定されます。
- ブロック：ブロック単位で設定されます。
- 行：項目単位で設定されます。
- 文字：文字単位で設定されます。
- フリーラベル以外では、「ブロック」「文字」は選べません。

フリーラベルで「全文」の範囲指定を選択したときは、[実行]を押します。設定後、文字入力の画面に戻ります。

フリーラベルで「全文」以外の範囲指定を選択したときは、右のような範囲指定の画面が表示されます。手順 6、7 で範囲を指定します。



6 を押して書体を変える最初の文字にカーソルを合わせ、[実行]を押します。



7 を押して、書体を変える最後の文字にカーソルを合わせ、[実行]を押します。

設定後、文字入力の画面に戻ります。



電源を入れたときの書体を決める

1 [機能]を押し、指を離してから を押します。

2 を押して初期フォントを選び、[実行]を押します。

3 を押して和文フォントを選び、[実行]を押します。

4 を押してかな・英数フォントを選び、[実行]を押します。

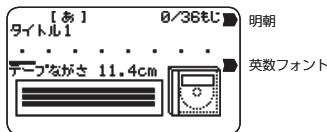
5 を押して一度電源を切り、再び を押して電源を入れます。

6 文字入力の画面を表示させます。

文字を入力すると、指定したフォントで入ります。

- 「登録データ」や「前回データ」を選択し呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。

画面表示について

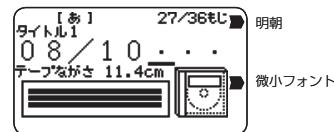


入力中の文字の書体を■で示します。

- かな・英数フォントの指定で「和文と同じ」を選んだ場合には、■は1つだけ点灯します。
- かな・英数フォントの指定で、「手書き／ボンジュール／メロディ／パレット／プロデュース」を選んだ場合には、■は3つ点灯します（和文フォントとして指定した「明朝／角ゴシック／丸ゴシック」のうち1つと、「かなフォント」、「英数フォント」が点灯します）。
- かな・英数フォントの指定で、「ステンシル／ポップ／ボーラードスクリプト／ブラックレター」を選んだ場合には、■は2つ点灯します（和文フォントとして指定した「明朝／角ゴシック／丸ゴシック」のうち1つと、「英数フォント」が点灯します）。このとき、ひらがな、カタカナは和文フォントで指定したフォントになります。
- 英数書体は書体ごとに大きさ、バランスが設定されていますので、混在させるとバランスが不釣り合いになることがあります。

微小フォントについて

印刷するときは行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）とテープ幅によって微小フォントで印刷されます。このとき、画面右に「微小フォント」の■が点灯します。



●微小フォントには、次のような特徴があります。

- フォントの設定は無効です。（すべて同じフォントで印刷されます）
- プロポーションナルの設定は無効です（「しない」になります）。
- 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
- 絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

文字を上付・下付にする

文字を1/4の大きさにして、上に寄せたり（上付）下に寄せたり（下付）することができます。

上付

議事録※1

下付

167センチ

・「インデックスラベル」、「拡大印刷」では、上付、下付には変更できません。

重要 ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号の一部が対象になります。

[例] 167センチ (下付)

1 文字を入力します。

2 [機能]を押し、指を離してから[3#]を押します。
フリーラベル以外では手順4に進みます。

3 ⑤⑥を押して、1/4角を選び、[実行]を押します。

4 ⑦⑧⑨⑩を押して□下付を選び、[実行]を押します。
フリーラベル以外では手順6に進みます。

5 ⑪⑫⑬⑭を押して文字を選び、[実行]を押します。

- ・全文：すべての文字を上付・下付にするとき
- ・ブロック：ブロック単位で上付・下付にするとき
- ・行：行単位で上付・下付にするとき
- ・文字：文字単位で上付・下付にするとき

どちら？ 文字
167センチ

6 ⑪⑫⑬⑭を押して、下付にする最初の文字にカーソルを合わせ、[実行]を押します。

どこまで？ 文字
167センチ

7 ⑪⑫⑬⑭を押して、下付にする最後の文字にカーソルを合わせ、[実行]を押します。

指定した文字が1/4の大きさになり、下に寄せられます。

フリーラベル [あ] 5.3cm 4x4
167センチ

・文字を元に戻すときは、手順4で「□全角」を選びます。

文字を目立たせる

文字を「太字」「白抜」「影付」「立体」にして目立たせることができます（文字体）。

・絵文字・外字は、文字体の指定はできません。

標準

太字

住所録

白抜

住所録

立体

住所録

1 文字を入力します。

2 機能を押し、指を離してから [4 \$ う] を押します。

・「文字修飾」が指定できない機能やフォーマットの場合には、手順 4 に進みます。

3 ①②を押して 文字体 を選び、[実行] を押します。



4 ①②③④を押して文字体の種類を選び、[実行] を押します。

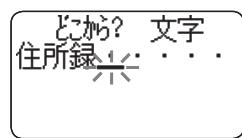
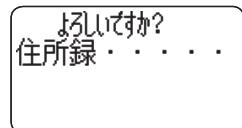
・ A 標準 を選ぶと、指定済みの文字体を通常の文字に戻すことができます。

5 ①②③④を押して設定の範囲を選び、[実行] を押します。

- ・ 全文：フォーマット単位で設定されます。
- ・ ブロック：ブロック単位で設定されます。
- ・ 行：項目単位で設定されます。
- ・ 文字：文字単位で設定されます。

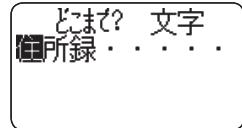
・ フリーラベル以外では、「ブロック」「文字」は選べません。

フリーラベルで「全文」の範囲指定を選択したときは、[実行] を押します。設定後、文字入力の画面に戻ります。



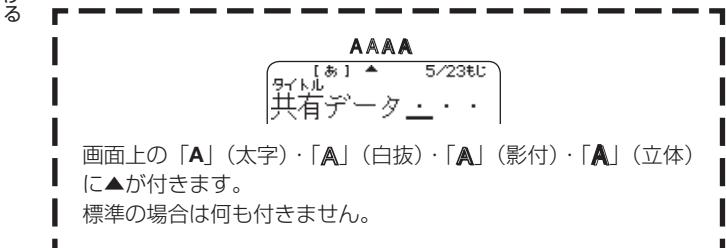
フリーラベルで「全文」以外の範囲指定を選択したときは、右のような範囲指定の画面が表示されます。手順 6、7 で範囲を指定します。

6 ①②③④を押して、文字体を変える最初の文字にカーソルを合わせ、[実行] を押します。



7 を押して、文字体を変える最後の文字にカーソルを合わせ、**[実行]**を押します。

- 設定後、文字入力の画面に戻ります。



文字に飾りを付ける

フリーラベルでは、文字に網を掛けることや、下線や枠を付けることができます。

また、用途別ラベルでは、フォーマットにより枠を付けることができます。

網 掛	下 線	枠付 (文字)	枠付 (詳細)
修飾	修飾	修飾	修飾

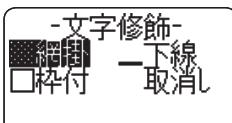
文字修飾を指定する

1 文字を入力します。

2 **[機能]**を押し、指を離してから**[4 \$]**を押します。

3 を押して**文字修飾**を選び、**[実行]**を押します。

- 用途別ラベルの文字修飾が指定できる
フォーマットでは、「枠付」の「あり」「なし」を選ぶ画面が表示されます。



で「あり」「なし」を選んで、**[実行]**を押すと文字修飾が指定できます。

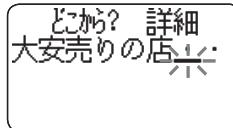
4 を押して文字修飾の種類を選び、**[実行]**を押します。

- 取消し**を選ぶと、指定済みの文字修飾を取り消すことができます。

5 を押して文字修飾する部分を指定し、**[実行]**を押します。

- ・**詳細**：文字のかたまりに指定するとき

例 **大安売りの店**



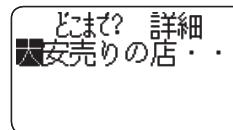
- ・**ブロック**：ブロック単位で指定するとき

- ・**行**：行単位で指定するとき

- ・**文字**：1 文字ずつ指定するとき

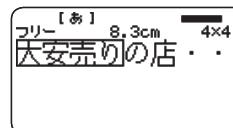
例 **大安売りの店**

6 を押して、文字修飾する最初の文字にカーソルを合わせ、**[実行]**を押します。



7 を押して、文字修飾を指定する最後の文字にカーソルを合わせ、**[実行]**を押します。

- ・設定後、文字入力の画面に戻ります。



こんな文字修飾もできます

網掛、下線、枠付の飾りを重ねて付けることもできます。1つの飾りを付けたあとに、別の飾りを重ねて付けます。

特売

網掛+枠付（詳細）

特売

網掛+下線

特売

網掛け+下線+枠付（文字）

- ・文字の大きさによっては、枠付と下線を重ねると、枠と下線が重なって印刷されることがあります。

文字修飾を取り消す

1 を押し、指を離してから**[4\$]**を押します。

2 を押して**文字修飾**を選び、**[実行]**を押します。

3 を押して**取消し**を選び、**[実行]**を押します。

複数の文字修飾を指定しているときに一つの文字修飾だけを取り消したいときは、を押して取り消したい文字修飾を選び、**[実行]**を押します。

4 を押して**文字**を選び、**[実行]**を押します。

5 を押して、文字修飾を取り消したい最初の文字にカーソルを合わせ、**[実行]**を押します。

6 を押して、文字修飾を取り消したい最後の文字にカーソルを合わせ、**[実行]**を押します。

複数の文字修飾を指定しているときに一つの文字修飾だけを取り消したいときは、ここで**[実行]**の代わりに**[文字削除]**を押します。

よく使う語句を登録する / 呼び出す (プリセットタイトル)

よく使う単語や文章を登録しておき、文字の入力中に呼び出して挿入することができます。

入力できる文字種に制限があるなど、一部の特殊な入力状態では、お使いになれません。

- ・最大 49 文字の語句を 50 件まで登録できます。
- ・お買い上げの状態では、以下の 20 件の語句が登録されています。
修正や書き替えが可能です。

番号	データ内容	番号	データ内容	番号	データ内容
1	製造年月日	8	有効期間	15	税込¥
2	作成日	9	まで保管	16	本体価格¥
3	撮影日	10	まで有効	17	BACKUP DATA
4	更新日時	11	交換期限	18	BEST ALBUM
5	交換日	12	賞味期限	19	http://
6	購入日	13	品質保持期限	20	E-mail:
7	保存期間	14	消費期限		

プリセットタイトルを呼び出す

文字を入力中に、プリセットタイトルを呼び出して挿入します。

- 1 プリセット
タイトルを押します。

登録されている語句が表示されます。



- 2 ⌂ を押して、挿入したい語句を選びます。
・数字キーで番号を入力して選択することができます。1 ~ 50 までを入力できます。

- 3 [実行]を押します。

新しくプリセットタイトルを作る

文字を入力してプリセットタイトルを作り、登録します。

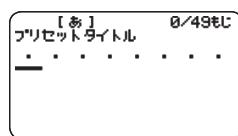
- 1 [機能]を押し、指を離してから [プリセット
タイトル]を押します。

- 2 ⌂ を押して [作成]を選び、[実行]を押します。

文字入力エリアに文字が無いときは、手順 3 の画面が表示されます。



- 3 ⌂ を押して語句の作り方を選び、[実行]を押します。
 - ・新規作成… 最初から文字を入力して作ります。
 - ・参照作成… 入力中の文字をベースに作ります。



- 4 文字を入力し、[実行]を押します。
参照作成を選んだときは、入力中の文字が表示されます。必要に応じて修正して [実行]を押してください。
 - ・記号、絵文字、外字も使うことができます。
 - ・書体、文字体、書式を指定することはできません。

5 を押して登録する場所を選びます。

「未登録」と表示されている場所は、データが登録されていません。



6 [実行]を押すと、「よろしいですか？」と表示されるので、よければ[実行]を押します。

- 別の場所に登録したいときは、[取消し]を押します。

ここで登録は完了です。

参照作成のときには

- 参照した内容に、倍率マーク、改行マーク、ブロックマークが含まれる場合、空白に置き替わります。
- 1/4角の文字は全角に置き替わります。
- 入力中の文字が49文字以上ある場合には、先頭から49文字分が参照できます。

4 語句を修正し、[実行]を押します。

5 を押して登録する場所を選び、[実行]を押します。 「よろしいですか？」と表示されます。

- 別の場所に登録したいときは、[取消し]を押します。

6 [実行]を押します。 これで修正は完了です。

プリセットタイトルを削除する

登録したプリセットタイトルを削除します。

タイトル帳集

1 [機能]を押し、指を離してから[アセットタイトル]を押します。

2 を押して削除を選び、[実行]を押します。

3 を押して削除する語句を選び、[実行]を押します。 「よろしいですか？」と表示されます。

- 別の語句を削除したいときは、[取消し]を押します。

4 [実行]を押します。 削除されたプリセットタイトルの欄は「未登録」になります。

プリセットタイトルを修正する

登録したプリセットタイトルを、呼び出して修正します。

1 [機能]を押し、指を離してから[アセットタイトル]を押します。

2 を押して修正を選び、[実行]を押します。

3 を押して修正する語句を選び、[実行]を押します。

日付や時刻をデータに挿入する

資料やディスクの作成日など、現在の日付や時刻をデータに挿入することができます（タイムスタンプ）。また、有効期限や保存期間など、指定した期間が経過した時点の日付や時刻をデータに挿入することができます（タイムスパン）。

タイムスタンプの印刷例



タイムスパンの印刷例

会社名	☆○レンタル株式会社
レンタル物件	パーソナルコンピューター
レンタル期限	2011年9月5日

タイムスタンプとタイムスパンの印刷例

加工年月日	2011年7月31日
消費期限	2011年8月10日

現在の日付や時刻をデータに挿入する（タイムスタンプ）

日付や時刻の表示形式は、以下の14の形式から選べます。

- 平成 22 年 10 月 26 日
- H22.10.26
- 2010 年 10 月 26 日
- 2010/10/26
- 2010-10-26
- 平成 22 年 10 月
- 2010 年 10 月
- 2010/10
- 10 月 26 日
- 10/26
- 10 月 26 日 (火)
- 10/26 (火)
- 13 時 30 分
- 13:30

(現在の日時が「2010 年 10 月 26 日 13 時 30 分」の場合)

1 [部分] を押します。

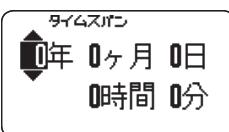
現在の日付、時刻を表示した後、日付や時刻の入力形式を選ぶ画面が表示されます。

日付、時刻を設定する→ 109 ページ

2 [①] [○] を押して日付や時刻の入力形式を選び、[実行] を押します。 画面に現在の日付や時刻が挿入されます。

指定期間が経過後の日付や時刻をデータに挿入する（タイムスパン）

1 [機能] を押し、指を離してから [タイムスタンプ] を押します。

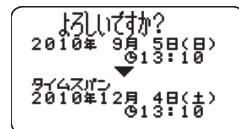


2 を押して期間を指定します。

- ・「年」「月」「日」「時」「分」の各項目間の移動には を押します。数字を指定するときは を押します。
- ・直接数字を入力することもできます。
- ・各項目の指定可能範囲は以下のとおりです。
年：0～30
月：0～36
日・時・分：0～99
- ・各項目を指定するときには以下の点に注意してください。
 - 年月のどちらか一方でも「0」でないときには、現在日も含めて計算します。
例：現在の日付が 2010 年 1 月 10 日のときに年「1」を指定すると 2011 年 1 月 9 日になります。
 - 指定した値では、該当日がないときには、その月の最後の日になります。
例：1 月 31 日の 1 ヶ月後を指定すると 2 月 28 日になります。

3 [実行]を押します。

- ・「タイムスパン」の下に表示された年月日、時刻でよいか確認してください。
- ・変更したいときは、[取消し]を押して期間を指定し直してください。

**4** [実行]を押します。

- 指定した期間後の、日付や時刻で表示された入力形式を選択する画面が表示されます。

5 を押して日付や時刻の入力形式を選び、[実行]を押します。

画面にご指定の日付や時刻が挿入されます。

入力した文字をコピーする・貼り付ける（コピー・ペースト）

文字をコピーし、呼び出して挿入することができます。

- ・入力できる文字種に制限があるなど、一部の特殊な入力状態では、お使いになれません。

文字をコピーする

1 文字を入力します。**2** [機能]を押し、指を離してから を押します。**3** を押して、コピーする最初の文字にカーソルを合わせ、[実行]を押します。**4** を押して、コピーする最後の文字にカーソルを合わせ、[実行]を押します。

「コピー完了」と表示された後、文字入力画面に戻ります。

- ・コピーできる文字数は、49 文字までです。それ以上のときは、先頭から 49 文字までコピーし、残りの文字はコピーされません。
- ・コピーは 9 個まで取り込むことができます。10 個目をコピーしたときは、古い順にコピーした内容がなくなります。
- ・コピーした内容に、倍率マーク、改行マーク、ブロックマークが含まれる場合、空白に置き替わります。
- ・1/4 角の文字は全角に置き替わります。

コピーした文字を貼り付ける（ペースト）

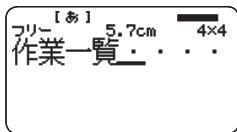
- 1 [機能]を押し、指を離してからを^{ペースト}押します。



- 2 ①②を押して貼り付ける内容を選び、[実行]を押します。

指定した文字が貼り付けられます。

- 項目に入力できる最大文字数を超えるときは、超過した文字は貼り付けられず、「文字数オーバー ペーストできなかった文字があります」と表示されます。



オリジナルの文字（外字）を作る

①や図などのように、本機にない文字や記号を自分で作ることができます（外字）。4つまで本機の中に登録（記憶）しておくことができます。外字では、文字体の指定は無効です。

外字を作る方法には、次の2つがあります。

- はじめから自分で作る（新規作成）

…まったくオリジナルな外字を作るとき

- 本機の中にある文字を利用して作る（参照作成）

…①や④のように、既存の文字が利用できるとき

はじめから自分で作る（新規作成）

[例]

- 1 [機能]を押し、指を離してから^{外字}を押します。

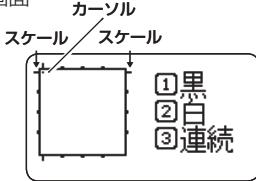
- 2 ①②③④を押して[作成]を選び、[実行]を押します。

- 3 ⑤⑥を押して[新規作成]を選び、[実行]を押します。

- 手順1でカーソルの位置に文字がなかった場合は、外字作成画面（手順4の画面）になります。そのまま手順4からはじめてください。

4 外字作成画面で外字を作成します。

- 外字作成画面



カーソルを移動させるときは	ⒶⒷⒸⒹ を押してカーソルを移動します。
点を1つ塗りつぶすときは	カーソルを目的の位置まで移動し、① <small>あ</small> (黒) を押します。
点を1つ消すときは	塗りつぶされている点までカーソルを移動し、② <small>あ</small> (白) を押します。
線を描くときは	① <small>あ</small> (黒) を押し、指を離してから③ <small>#あ</small> (連続) と押し、黒 連続にして、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が描かれます。
線を消すときは	② <small>あ</small> (白) を押し、指を離してから③ <small>#あ</small> (連続) と押し、白 連続にして、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が消されます。

- 斜め方向に連続して塗りつぶしたり消したりすることはできません。斜め方向に塗りつぶしたり消したりするときは、1つの点ごとに操作してください。
- 外字作成画面で①あ (黒) または②あ (白) のどちらかが指定されているときは、③#あ (連続) を押すたびに連続入力を「する /しない」が切り替えられます。

連続になっていない場合は、機能 Ⓢ、機能 Ⓣ でカーソルを画面の左右の端へ、機能 Ⓤ、機能 Ⓥ でカーソルを上下へ、それぞれ移動することができます。

5 外字が完成したら、[実行]を押します。

- 登録番号

どへ登録?

1

- ## 6 ⓈⒶⒸⒹ を押して登録する場所を番号で選び、[実行]を押します。

「よろしいですか？」と表示されます。

- 登録されている外字を消していく場合はそのまま[実行]を押します。消したくない場合は、[取消し]を押して、登録番号を選び直します。

7 [実行]を押します。

本機にある文字を利用して作る（参照作成）

文字の他に、記号や絵文字も利用することができます。（記号→123ページ、絵文字→124ページ）

[例] 高 → 高

- ##### 1 「高」を入力します。

- ##### 2 ⓈⒶⒸⒹ を押して、「高」にカーソルを合わせます。

- ##### 3 機能 を押し、指を離してから⑦や を押します。

外字

- ##### 4 ⓈⒶⒸⒹ を押して作成を選び、[実行]を押します。

5 を押して参照作成を選び、を押します。

外字作成画面に「高」が表示されます。



6 103ページの手順4からの操作をして、外字の作成と登録をします。

すでに作ってある外字を修正する

1 を押し、指を離してから^{外字}を押します。

2 を押して修正を選び、を押します。

3 を押して修正する外字を選び、を押します。
外字作成画面に、選んだ外字が表示されます。

4 103ページの手順4からの操作をして、外字の修正と登録をします。

外字を使う

1 外字を入れたい位置にカーソルを合わせます。

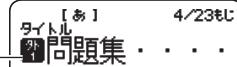
2 を押し、指を離してから^{外字}を押します。

3 を押して呼出しを選び、を押します。

外字呼出し 1



4 を押して呼び出す外字を選び、を押します。



外字マーク

外字が入力されていることを示します

- 呼び出した外字を削除するときは、通常の文字と同じ方法で消します。

登録した外字を削除する

1 を押し、指を離してから^{外字}を押します。

2 を押して削除を選び、を押します。

3 を押して削除する外字を選び、を押します。
「よろしいですか?」と表示されます。

4 を押します。
選んだ外字が削除されます。

外字を文章中で使っていたときに、登録元の外字を削除すると、
文章中の外字が入っていた位置は空白で印刷されます。

よく使う語句を辞書に登録する (ユーザー辞書)

日常よく使う専門用語などを「読み」とともに登録しておくと、「読み」を入力するだけで変換できるようになります。また、慣用句などを短い「読み」で登録しておけば、文字が簡単に入力できて便利です。
最大 10 文字の語句を 30 件まで登録できます。

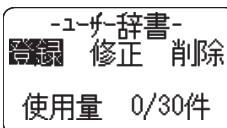
ユーザー辞書は、電源を入れた直後の画面のときに登録できます。

語句を登録する

[例] 秋葉原（あきば）

1 [機能]を押し、指を離してから[8.]を押します。

2 ⑮を押してユーザー辞書を選び、[実行]を押します。
登録されている件数が表示されます。



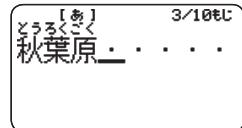
3 ⑯を押して登録を選び、[実行]を押します。

4 読みを入力します。
ここでは「あきば」と入力します。
・読みに入力できる文字はひらがなと長音のみ、最大 10 文字までです。

5 [実行]を押します。
語句の入力画面が表示されます。

6 語句を入力します。
ここでは「秋葉原」と入力します。

- 語句に入力できる文字は外字を含むすべての文字種で、最大 10 文字までです。



7 [実行]を押すと、「よろしいですか？」と表示されるので、もう一度[実行]を押します。
これで登録は完了です。

- 語句は最大 30 件まで登録できます。

登録した語句を修正する

1 [機能]を押し、指を離してから[8.]を押します。

2 ⑮を押してユーザー辞書を選び、[実行]を押します。

3 ⑯を押して修正を選び、[実行]を押します。

4 ⑮を押して修正したい語句を選び、[実行]を押します。

5 読みを修正して、[実行]を押します。
語句の修正画面が表示されます。

6 語句を修正して、**〔実行〕**を押します。
「よろしいですか？」と表示されます。

7 **〔実行〕**を押します。
これで修正は完了です。

登録した語句を削除する

1 「語句を登録する」の手順 3 で**削除**を選び、**〔実行〕**を押します。

2 で削除する語句を選んで、**〔実行〕**を押します。

3 **〔実行〕**を押します。
これで削除は完了です。

設定編

文字の入力方法や画面の明るさなど、本機を操作するための設定方法について説明します。

設定を変える

文字の入力方法や画面の明るさなどの設定を使いやすいうように変更することができます。

設定できる項目

電源を入れて最初に**機能**を押し、指を離してから**8**を押すと、右の画面が表示されます。
⑥で設定したい項目を選んで画面を切り替え、設定を変更します。



- 電源を入れた直後以外の画面では、一部の項目が画面に表示されないことがあります。

設定項目	内容	ページ	
挿入 / 上書き	文字の入力方法を決める	89	
日本語入力	日本語の入力方法を決める	76	
ブザー音	ブザー音を鳴らす / 鳴らさないを決める	107	
手書き認識	手書きで入力した文字の認識方法を決める	108	
液晶パネル	メインパネル コントラスト	画面（メインパネル）の明るさを調整する	108
	手書きパネル コントラスト	手書きパネルの明るさを調整する	108
	手書きパネル位置調整	手書きパネルの位置を調整する	109
印刷濃度	印刷の濃さを調整する	109	
初期フォント	入力文字の最初の書体を決める	92	
日時	日付、時刻を設定する	109	

設定項目	内容	ページ
ユーザー辞書	「読み」と「語句」の組み合わせを登録して、熟語変換の候補として表示させる	105
電池	アルカリ乾電池か充電式ニッケル水素電池 (eneloop®、充電式 EVOLTA) のどちらを使うか決める	110
デモ印刷	いろいろな機能を使って作成したラベルの印刷例を印刷する	110

ブザー音を消したい

電源を入れたときやキー操作を間違ったとき、手書きパネルにタッチしたときに鳴る「ピッ」というブザー音を消すことができます。

- 1 **機能**を押し、指を離してから**8**を押します。
- 2 ⑥を押して**ブザー音**を選び、**実行**を押します。
- 3 ⑦を押して**ブザー音なし**を選び、**実行**を押します。

・ ブザー音を鳴らしたいときは、**ブザー音あり**にします。

手書きで入力した文字の認識方法を変えたい

手書きで入力した文字を認識する方法は、手動認識、自動認識の2つあります。

手動認識では、手書きパネルに文字を書いた後、【認識】をタッチして、一文字ずつ認識させます。

自動認識では、手書きパネルに書いた文字が約1秒後に自動的に認識されます。

ご購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、手動認識の状態になっています。

1 [機能]を押し、指を離してから[**8**]を押します。

2 **ⒶⒷ**を押して**手書き認識**を選び、[実行]を押します。

3 **ⒶⒷ**を押して**自動認識**を選び、[実行]を押します。
・「手動認識」を選んで[実行]を押すと、一文字ずつ認識する状態に戻ります。

画面（メインパネル）のコントラストを変えたい

画面（メインパネル）のコントラスト（明るさ）を調整することができます。

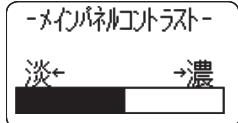
1 [機能]を押し、指を離してから[**8**]を押します。

2 **ⒶⒷ**を押して**液晶パネル**を選び、[実行]を押します。

3 **ⒶⒷ**を押して**メインパネルコントラスト**を選び、[実行]を押します。

4 **ⒶⒷ**を押して画面（メインパネル）の明るさを調整し、[実行]を押します。

- ・**Ⓐ**を押すごとに淡く、**Ⓑ**を押すごとに濃くなります。



手書きパネルのコントラストを変えたい

手書きパネルのコントラスト（明るさ）を調整することができます。

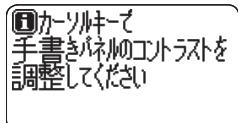
1 [機能]を押し、指を離してから[**8**]を押します。

2 **ⒶⒷ**を押して**液晶パネル**を選び、[実行]を押します。

3 **ⒶⒷ**を押して**手書きパネルコントラスト**を選び、[実行]を押します。

4 **ⒶⒷ**を押して手書きパネルの明るさを調整し、[実行]を押します。

- ・**Ⓐ**を押すごとに淡く、**Ⓑ**を押すごとに濃くなります。
- ・手書きパネルをタッチして調整することはできません。
キーボードの**ⒶⒷ**を押して調整してください。



手書きパネルの位置を調整したい

手書きパネル上で、タッチペンでタッチする位置と表示される手書きで入力した文字が微妙にずれているときなど、調整が必要な場合に位置を調整することができます。

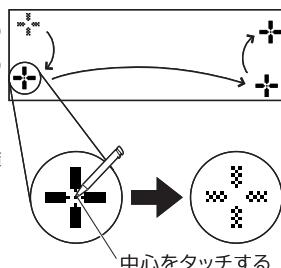
1 [機能]を押し、指を離してから[8]を押します。

2 ⑧⑨を押して液晶パネルを選び、[実行]を押します。

3 ⑧⑨を押して手書きパネル位置調整を選び、[実行]を押します。

4 手書きパネルに表示される4つの十字マークの中心を、一つ一つタッチペンですべてタッチします。

- ・十字マークをタッチすると色が薄くなり、4つすべてタッチすると調整が終わります。



印刷の濃さを変えたい

印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、お好きな濃さに変えることができます。

1 [機能]を押し、指を離してから[8]を押します。

2 ⑧⑨を押して印刷濃度を選び、[実行]を押します。

3 ⑨⑩を押して濃さを設定し、[実行]を押します。

- 1にすると1番薄く印刷され、5にすると1番濃く印刷されます。



- ・印刷の濃さの設定を変更しても、使用環境や使用状況が変わらない場合は、実際に印刷される濃度が変わらないことがあります。

日付、時刻を設定する

正しい日付、時刻を設定することができます。

1 [機能]を押し、指を離してから[8]を押します。

2 ⑧⑨を押して、日時を選び、[実行]を押します。

3 ◎◎▽▽を押して、日付、時刻を指定します。

- ・「年」「月」「日」「時」「分」の各項目間の移動には◎◎を押します。数字を指定するときは▽▽を押します。
- ・直接数字を入力することもできます。

4 設定が終わったら、[実行]を押します。

電池の設定をする

アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池(eneloop[®]、充電式EVLTA)のどちらを使うかを設定します。

ご購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後は、アルカリ乾電池を使う設定になっています。

- ・ご使用になる電池に対して正しく設定されていないと、電池の消耗を知らせるメッセージが正しく表示されないことがあります。

1 [機能]を押し、指を離してから[8秒]を押します。

2 △▽を押して[電池]を選び、[実行]を押します。

3 △▽を押して[充電式ニッケル水素]を選び、[実行]を押します。

- ・「アルカリ」を選んで[実行]を押すと、アルカリ乾電池を使う設定に戻ります。

サンプルデータを印刷する（デモ印刷）

内蔵のサンプルデータを印刷して、本機でどんなラベルが作れるかを見るることができます。

重要 デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。
大切なデータの場合には、登録してから印刷をしてください。
(データの登録→69ページ)

1 テープカートリッジがセットされていることを確認します。

- ・テープカートリッジについて→15ページ

2 電源が切れていることを確認します。

画面に何か文字があるときは電源が入っているときは、電源を押します。

3 再び電源を押して電源を入れます。

4 [機能]を押し、指を離してから[8秒]を押します。

5 △▽を押して[デモ印刷]を選び、[実行]を押します。

6 ◎◎を押して[印刷]を選び、[実行]を押します。

7 「枚数 1枚」「カットモード 通常」になっていることを確認します。

- ・印刷枚数やカットモードを変更することもできます。24ページ「印刷とカットモード」をご覧ください。
- ・特殊なテープで印刷するときは、テープカートリッジに合わせて、カットモードを変更してください。(24ページ)

付 錄

電源について

本機を使うときは、電源として指定の AC アダプターの他に、市販のアルカリ乾電池や充電式ニッケル水素電池（eneloop®、または充電式 EVOLTA）を使うことができます。

- ご使用前に、「安全上のご注意」（1～5 ページ）を必ずご覧ください。

電池で使う

市販の単3形アルカリ乾電池、単3形充電式ニッケル水素電池（eneloop®、または充電式 EVOLTA）を8本使用します。
(必ず8本とも同じ種類の電池を使用してください。)



- 電池は、必ず8本とも新品の単3形アルカリ乾電池、または満充電にした単3形充電式ニッケル水素電池（eneloop®、または充電式 EVOLTA）を使用してください。指定以外の電池を本機に使用したり、新しい電池と古い電池を混ぜて使用すると、電池の特性と本機の仕様の不一致により、所定の電池寿命を満たさなかつたり、誤動作の原因となることがあります。
- 単3形充電式ニッケル水素電池（eneloop®、または充電式 EVOLTA）を使用する場合は、電池の設定を「充電式ニッケル水素」にしてください（110 ページ）。
- ご使用になる電池に対して正しく設定されていないと、電池の消耗を知らせるメッセージが正しく表示されないことがあります。

8 [実行] を押します。

- 印刷が始まります。
- デモ印刷中に、途中で印刷が数秒止まることがありますが、故障ではありません。
- セットしているテープカートリッジの幅によって、印刷される内容は異なります。

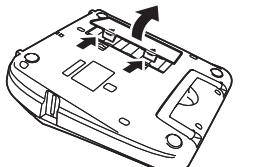
9 印刷が終了したら⑥⑦を押して終了を選び、[実行] を押します。

「終了しますか？」と表示されます。

10 [実行] を押します。

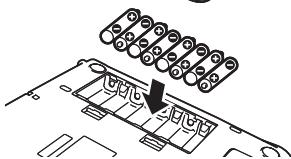
1 本体裏側の電池カバーを取り外します。

電池カバーに無理な力（逆に曲げるなど）を加えないでください。故障の原因となります。

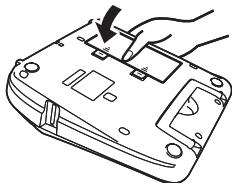


2 電池をセットします。

⊕と⊖の向きに注意してセットしてください。



3 電池カバーを取り付けます。



- 電池が消耗した状態で使用すると、印刷中に電源が切れることがあります。指定の AC アダプターでお使いになることをおすすめします。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため、画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。
その場合は、本機を使用温度範囲（10℃～35℃）の環境に戻してからご使用ください。

- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、AC アダプターや電池を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、外字、コピーした文章、手書きイメージ、設定された内容が消去されてしまいます。

- 「電池をセットした状態」で、AC アダプターを抜き差しするときは、必ず、一度電源を切ってください。電源が入っているときに抜き差しをすると、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。

- 本機に登録した重要なデータは、ノートなどに控えを取っておいてください。

電池寿命について

標準印刷条件で、18mm テープカートリッジ約 2 卷分の印刷ができます。

- 黒い部分の多い文字や画像を印刷した場合、低温下で使用した場合、電池をセットしたまま長期間保管した場合は、電池寿命は短くなります。
- 本機をご使用にならない場合も、2 年に 1 度は必ず電池を交換してください。

特に消耗した eneloop[®] または充電式 EVOLTA を本機に入れたままにすると、eneloop[®] または充電式 EVOLTA を劣化させる恐れがあるので、本機をご使用にならない場合はすぐに取り出してください。

お手入れの方法

プリンターヘッドやゴムローラーが汚れていると、ラベルをきれいに印刷できません。次の手順に従って、プリンターヘッドやゴムローラーを掃除してください。

綿棒できれいにする



- ・プリンターヘッドやゴムローラーのお手入れは、綿棒などの柔らかいものをお使いください。また、綿棒は極細タイプをおすすめします。

1 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

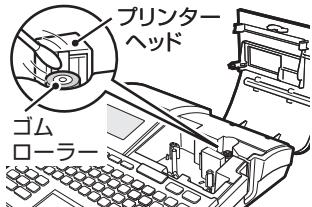
- ・テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。



- ・印刷中や印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてから、テープカートリッジを取り外してください。

2 アルコールを浸した綿棒でプリンターヘッド、ゴムローラーの表面を拭きます。

ローラーとヘッドが接触する部分を重点的に拭いてください。



- テープ送り
- ・ゴムローラーは、**機能**を押し、指を離してから**0をわ**を押すと回転します。
 - ・市販のカセットテープレコーダー用のヘッドクリーニングキットもご使用になります。

クリーニングテープを使う

別売のクリーニングテープ (XR-24CLE) を使うこともできます。

1 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

- ・「綿棒できれいにする」の手順1の注意事項をお読みください。

2 クリーニングテープを本機に装着します。

3 **電源**を押して電源を入れます。

4 **機能**を押し、指を離してから**0をわ**を押して、1～2回「テーテープ送り」をします。

詳しくはクリーニングテープに付属の取扱説明書をご覧ください。

本体もお手入れしましょう

柔らかい布を水に浸してから固くしぼって、本体を拭いてください。

本体を傷付けるので、ベンジン、アルコールやシンナーなどの揮発性のものは使わないでください。

こんなときは (トラブルシューティング)

本機がうまく動かないときには、次の対処方法に従ってトラブルを解決してください。次の対処方法で解決できないトラブルは、故障している可能性もありますので、お買い上げ店、最寄りの本機取扱店、もしくはカシオテクノ修理相談窓口にご相談ください。

症状	原因と対処
● を押しても何も表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 画面（メインパネル）または手書きパネルの明るさが適切でない → 画面（メインパネル）または手書きパネルの明るさの設定を調整してください。 (108 ページ) AC アダプターがきちんと接続されていない → AC アダプターを正しく接続してください。 (11 ページ) 電池が消耗している、または指定以外の電池を使用している ・ 指定以外の AC アダプターを使用している → 指定の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。 電池が正しくセットされていない → 正しくセットし直してください。 (112 ページ)
● 正しく終了するが何も印刷されない	<ul style="list-style-type: none"> 「空白」だけが入力されている → 印刷したい文章を入力してください。 パソコンから何も入っていないデータを取り込んで印刷しようとした → 正しいデータを取り込み直してください。

症状	原因と対処
● 印刷が不鮮明になった ● 印刷がきれいにできない ● 印刷が薄い	<ul style="list-style-type: none"> プリンターヘッドやゴムローラーに、汚れ、ゴミ、異物が付着している → クリーニングをしてください。 (113 ページ) インクリボンのたるみによるしわが発生した → インクリボンを巻き取り、テープカートリッジを正しくセットし直してください。 (115 ページ) テープカートリッジが正しくセットされていない → 正しくセットし直してください。
● 印刷されない ● 印刷中に電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗している、または、指定以外の AC アダプターや電池を使用している → 指定の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。 プリンターヘッドが高温になっている → しばらく時間をおいてからお使いください。
● 文字が入力できない	<ul style="list-style-type: none"> 機能を押した状態になっている → 取消しを押して、文字が入力できる画面にします。

症状	原因と対処
● 目的の漢字に正しく変換されない	<ul style="list-style-type: none"> 正しい「読み」が入力されていない → 正しい「読み」を入力してください。特に、拗音（「しよう」の「よ」など）や促音（「がつき」の「っ」など）の入力には注意しましょう。 入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている → [あ/ア]を押して変更してください。（77 ページ）
● パソコンとつながらない	<ul style="list-style-type: none"> 通信の内容にあった通信モードになっていない → デザインロゴ以外の場合：[USB] を押してパソコンと接続できる状態にしてください。 デザインロゴの場合：[印刷] を押してデザインロゴのモードに入り「データインストール」→「受信」を選択してパソコンと接続できる状態にしてください。 USB ケーブルが正しく接続されていない → 正しく接続し直してください。 電源を入れていない → [電源] を押して、電源を入れてください。 プリンタードライバーがパソコンにインストールされていない → パソコンにプリンタードライバーをインストールしてください。（別紙の「はじめにお読みください」参照） それでもつながらない場合には、パソコンの USB ポートを別のポートに差し替えたり、USB ケーブルを別のケーブルに交換したりしてください。 ※ USB ケーブルは、USB 規格に準拠した市販品（A-B タイプ）を使用してください。

症状	原因と対処
● [印刷]などの機能キーを押しても画面が変わらない	<ul style="list-style-type: none"> ひらがなに■が重なっている：例 あか 漢字に下線がついている：例 產 → ひらがなや漢字は必ず確定してください。 ■が重なっていたり下線がついていたりすると（確定前）、他の機能が使えません。
● [印刷]を押してもテープが出てこない	<ul style="list-style-type: none"> テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない → カバーをしっかりと閉めてください。（16 ページ） テープが終了している → 新しいテープカートリッジ（別売）に交換してください。（16 ページ） テープが詰まっている → テープカートリッジを取り出して、詰まったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。 その後、正しくセットし直します。（16 ページ）
	<p>重要 印刷中に、次のようなことはしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> テープ出口をふさぐ 出てくるテープに触る テープカートリッジ収納部のカバーを開ける 電源を切る 電池が消耗している → 指定の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。

症状	原因と対処
● インクリボンがテープといっしょにテープ出口から出てきた	<ul style="list-style-type: none"> インクリボンがたるんでいるままで、テープカートリッジをセットした → テープカートリッジを取り出します。インクリボンが切れていないことを確かめてから、テープを巻き取ってください。その後正しくセットし直してください。(15 ページ) <p>重要  • テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみを取ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> インクリボンが切れているときは、新しいテープカートリッジ（別売）に交換してください。
● テープが切れない	<ul style="list-style-type: none"> テープカッターが摩耗している → カシオテクノ修理相談窓口に連絡して交換してください。(144 ページ) テープ出口にテープが詰まっている → 電源を切って、テープカートリッジを取り出し、詰まったラベルを取り除いてください。 書式の余白が、「送り無」に設定されている → 「余白小」、「余白中」または「余白大」に設定してください。(45 ページ) カットモードを「カットしない」に設定している → 「カットしない」以外に設定してください。(24 ページ) ラベルの長さが短い（余白小で約 28mm 以下／余白中で約 35mm 以下／余白大で約 44mm 以下） → 印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。

症状	原因と対処
● ハーフカットができない	<ul style="list-style-type: none"> ハーフカッターが摩耗している → カシオテクノ修理相談窓口に連絡して交換してください。(144 ページ) カットモードを「特殊テープ」「カットしない」に設定している → カットモードを「通常」または「切り離す」に設定してください。(24 ページ) マグネットテープを使用している → マグネットテープはハーフカットされません。印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。 <p>重要  マグネットテープ、反射テープ、アイロンブリーチテープは、カットモードを「カットしない」にして印刷してください。(26 ページ)</p>
● ラベルが貼れない	<ul style="list-style-type: none"> 裏紙をはがしていない → 裏紙をはがしてから貼ってください。(22 ページ) 貼る場所やものが適していない → 表面がザラザラしているもの、水や油が付いているもの、汚れているものなどには貼れません。(22 ページ)
● ラベルの余白が大きい	<ul style="list-style-type: none"> 書式の余白が「余白大」「余白中」に設定されている → 「余白小」または「送り無」に設定し直してください。(45 ページ) (本機の構造上、印刷時にはラベルの先頭に必ず余白があります)

症状	原因と対処
●手書きパネルにタッチしても正しく認識されない	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチする位置と認識される位置がずれている →手書きパネル位置調整を行ってください。 (109 ページ) ・手書きで文字を入力しているときにキーボードのキーが押された →手書き入力中はキーボードのキーを押さないでください。 ・入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている → a/A または a/A を押して変更してください。 ・手書きパネルに保護フィルムを貼り付けている →市販の保護フィルムを貼り付けるとタッチパネルの入力が正しく動作しない場合があります。保護フィルムをはがして正常に動作するか確認してください。
●手書きパネルにタッチする位置と表示される文字の位置がずれている	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチする位置と認識される位置がずれている →手書きパネル位置調整を行ってください。 (109 ページ)

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因と対処	参照ページ
印刷準備中 (印刷中に表示され、印刷が止まっている)	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返して印刷したときなど、プリンター部分に熱がこもった場合 →そのままの状態で、しばらくお待ちください。 プリンター部分が通常の温度に戻ると、印刷が始まります。 	144
同じデータがあります	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー辞書の登録で、全く同じデータがすでに登録されている場合 → 取消し を押して登録を終了してください。 	105
同じ登録名があります	<ul style="list-style-type: none"> ・入力した登録名がすでに登録されているものと重複している場合 → 登録名を入力し直してください。 	69
該当候補なし	<ul style="list-style-type: none"> ・単漢字変換で候補の漢字がない場合 → 取消し を押して違う読みを入力してください。 	80
行数オーバー 印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 → 行数を減らすか、テープ幅を変えてください。 	40、 131
行数オーバー フレーム付きで印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> ・フレーム印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 → 行数を減らすか、テープ幅を変えてください。 	56

メッセージ	原因と対処	参照ページ
桁数が奇数（偶数）です	<ul style="list-style-type: none"> バーコード印刷（ITF）のチェックデジット「無」において、入力する桁数が奇数の場合 →先頭に「0」を付けて入力し直してください。 バーコード印刷（ITF）のチェックデジット「有」において、入力する桁数が偶数の場合 →先頭に「0」を付けて入力し直してください。 	60
桁数が不足です	<ul style="list-style-type: none"> バーコード印刷で、印刷できる桁数に満たないまま印刷しようとした場合 →正しい桁数に入力し直してください。 	60
コメントが入力されていません	<ul style="list-style-type: none"> QRコード印刷で、コメントが未入力のまま印刷しようとした場合 →コメントを入力してください 	61
作成中の内容が失われますがよろしいですか? 実行 / 取消し	<ul style="list-style-type: none"> 文章を消して操作を進める場合 →[実行]を押してください。 文章を消したくない場合 →[取消し]を押してからその文章を登録してください。 	69
指定したテープ長より長くなりますがよろしいですか? 実行 / 取消し	<ul style="list-style-type: none"> 印刷する場合 →[実行]を押してください。 印刷しない場合 →[取消し]を押し、「文字数を減らす」、「テープ長を指定し直す」、または書式内で「テープ長を[自動]にする」などの操作をしてください。 	47
数字を入力してください	<ul style="list-style-type: none"> ナンバリング印刷で、何も入力しないで印刷しようとした場合 →数字を入力してください 	31

メッセージ	原因と対処	参照ページ
前回正しく終了されなかった可能性があります	<ul style="list-style-type: none"> 前回、電源が入っているときや「しばらくお待ちください」と表示されているときに、ACアダプターや電池を取り外すなどして正常に終了できなかった場合 →登録内容の一部が消去されています。何かキーを押すと、その部分が初期化されます。 	11、12、111
データが入力されていません	<ul style="list-style-type: none"> QRコード印刷で、データ未入力のまま印刷しようとした場合 →データを入力してください 	61
テープエラー テープカートリッジが不適当です	<ul style="list-style-type: none"> テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない場合 →カバーをしっかりと閉めてください。 印刷または呼び出ししようとしているものに対して、テープカートリッジが不適当な場合 →電源を切って、テープカートリッジを交換してください。 電源が入っているときにテープカートリッジを交換した場合 →電源を切って、テープカートリッジを交換してください。 	15、16
テープエラー テープカートリッジを装着してください	<ul style="list-style-type: none"> テープカートリッジが装着されていない。または、装着方法が誤っている場合 →テープカートリッジを正しく装着してください。 	15

メッセージ	原因と対処	参照ページ
デザインロゴのデータがインストールされていません	<ul style="list-style-type: none"> ・ デザインロゴ転送ソフト「デザインロゴチェンジャー」でパソコンからインストールしていないフォルダを選択した場合 → インストールしてあるフォルダを選択し直すか、パソコンからデザインロゴのデータをインストールしてください。 	71
電池残り少 続行しますか？ 実行／取消し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電池が消耗している場合 → 新しい電池（別売）に交換してください、または指定の AC アダプターを使用してください。 ・ 10℃以下の低温下で使用した場合 → 使用温度範囲（10℃～35℃）でご使用ください。 	111
電池残り少 交換してください	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電池が消耗している場合 → 新しい電池（別売）に交換してください、または指定の AC アダプターを使用してください。 ・ 10℃以下の低温下で使用した場合 → 使用温度範囲（10℃～35℃）でご使用ください。 	111
登録データがありません	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登録されていないプリセットタイトルを呼出し・修正・削除しようとした場合 → 別のプリセットタイトルを選択してください。 ・ 登録データの呼出しや削除、またはユーザー辞書の修正や削除で、データが1つも登録されていない場合 → データを登録してください 	69、98、105

メッセージ	原因と対処	参照ページ
長さオーバー 印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> ・ 印刷できるテープの長さを超えて印刷しようとした場合 → テープの長さを短くする、または印刷枚数を減らしてください。 	21、24、46
長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか？ 実行／取消し	<p>印刷時に先頭の不要部分のカットができない場合、または、1枚ごとのカットができない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 印刷する場合 → [実行] を押してください。印刷が終わったら、ハサミなどで切ってください。 ・ 自動的にテープカットをしながら印刷をする場合 → 余白を大きく（小→中または中→大）指定し直してください（カットモードを「特殊テープ」、余白を「大」に指定すると必ず前後の余白をそろえることができます）。 	24、45
認識できません	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手書き入力で、書いた文字が認識できなかった場合 → 再度、文字を書き直してください。 	85、86
パソコンとの接続状況を確認してください	<ul style="list-style-type: none"> ・ USB ケーブルのコネクターがしっかりと接続されていない場合 → USB ケーブル（USB 規格に準拠した市販品：A-B タイプ）をコネクターにしっかりと差し込んでください。 ・ パソコンの電源が切れている場合 → パソコンの電源を入れてから操作してください。 	—

メッセージ	原因と対処	参照ページ
プリントエラー テープカートリッジを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> 印刷中に、テープが詰まった場合 → 電源を切って、テープカートリッジを取り出し、詰まったテープを取り除いてください。 オートテープカッターに異物がはさまった場合 → 電源を切って、テープカートリッジを取り出し、オートテープカッターにはさまたった異物を取り除いてください。 	16
	<ul style="list-style-type: none"> ゴムローラーに「ゴミ」や「テープの切れかす」などの異物が付着した場合 → ゴムローラーに付着した異物を取り除き、ゴムローラーをクリーニングしてください。 テープカートリッジ収納部にあるセンサーに「テープの切れかす」などの異物が付着した場合 → テープカートリッジ収納部から「テープの切れかす」などの異物を取り除いてください。 	113
	<ul style="list-style-type: none"> 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用し、本機内部にある光センサーが誤作動を起こした場合 → 電源を切った後、強い光が当たらぬい場所でお使いください。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> マグネットテープを使用してカットモードを「通常」「切り離す」にした場合 → カットモードを「カットしない」にして印刷してください。 	26
	上記の対処をしても、メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。	144

メッセージ	原因と対処	参照ページ
ブロック数オーバー	<ul style="list-style-type: none"> 16個目のブロックマークを入力しようとした場合 → 文章のブロック数を減らしてください（不要なブロックマークを削除してください）。 	41
無効な文字があります	<ul style="list-style-type: none"> バーコード印刷で、入力可能な文字種以外の文字を入力して印刷しようとした場合 → 不適な文字を削除してください。 バーコード印刷 (CODABAR) で、スタートコード (先頭) またはストップコード (末尾) に「A」「B」「C」「D」以外の文字を入力して印刷しようとした場合 → 正しい文字を入力し直してください。 	60
メモリーオーバー登録できません	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー辞書登録 (熟語変換) の読み入力で、ひらがな、長音以外の文字が含まれていた場合または先頭の文字が長音の場合 → 正しい文字を入力し直してください。 	105
メモリーオーバー作成後に登録できません 実行 / 取消し	<ul style="list-style-type: none"> メモリーの容量が足りず登録できない場合 → 登録してあるデータをどれか消してから再登録してください。 登録のためのメモリー容量が一杯になった状態で作成しようとした場合 → 印刷はしたいが、登録しない場合は、[実行] を押して操作を続けてください。登録をする場合は、不要な登録文章を削除してから操作してください。 	70

メッセージ	原因と対処	参照ページ
文字が入力されていません	<ul style="list-style-type: none"> 文字を入れないで次の操作に進もうとした場合 → 文字を入力してから次の操作をしてください。 インデックスラベルで、未入力の項目のみを印刷または印刷プレビューしようとした場合 → 入力してある項目を選択してください。 	20 34
文字数オーバー コピーできなかった文字があります	<ul style="list-style-type: none"> 49 文字を超えてコピーしようとした場合 → 文字数を減らしください。 	101
文字数オーバー 参照できなかった文字があります	<ul style="list-style-type: none"> プリセットタイトルを 49 文字を超えて参照作成しようとした場合 → 先頭から 49 文字だけ参照されますので、必要に応じて修正してください。 	98
文字数オーバー ペーストできなかった文字があります	<ul style="list-style-type: none"> コピーした文字を貼り付けると、総文字数が項目の最大文字数を超えてしまう場合 → 貼り付ける文字を含めた総文字数が、項目の最大文字数を超えないように入力し直してください。 	102
文字数オーバー 文字を確定してください	<ul style="list-style-type: none"> 手書き入力で、未確定のまま 32 文字を超えて文字を書いた場合 → 未確定の文字を先に確定させてください。 	86
文字数オーバー 呼出しできなかった文字があります	<ul style="list-style-type: none"> 選択したプリセットタイトルやタイムスタンプ、タイムスパンを呼び出すと、総文字数が項目の最大文字数を超ってしまう場合 → 呼び出す文字数を含めた総文字数が、項目の最大文字数を超えないように入力し直してください。 	98、 100

ローマ字入力一覧

ローマ字入力するときの、綴り方の一覧表です。

あ行	あ	い	う	え	お
	A	I	U	E	O
か行	か	き	く	け	こ
	KA	KI	KU	KE	KO
	CA	CU	CO		
が行	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	GA	GI	GU	GE	GO
さ行	さ	し	す	せ	そ
	SA	SI	SU	SE	SO
			SHI		
ざ行	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
		JI			
た行	た	ち	つ	て	と
	TA	TI	TU	TE	TO
		CHI	TSU		
だ行	だ	ぢ	づ	で	ど
	DA	DI	DU	DE	DO
な行	な	に	ぬ	ね	の
	NA	NI	NU	NE	NO
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ
	HA	HI	HU	HE	HO
		FU			
ば行	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ行	ぱ	ぴ	ぷ	べ	ぼ
	PA	PI	PU	PE	PO
ま行	ま	み	む	め	も
	MA	MI	MU	ME	MO
や行	や	ゆ	い	え	よ
	YA	YU	YE	YO	

ら行	ら	り	る	れ	ろ
	RA	RI	RU	RE	RO
	LA	LI	LU	LE	LO
わ行	わ	ゐ	う	ゑ	を
	WA	WI	WU	WE	WO
ん行	ん				
	NN,	N +子音			
	MP +母音,	MB +母音			
きや行	きゃ	きい	きゅ	きえ	きょ
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
ぎや行	ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎょ
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
くあ行	くあ	くい	くえ	くお	
	QA	QI	QE	QO	
くわ行	くわ	くい	くう	くえ	くお
	KWA	KWI	KWU	KWE	KWO
	QWA				
ぐわ行	ぐわ	ぐい	ぐう	ぐえ	ぐお
	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
しゃ行	しゃ	しゅ	しゑ	しょ	
	SYA	SYU	SYE	SYO	
	SHA	SHU	SHE	SHO	
じや行	じゃ	じい	じゅ	じえ	じょ
	ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
	JA	JU	JE	JO	
	JYA	JYI	JYU	JYE	JYO
ぢや行	ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢょ
	XYA	XYU	XYE	XYO	
	Y	シフト	A	Y	シフト
ぢや行	ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢょ
	TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
	CYA	CYI	CYU	CYE	CYO
	CHA	CHU	CHE	CHO	
ぢゃ行	ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢょ
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO

つあ行	つあ	つい	つえ	つお
	TSA	TSI	TSE	TSO
てや行	てや	てい	てゅ	てえ
	THA	THI	THU	THE
でや行	でや	でい	でゅ	でえ
	DHA	DHI	DHU	DHE
とう			とう	
			TWU	
どう			どう	
			DWU	
にや行	にや	にい	にゅ	にえ
	NYA	NYI	NYU	NYE
ひや行	ひや	ひい	ひゅ	ひえ
	HYA	HYI	HYU	HYE
びや行	びや	びい	びゅ	びえ
	BYA	BYI	BYU	BYE
ぴや行	ぴや	ぴい	ぴゅ	ぴえ
	PYA	PYI	PYU	PYE

ふあ行	ふあ	ふい	ふえ	ふお
	FA	FI	FE	FO
ふや行	ふや	ふい	ふゅ	ふえ
	FYA	FYI	FYU	FYE
ぶや行	ぶや	ぶい	ぶゅ	ぶえ
	VYA	VYI	VYU	VYE
みや行	みや	みい	みゅ	みえ
	MYA	MYI	MYU	MYE
りや行	りや	りい	りゅ	りえ
	RYA	RYI	RYU	RYE
lya行	lya	lyi	lyu	lye
	LYA	LYI	LYU	LYO
ぶあ行	ぶあ	ぶい	ぶゅ	ぶえ
	VA	VI	VU	VE
ヴァ行	ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ
	*			ヴォ

※「ヴァ行」を入力する場合は、**あ/A**を何回か押して、画面左上に「ア」を表示させてから入力してください。

小文字(拗音・促音)

あ XA シフト A	い XI シフト I	う XU シフト U	え XE シフト E	お XO シフト O
や XYA Y シフト A	ゆ XYU Y シフト U	よ XYO Y シフト O	わ XWA W シフト A	
つ XTU, XTSU, LTU T シフト U, TS シフト U			カ XKA K シフト A	
ケ XKE K シフト E				

・N以外の子音を2度入力しても「っ」や「ッ」になります。

記号・絵文字一覧

一 記 号

●記述・カッコ

• 学術

● 单位 · 略

。 。 " ° C ¥ \$ ¢ £ € % Å % g m² m³ ℥ HP Ø Hz ミリ
セントルキロ 規格 公式 規格 トナ トモ TEL FAX No. K.K. (株) (有) (代) (内) (直) (呼)
財 特 (学) (同) (注) (控) (印) (秘) (檢) (清) (船) (延) (聯) (誠) 00 01 02 03 04 05
06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29

一般

●数字

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
I II III IV V VI VII VIII IX X i ii iii iv v vi vii viii ix x
 $\frac{1}{2}$ $\frac{1}{4}$ $\frac{3}{4}$

記 号

●数字

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39
40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59
60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79
80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99

●ギリシア・ロシア

ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥ
ΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυ
ρστυφχψωΑΒΒΓΔΕЁЖЗИЙК
ЛМНОПРСТУФХЦЧЩЬЫЭЮ
Яабвгдэёжзийклмнопрс
түфхцчщьыэюя

ひらがな

ああいいうええおおかがきぎくぐけげこご
さざしじすずせぜそぞただちぢつづてと
どなにぬねのはばぱひびぴふぶぶへべべほほ
ほまみむめもややゆゆよよらりるれろわわゐ
ゑをん

カタカナ

アイイウウェエオオカガキギクグケゴ
サザシジスズセゼソゾタダチヂツツヅテデト
ドナニヌネノハババヒビピフブブヘベペホボ
ボマミムメモヤヤユヨヨラリルレロワワヰ
ヱヨンヴカケ

● 診療科目

内消循呼腎糖引了血神心感壅外胸乳甲小丘整
形體產皮泌眼目精性婦新氣美齒老肝腎膽入

● QR コード専用記号

ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥ
ΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρ
ρστυφχψωΑБВГДЕЁЖЗИЙК
ЛМНОПРСТУФХЦЧЩЬЫЭЮ
Яабвгдэёжзийклмнопр
туфхцчщьыэюя

- 絵文字

●オフィス



●スケジュール



●天氣



● 注意

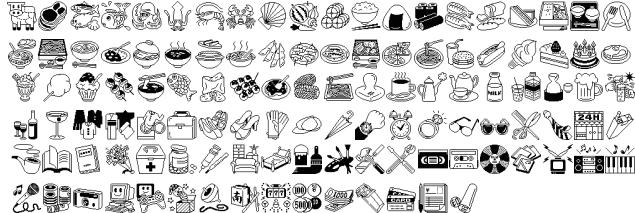


絵文字

●案内



●店



●食べ物



●暮らし



●乗り物



絵文字

●季節



●ビデオ



●オーディオ



●おもしろ



●趣味



●スポーツ



●人物



絵文字

●生き物



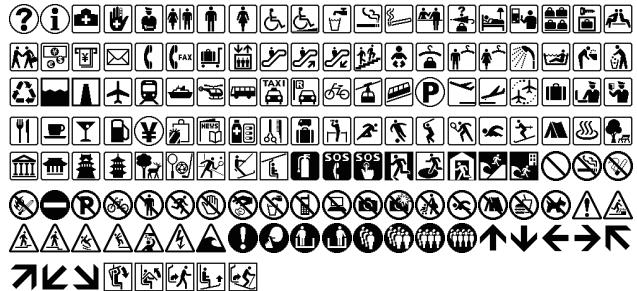
●干支



●星座



●公共



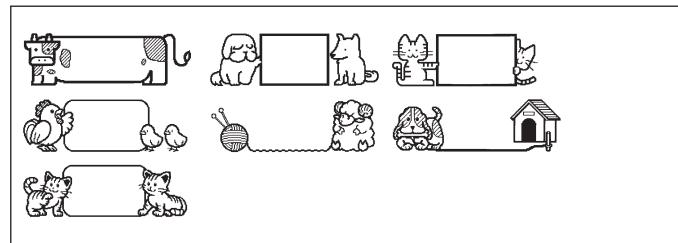
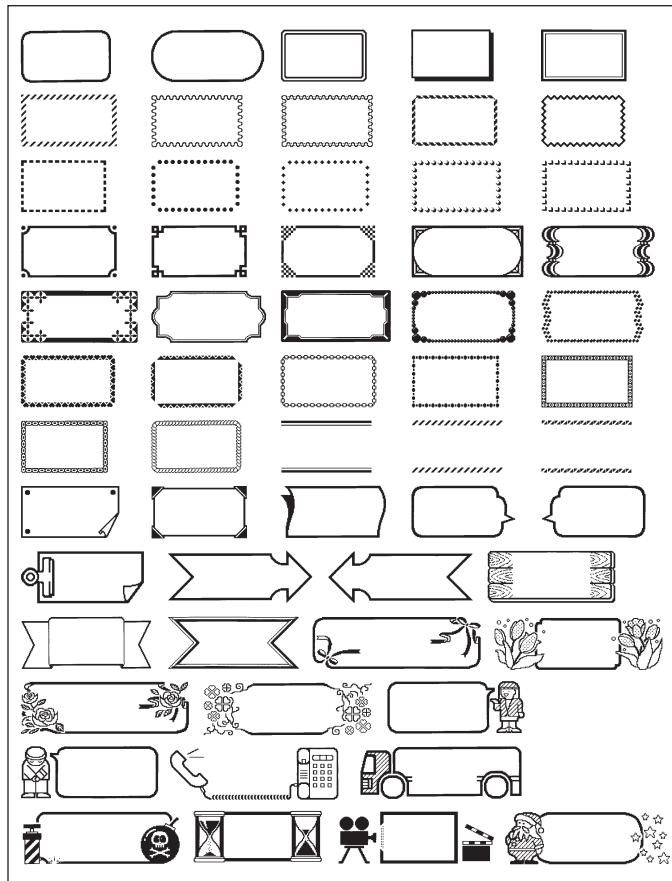
●全部

「オフィス」から「公共」までの絵文字すべてが入ります。表示される順番は多少変わります。

フレーム一覧

フレーム一覧

付録



用途別ラベルフォーマット一覧

お使いになるテープカートリッジの幅によって、フォーマットの表示が異なることがあります（入力項目が異なることはありません）。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ （17種類）	VHS （148mm長）	縦	1	[■]	タイトル						
		縦	2	[■■]	タイトル 1～2						
		縦	3	[■■■]	ぶんりい、タイトル、コメント 1～3	○	○	○	○	-	-
		縦	4	[■■■■]	タイトル 1～3						
		縦	5	[■■■■■]	タイトル 1～3、 タイトル 4～6						
	ミニ DV （65mm長）	縦	1	[■]	タイトル						
		縦	2	[■■]	タイトル 1～2	○	○	○	○	-	-
		縦	3	[■■■]	ぶんりい、タイトル、 コメント 1～2						
		縦	4	[■■■■]	タイトル 1～3						
	8ミリ （94mm長）	縦	1	[■]	タイトル						
		縦	2	[■■]	タイトル 1～2	○	○	○	○	-	-
		縦	3	[■■■]	ぶんりい、タイトル、 コメント 1～2						
		縦	4	[■■■■]	タイトル 1～3						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ （17種類）	VHS-C （89mm長）	縦	1	[■]	タイトル						
		縦	2	[■■]	タイトル 1～2						
		縦	3	[■■■]	ぶんりい、タイトル、 コメント 1～3	○	○	○	○	-	-
		縦	4	[■■■■]	タイトル 1～3						
オーディオ （15種類）	MD （71mm長）	横	1	[■]	タイトル						
		横	2	[■■]	タイトル、 コメント						
		横	3	[■■■]	タイトル、 コメント 1～2	○	○	○	○	-	-
		横	4	[■■■■]	タイトル 1～3						
	MD 背 （57mm長）	横	1	[■]	タイトル	-	-	-	-	○	○
		横	2	[■■]	タイトル						
		横	3	[■■■]	タイトル、 コメント 1～2	○	○	○	○	-	-
		横	4	[■■■■]	タイトル 1～3						
カセット （99mm長）	CD/DVD （114mm長）	横	1	[■]	タイトル						
		横	2	[■■]	タイトル、 コメント						
		横	3	[■■■]	タイトル、 コメント 1～2	○	○	○	○	-	-
		横	4	[■■■■]	タイトル 1～3						
	CD/DVD 背 （114mm長）	横	1	[■]	タイトル						
		横	2	[■■]	タイトル、 コメント						
		横	3	[■■■]	タイトル、 コメント 1～2	○	○	○	○	-	-
		横	4	[■■■■]	タイトル 1～3						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅						
						24	18	12	9	6	3.5	
名前 （18種類）	一般 (65mm長)	横	大1	[REDACTED]	こうもく、なまえ							
		横	大2	[REDACTED]	なまえ、こうもく							
		横	大3	[REDACTED]	なまえ、 こうもく1～2							
	一般 (45mm長)	横	小1	[REDACTED]	こうもく、なまえ							
		横	小2	[REDACTED]	なまえ、こうもく							
		横	小3	[REDACTED]	なまえ、 こうもく1～2							
	子供 (80mm長)	横	大1	[REDACTED]	ねん・くみ、なまえ							
		横	大2	[REDACTED]	ねん・くみ、なまえ							
		横	大3	[REDACTED]	がっこう、ねん・ くみ、なまえ							
		横	大4	[REDACTED]	がっこう、ねん・ くみ、なまえ							
	子供 (50mm長)	横	小1	[REDACTED]	ねん・くみ、なまえ							
		横	小2	[REDACTED]	ねん・くみ、なまえ							
		横	小3	[REDACTED]	がっこう、ねん・ くみ、なまえ							
		横	小4	[REDACTED]	がっこう、ねん・ くみ、なまえ							
	ふりがな付 (80mm長)	横	大1	[REDACTED]	ふりがな、なまえ							
		横	大2	[REDACTED]	ねん・くみ、 ふりがな、なまえ							
	ふりがな付 (50mm長)	横	小1	[REDACTED]	ふりがな、なまえ							
		横	小2	[REDACTED]	ねん・くみ、 ふりがな、なまえ							

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅						
						24	18	12	9	6	3.5	
送付 （19種類）	封筒 (210mm長)	縦	大1	[REDACTED]	なまえ							
		縦	大2	[REDACTED]	じゅうしょ、 なまえ							
		縦	大3	[REDACTED]	じゅうしょ、 なまえ							
封筒 (140mm長)		縦	小1	[REDACTED]	なまえ							
		縦	小2	[REDACTED]	じゅうしょ、 なまえ							
		縦	小3	[REDACTED]	じゅうしょ、 なまえ							
はがき (90mm長)		縦	1	[REDACTED]	なまえ							
		縦	2	[REDACTED]	じゅうしょ、 なまえ							
		縦	3	[REDACTED]	じゅうしょ1、じゅうしょ2、 なまえ							
差出人 (65mm長)		縦	大1	[REDACTED]	じゅうしょ、 なまえ							
		縦	大2	[REDACTED]	じゅうしょ1、じゅうしょ2、 なまえ							
差出人 (45mm長)		縦	小1	[REDACTED]	じゅうしょ、 なまえ							
		縦	小2	[REDACTED]	じゅうしょ1、じゅうしょ2、 なまえ							
のし紙 (95mm長)		縦	大1	[REDACTED]	こうもく							
		縦	大2	[REDACTED]	こうもく1～2							
		縦	大3	[REDACTED]	こうもく1、 こうもく2							

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅						
						24	18	12	9	6	3.5	
送付 (19種類)	のし紙 (65mm長)	縦	小1	[REDACTED]	こうもく	○ ○ ○ ○ ○ - -	-	-	-	-	-	
		縦	小2	[REDACTED]	こうもく1~2		-	-	-	-	-	
		縦	小3	[REDACTED] [REDACTED]	こうもく1、 こうもく2		-	-	-	-	-	
ファイル (17種類)	ファイル背 (180mm長)	縦	大1	[REDACTED]	タイトル	○ ○ ○ ○ ○ - -	-	-	-	-	-	
		縦	大2	[REDACTED]	タイトル1~2		-	-	-	-	-	
		縦	大3	[REDACTED] [REDACTED]	ぶんりい、タイトル、 コメント1~3		-	-	-	-	-	
	ファイル背 (140mm長)	縦	小1	[REDACTED]	タイトル	○ ○ ○ ○ ○ - -	-	-	-	-	-	
		縦	小2	[REDACTED]	タイトル1~2		-	-	-	-	-	
		縦	小3	[REDACTED] [REDACTED]	ぶんりい、タイトル、 コメント1~3		-	-	-	-	-	
	FD/MO (71mm長)	横	1	[REDACTED]	タイトル	○ ○ ○ ○ ○ - -	-	-	-	-	-	
		横	2	[REDACTED]	タイトル1~2		-	-	-	-	-	
		横	3	[REDACTED]	タイトル、 コメント1~2		-	-	-	-	-	
CD/DVD (114mm長)	横	1	[REDACTED]	タイトル	○ ○ ○ ○ ○ - -	-	-	-	-	-	-	
	横	2	[REDACTED]	タイトル、 コメント		-	-	-	-	-	-	
	横	3	[REDACTED] [REDACTED]	タイトル、 コメント1~2		-	-	-	-	-	-	
	横	4	[REDACTED]	タイトル1~3		-	-	-	-	-	-	
CD/DVD背 (114mm長)	横	1	[REDACTED]	タイトル	- - - - ○ ○	-	-	-	-	○	○	
	横	2	[REDACTED]	タイトル、 コメント		-	-	-	-	○	○	
備品管理 (70mm長)	横	1	[REDACTED] [REDACTED]	こうもく1~3、 ないよう1~3	○ ○ ○ ○ ○ - -	-	-	-	-	-	-	
	横	2	[REDACTED] [REDACTED]	こうもく1~2、 ないよう1~2		-	-	-	-	-	-	

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅						
						24	18	12	9	6	3.5	
値札 (10種類)	総額のみ (70mm長)	横	大1	[REDACTED] [REDACTED]	コメント、 ねだん	○ ○ ○ ○ ○ - -	-	-	-	-	-	
		横	大2	[REDACTED] [REDACTED]	ひんもく、 ねだん		-	-	-	-	-	
		横	大3	[REDACTED] [REDACTED]	ひんもく1~2、 ねだん		-	-	-	-	-	
総額のみ (50mm長)	横	小1	[REDACTED] [REDACTED]	コメント、 ねだん	○ ○ ○ ○ ○ - -	-	-	-	-	-	-	
	横	小2	[REDACTED] [REDACTED]	ひんもく、 ねだん	-	-	-	-	-			
	横	小3	[REDACTED] [REDACTED]	ひんもく1~2、 ねだん	-	-	-	-	-			
本体併記 (70mm長)	横	大1	[REDACTED] [REDACTED]	せいこみ、 ほんたい	○ ○ ○ ○ ○ - -	-	-	-	-	-	-	
	横	大2	[REDACTED] [REDACTED]	ひんもく、せいこみ、 ほんたい	-	-	-	-	-			
本体併記 (50mm長)	横	小1	[REDACTED] [REDACTED]	せいこみ、 ほんたい	○ ○ ○ ○ ○ - -	-	-	-	-	-	-	
	横	小2	[REDACTED] [REDACTED]	ひんもく、せいこみ、 ほんたい	-	-	-	-	-			

ナンバリングフォーマット一覧

・3.5mm 幅テープカートリッジはお使いになれません。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	
		横	1	[■■■■■]	ナンバー	○ ○ ○ ○ ○ ○					
		横	2	[■■■■■]	コメント、 ナンバー						
		横	3	[■■■■■]	ナンバー、 コメント						
		横	4	[■■■■■]	コメント1、ナンバー、 コメント2						
		横	5	[■■■■■]	コメント、 ナンバー						
		横	6	[■■■■■]	ナンバー、 コメント						

手書きラベルフォーマット一覧

・3.5mm、6mm、9mm 幅テープカートリッジはお使いになれません。

・[■]は手書きのイメージ

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅		
						24	18	12
文字付	イメージ のみ	横	1	[■]			○	○
		横	2	[■] [■]			○	○
	文字付	横	1	[■] [■■■]	タイトル	○	○	○
		横	2	[■] [■■■]	タイトル 1～2	○	○	○
		横	3	[■] [■■■]	タイトル、コメント	○	○	○
		横	4	[■] [■■■]	タイトル 1～3	○	○	○
		横	5	[■] [■■■]	タイトル、コメント 1～2	○	○	○
		横	6	[■] [■■■]	タイトル 1～4	○	○	○
		横	7	[■■■] [■]	タイトル	○	○	○
		横	8	[■■■] [■]	タイトル 1～2	○	○	○
		横	9	[■■■] [■]	タイトル、コメント	○	○	○
		横	10	[■■■] [■]	タイトル 1～3	○	○	○
		横	11	[■■■] [■]	タイトル、コメント 1～2	○	○	○
		横	12	[■■■] [■]	タイトル 1～4	○	○	○

テープ幅と行数・倍率一覧

印刷可能行数や最大“縦”倍率は、ご使用になるテープの幅やフォーマットによって異なります。

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm/ 24mm	取扱説明書 参照ページ
最大印刷可能行数	標準フォント 1行	1行	1行	2行	4行	40 ページ 55 ページ 93 ページ
可能行数	微小フォント 1行	2行	3行	5行	8行	
最大“縦”倍率	標準フォント 1倍	2倍	3倍	5倍		51 ページ
複数行の率の合計	標準フォント ときの縦倍率 の合計 微小フォント	— 2まで	— 3まで	2まで 5まで	4まで 8まで	40 ページ 51 ページ 55 ページ 93 ページ

各機能における使用可能テープ幅一覧

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
フリーラベル	○	○	○	○	○	○
フレーム	×	○	○	○	○	○
用途別ラベル※	○	○	○	○	○	○
インデックスラベル	×	×	×	×	×	○
拡大印刷	×	×	×	○	○	○
バーコード印刷	×	×	×	○	○	○
QR コード印刷	×	×	×	×	○	○
ナンバリング印刷	×	○	○	○	○	○
デザインロゴ	×	×	×	○	○	○
手書きラベル	×	×	×	○	○	○

※使用可能なテープ幅はフォーマットによって異なります。詳しくは、用途別ラベルフォーマット一覧（127 ページ）をご覧ください。

拡大印刷時のテープ幅と文字の大きさ

	3.5mm/6mm/9mm	12mm	18mm	24mm
2段	×	24mm	30mm	30mm
3段	×	36mm	45mm	45mm
4段	×	48mm	60mm	60mm

- 18mm もしくは 24mm 幅のテープを使用する場合は、テープの上下に余白ができるので、テープを切ってから貼り合わせるか、透明のテープに印刷して重ね貼りしてください。

デザインロゴ内蔵データ一覧

- ・フォルダ1：職場で使える分別ラベル（30種）
本体表示名：「職場／分別」

番号	本体表示名	デザインイメージ
1	燃えるゴミ	燃えるゴミ
2	燃えないゴミ	燃えないゴミ
3	可燃物	可燃物
4	不燃物	不燃物
5	あき缶	あき缶
6	あきビン	あきビン
7	アルミ缶	アルミ缶
8	スチール缶	スチール缶
9	ペットボトル	ペットボトル
10	紙類	紙類
11	新聞雑誌	新聞・雑誌
12	ダンボール	ダンボール
13	生ゴミ	生ゴミ
14	発泡スチロール	発泡スチロール
15	金属	金属

番号	本体表示名	デザインイメージ
16	乾電池	乾電池
17	ボタン電池	ボタン電池
18	蛍光管	蛍光管
19	プラ容器包装	プラ製容器包装
20	スプレー缶	スプレー缶
21	衣類布製品	衣類・布製品
22	紙パック	紙パック
23	再生可	再生可
24	再生不可	再生不可
25	コピー用紙	コピー用紙
26	OA用紙	OA用紙
27	再生紙	再生紙
28	上質紙	上質紙
29	ミックスペーパー	ミックスペーパー
30	食品トレー	食品トレー

- ・フォルダ2：現場で使える注意ラベル（30種）
本体表示名：「現場／注意」

番号	本体表示名	デザインイメージ
1	立入禁止	立入禁止 DO NOT ENTER
2	通行禁止	通行禁止 NO PASSAGE
3	火気厳禁	火気厳禁 FLAMMABLE
4	土足厳禁	土足厳禁 NO STREET SHOES
5	物をおくな	物をおくな KEEP EVERYTHING AWAY
6	駐車禁止	駐車禁止 NO PARKING
7	開放厳禁	開放厳禁 DO NOT LEAVE DOOR OPEN
8	禁煙	禁煙 NO SMOKING
9	飲食禁止	飲食禁止 NO EATING OR DRINKING
10	携帯禁止	携帯使用禁止 NO MOBILE PHONES
11	手をふれるな	手をふれるな DO NOT TOUCH
12	頭上注意	頭上注意 WATCH YOUR HEAD
13	足元に注意	足元に注意 WATCH YOUR STEP
14	作業中	作業中 WORK IN PROGRESS
15	安全確認	安全確認 SAFETY CHECK
16	運転中	運転中 DURING OPERATION
17	喫煙所	喫煙所 SMOKING AREA
18	整理整頓	整理整頓 KEEP IN ORDER
19	いつもキレイに	いつもキレイに KEEP CLEAN
20	手洗励行	手洗励行 WASH YOUR HANDS
21	救急箱	救急箱 FIRST AID KIT
22	担架	担架 STRETCHER
23	安全第一	安全第一 SAFETY FIRST
24	清掃清潔	清掃清潔 KEEP CLEAN
25	危険	危険 DANGER
26	開閉注意	開閉注意 OPEN WITH CARE
27	消火器	消火器 FIRE EXTINGUISHER
28	故障	故障 OUT OF ORDER
29	撮影禁止	撮影禁止 NO PHOTOGRAPHY
30	使用禁止	使用禁止 DO NOT USE

- ・フォルダ3：現場で使える注意ラベル2（30種）
本体表示名：「現場／注意2」

番号	本体表示名	デザインイメージ
1	昇降禁止	 異 降 禁 止 DO NOT ACCESS
2	修理中	 修 理 中 UNDER REPAIR
3	点検中	 点 檢 中 UNDER INSPECTION
4	手袋禁止	 手 袋 使用 禁 止 NO GLOVES
5	開口部注意	 開 口 部 注意 DANGER WHEN OPENING
6	落下物注意	 落 下 物 注意 WATCH YOUR HEAD
7	工事中	 工 事 中 UNDER CONSTRUCTION
8	昇降注意	 異 降 注意 WATCH YOUR STEP
9	高温注意	 高 温 注意 DANGER HIGH TEMPERATURE
10	高電圧注意	 高 電 圧 注意 DANGER HIGH VOLTAGE
11	感電注意	 感 電 注意 DANGER ELECTRIC SHOCK
12	積み過ぎ注意	 積み過ぎ注意 DO NOT OVERLOAD
13	保護帽着用	 保 護 帽 着 用 WEAR HELMET
14	メガネ着用	 保 護 メ ガ ネ 着 用 WEAR SAFETY GLASSES
15	耳栓使用	 耳 桡 使 用 WEAR EARPLUGS

- ・フォルダ4：病院で使える案内ラベル（30種）
本体表示名：「病院／案内」

番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
1	初診の方	 初 診 の 方 は こ ち ら	16	退院手続き	 退 院 手 続 き
2	再診の方	 再 診 の 方 は こ ち ら	17	相談窓口	 相 談 窓 口
3	外来の方	 外 来 の 方 は こ ち ら	18	お薬お渡し口	 お 薬 お 渡 し 口
4	予約券	 予 約 券 は こ ち ら	19	整理券	 整 理 券
5	診察券	 診 察 券 は こ ち ら	20	ご意見箱	 ご 意 見 箱
6	保険証確認	 保 険 証 確 認	21	診療日案内	 診 療 日 の 案 内
7	受付	 受 付	22	外来担当医	 外 来 担 当 医 - 覧
8	会計	 会 計	23	アルコール消毒	 ア ル コ ー ル 消 毒 液
9	入院受付	 入 院 受 付	24	院内禁煙	 院 内 禁 煙
10	紹介状受付	 紹 介 状 受 付	25	ご自由にどうぞ	 ご 自 由 に ど う ぞ
11	面会受付	 面 会 受 付	26	プリペイドカード	 プ リ ペ イ ド カ ノ ト
12	検査受付	 検 査 受 付	27	検査室	 検 査 室
13	人間ドック	 人 間 ド ッ ク 受 付	28	処置室	 処 置 室
14	処方せん受付	 処 方 せ ん 受 付	29	診察室	 診 察 室
15	入院手続き	 入 院 手 続 き	30	レントゲン室	 レ ン ト ゲ ン 室

仕様

形式 : KL-T50

入力

キー配列 : JIS 配列準拠

入力方法 : ローマ字入力、JISかな入力、手書き入力

変換方式 : 熟語変換・単漢字変換

辞書

内蔵辞書数 : 熟語変換 約 185,000 語（派生語を含む、追加可能）

単漢字変換 約 15,000 語

文字種

8,591 文字（+ 外字 4 文字）

漢字 : 6,355 文字（JIS 第 1 水準:2,965 文字／JIS 第 2 水準:3,390 文字）

ひらがな : 249 文字（全角 : 83 文字／上付、下付 : 166 文字）

カタカナ : 258 文字（全角 : 86 文字／上付、下付 : 172 文字）

数字 : 30 文字（全角 : 10 文字／上付、下付 : 20 文字）

アルファベット : 156 文字（全角 : 52 文字／上付、下付 : 104 文字）

ギリシア文字 : 48 文字（全角 : 48 文字）

ロシア文字 : 66 文字（全角 : 66 文字）

記号 : 725 文字（全角 : 425 文字／上付、下付 : 300 文字）

絵文字 : 704 文字（全角 : 704 文字）

・外字は 4 文字まで登録できます。

表示

画面（メインパネル）液晶表示 : 128 × 64 ドット + シンボル
(8 行 × 4 行)

入力部分 : 8 行 × 1 行（フリーラベル以外での入力時）
8 行 × 3 行（フリーラベル入力時のみ）

手書パネル液晶表示 : 208 × 64 ドット

表示文字構成 : 16 × 16 ドット（全角）
8 × 16 ドット（半角…メニュー・メッセージ専用）
8 × 8 ドット（1/4 角）

印刷

印字密度 : 200dpi

印刷方式 : 热転写方式

印字速度 : 約 10mm/秒

印字幅 : 約 16mm

a) 2mm（テープ幅 3.5mm）

b) 4mm（テープ幅 6mm）

c) 7mm（テープ幅 9mm）

d) 10mm（テープ幅 12mm で通常印刷時）

e) 12mm（テープ幅 12mm で拡大印刷時）

f) 16mm（テープ幅 18mm/24mm）

・印字速度は印字環境、条件等により異なります。

文字構成 : ビットマップフォント

書体 : 和文書体

（明朝体*、角ゴシック体*、丸ゴシック体）

かな 8 書体

（明朝体*、角ゴシック体*、丸ゴシック体、手書き、ボンジュール、メロディ、パレット、プロデュース）

英数 12 書体

（明朝体*、角ゴシック体*、丸ゴシック体、手書き、ボンジュール、メロディ、パレット、プロデュース、ステンシル、ポップ、ボールドスクリプト、ブラッククレーター）

※この書体は、（財）日本規格協会と使用許諾契約を締結して使用しているものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。

フォントとして無断複製することは禁止されています。

平成明朝体™W8、平成角ゴシック体™W5

印刷方向	：横書き・縦書き・裏書き
印刷文字字体	：標準・太字・白抜・影付・立体
印字行数	：3.5mm 幅テープ使用時 1 行印刷可能 6mm 幅テープ使用時 1～2 行印刷可能 9mm 幅テープ使用時 1～3 行印刷可能 12mm 幅テープ使用時 1～5 行印刷可能 18mm/24mm 幅テープ使用時 1～8 行印刷可能

内部記憶

文字登録用の記憶	：約 2,000 文字
ユーザー辞書	：30 件
熟語変換学習	：約 125 語
単漢字変換学習	：約 20 語
プリセットタイトル	：最大で 49 文字、50 件まで登録可能
コピー／ペースト	：最大で 49 文字、9 件まで登録可能
デザインロゴ	：4 フォルダ
手書きイメージ	：最大で 30 件まで登録可能

登録・呼び出し

登録	：文字編集用記憶エリア一括登録＋自動並び替え
呼び出し	：順次呼び出し

電源・その他

動作用電源	：AC アダプター (AD-A12090L) 家庭用 100V 電源使用
	单 3 形アルカリ乾電池 (8 本・市販品)
	单 3 形 eneloop® (8 本・市販品)
	单 3 形充電式 EVOLTA (8 本・市販品)

内蔵時計動作用電池寿命

約 8 年
タイムスタンプ、タイムスパンでの年月日、時刻が正しく表示されない場合は、内蔵時計動作用電池の消耗が考えられます。
この場合は、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口に修理をご依頼ください。(有料交換)

消費電力	：13W
オートパワーオフ	：約 6 分
	• AC アダプターを使用して、パソコンに接続しているとき、外字を作成しているとき、または、手書きラベル機能で手書きのイメージを編集しているときは、オートパワーオフは、はたらきません。
時計精度	：日差士 3 秒 (常温 15℃～35℃)
大きさ	：幅 204mm × 奥行 231mm × 高さ 65.5mm (足含む)
質量	：約 890g (電池含まず)
使用温度	：10℃～35℃

本機は、FineArt Technology 社の手書き認識機能を搭載しています。

FineArt Copyright
Handwriting Recognition Engine V2.2

別売品について

別売品のテープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。また、別売品のテープカートリッジの最新情報やネームランド新製品情報については、以下の URL をご確認ください。

<http://casio.jp/d-stationery/>

● クリーニングテープ

XR-24CLE

長期間ご使用になると、プリンターへッドにホコリがたまることがあります。クリーニングテープを使えば、そのホコリ等を取り除くことができ、きれいな文字を印刷できます。

● ネームランド用ハサミ

CU-10

9ミリ幅～24ミリ幅テープのカドを丸くしたり、カット部を波型に仕上げることができます。

● ネームランド用収納ケース

CA-4

本体と付属品（AC アダプター、テープカートリッジ、取扱説明書等）を収納することができます。

- ・品切れの際はご容赦ください。
- ・別売品については一部予告なしに変更となる可能性があります。

索引

アルファベット・数字

AC アダプター	11
QR コード	61
USB ケーブル…「はじめにお読みください」	
USB コネクター	9
USB リンク…「はじめにお読みください」	
2 行印字	40

あ行

アイコン	17
アフターサービス	138
網掛	96
アルファベットの入力	81
イメージャー表示	40
インクリボン	15
印刷	21
印刷濃度	109
印刷プレビュー	20
印刷方向	42
印字行数	40, 56, 131
印字サイズ	51
印字密度	134
インデックスラベル	33
上付（印字サイズ）	94
裏書き	43
上書き	89
英数書体	91
液晶パネル	108, 109
絵文字	83
絵文字一覧	124
エラーメッセージ	117
オートカッター	24
オートパワーオフ	13
大文字の入力（アルファベット）	81
送り無	22, 45
オリジナルの文字（外字）	102

か行

カーソル	76
改行	40
外字	102
各機能における使用可能	
テープ幅一覧	131
角ゴシック体	90, 91
学習機能	79
拡大印刷	38
拡大印刷時のテープ幅と	
文字の大きさ	131
確定	79
各部の名前	9
影付	95
下線（修飾）	96
下線（変換）	79
カタカナの入力	77
カタカナ変換	77
カットモード	24
かな漢字混じり文の入力	79
かな書体	90
かな入力	76
画面	19
漢字の入力	79
キー	17
キー／アイコンのはたらき	17
キーボード	17
記号一覧	123
記号の入力	82
行頭	76
行末	76
均等割付（ブロック）	50
均等割付（文字）	49
クリーニング	113
後退	88
コピー	101
ゴムローラー	113
小文字の入力（アルファベット）	81

小文字（促音・拗音）の入力	78
(ひらがな・カタカナ)	78
こんなときは	
(トラブルシーティング)	114
さ行	
サイズマーク	53
削除（部分）	88
削除（文削除）	88
削除（文字削除）	88
次候補	79
時刻指定	109
下付（印字サイズ）	94
ジャストフィット印刷	51
ジャストフィットマーク	53
充電式ニッケル水素電池	110,111
熟語変換	79
仕様	134
使用できるテープ	131
初期化	12
初期フォント	92
書式	42
全文単位	43
ブロック単位	42
書体	90
白抜	95
数字の入力	82
スクロール	76
ステンシル	91
スムージング	44
設定	
印刷濃度	109
液晶パネル	108,109
初期フォント	92
挿入／上書き	89
手書き認識	108
デモ印刷	110
電池	110
日時	109
日本語入力	76

ブザー音	107
ユーザー辞書	105
前回データ	14
前候補	79
全文削除	88
全文書式	44
全文頭	76
全文末	76
挿入	89
た行	
タイトル編集	98
タイムスタンプ	100
タイムスパン	100
ダイレクト設定	48
タッチペン	9,10
縦書き	42
縦書き印刷	57
縦横同時印刷	57
单漢字変換	80
小さな文字	55,93
定型句	35
定型フォーマット	28
データの削除	70
データの登録	69
データの呼び出し	69
テープ	15
テープ送り	22
テープカートリッジ	15
テープカートリッジのセット	15
テープカートリッジの取り出し	16
テープガイド	15
テープカット	22
テープ長	44
テープ長固定	47
テープ出口	9
テープ長さダイレクト設定	48
テープの長さ	46
テープ幅と行数・倍率一覧	131
手書き	90,91

手書き入力	84
手書き認識	108
手書きパネル	9,17
手書きパネル位置調整	109
手書きパネルコントラスト	108
手書きラベル	64
手書きラベルフォーマット一覧	130
デザインロゴ	71
デザインロゴ内蔵データ一覧	132
デモ印刷	110
電源	11,111
電源を入れる	13
電源を切る	13
電池	110,111
電池カバー	9
電池をセットする	112
登録	69
トラブルシーティング	114
取消し（文字修飾）	97
な行	
長さ指定	46
中寄せ（ブロック）	50
中寄せ（文字）	49
斜め	43
ナンバリング（通し番号ラベル）	31
ナンバリングフォーマット一覧	130
日時	109
日本語入力	76
入力	
縦文字	83
外字	102
記号	82
認識	86
は行	
バーコード	58
ハーフカット	24
倍率マーク	53
パソコンとの通信「はじめにお読みください」	
パレット	90,91
微小フォント	55,93
左寄せ（ブロック）	50
左寄せ（文字）	49
表示画面	19
標準	95
ひらがなの入力	77
フォーマット	28
フォーマット選択	53
フォント（書体）	90
複数行の印字	40
ブザー音	107
付属品「はじめにお読みください」	
太字	95
部分削除	88
ブラックレター	91
フリーラベル	39
プリセットタイトル	98
プリンタヘッド	16,113
フルカット	24
フレーム	56
フレーム一覧	126
プレビュー画面	20
ブロック	41
ブロック間隔	44
ブロック書式	42
ブロック長	43
ブロック長固定	46
ブロックの割付	50
プロデュース	90,91
プロポーショナル	43
文削除	88
ペースト	102
別売品について	136
変換	
カタカナ	77
熟語	79
单漢字	80

方向（印刷方向）	42
ポールドスクリプト	91
保証	138
ポップ	91
ポンジュール	90,91

ま行

丸ゴシック体	90,91
右寄せ（ブロック）	50
右寄せ（文字）	49
明朝体	90,91
メインパネル	9,19
メインパネルコントラスト	108
メモリー（登録）	69
メモリーの初期化（リセット）	12
メロディ	90,91
文字間隔	42
文字キー	18
文字サイズ	51
文字サイズ（行単位）	53
文字サイズ（文字単位）	51
文字削除	88
文字修飾	96
文字字体	95
文字の訂正	89
文字の入力	76
文字倍率	53
文字割付	49
持ち運び用ハンドル	9

や行

ユーザー作成	33
ユーザー辞書	105
用途別ラベル	28
用途別ラベルフォーマット一覧	127
横書き	42
余白	45

ら行	
リセット（初期化）	12
立体	95
履歴	83,84
連続印刷	21
連番印刷	31
ローマ字入力	76
ローマ字入力一覧	122

わ行

枠付	96
和文書体	90
割付	49